

# 取扱説明書及び部品表

## Takakita

### 自走ラップマシーン

SW1121D

SW1121DM



本製品を安全に、また正しくお使いいただくために  
必ず本取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後も大切に保管してください。  
本取扱説明書はお手持ちのスマートフォンや  
タブレットからアクセスすることができます。



株式会社 **タカキタ**

# は じ め に

このたびは本製品をお買い上げいただき、ありがとうございました。

この取扱説明書は、**自走ラップマシーン**の取扱方法と使用上の注意事項について記載しております。ご使用前には必ず、この取扱説明書を熟知するまでお読みのうえ、正しくお取扱いただき最良の状態でご使用ください。

- お読みになったあとも必ず製品に近接して保管してください。
- 製品を貸与または譲渡される場合は、この取扱説明書を製品に添付してお渡しください。
- この取扱説明書を紛失または損傷された場合は、速やかにお買い上げの販売店または当社にご注文ください。
- 本書は、**注意**として製品自体の損傷防止に関する留意事項を記載しております。
- なお、品質・性能あるいは安全性の向上のため、使用部品の変更を行うことがあります。その際には、お手元の製品と本書の内容が一致しない場合がございますので、あらかじめご了承ください。
- ご不明な点やお気付の点がございましたら、お買い上げの販売店または当社にご相談ください。

## ⚠ 警 告 サ イ ン

⚠ 印付きの下記マークは安全上、特に重要な項目ですので、よく読んで必ずお守りください。

- |      |                                        |
|------|----------------------------------------|
| ⚠ 危険 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示します。  |
| ⚠ 警告 | その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示します。 |
| ⚠ 注意 | その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示します。      |

# 目 次

|                                                                                                        |    |
|--------------------------------------------------------------------------------------------------------|----|
|  安全に作業するために . . . . . | 1  |
| 本製品の使用目的とサービスについて . . . . .                                                                            | 10 |
| 各部の名称とはたらき . . . . .                                                                                   | 11 |
| 運転に必要な装着の取扱い . . . . .                                                                                 | 14 |
| 1. フィルムの装着 . . . . .                                                                                   | 14 |
| 2. シングルストレッチ作業 . . . . .                                                                               | 18 |
| 3. テーブルローラのスピード変更 . . . . .                                                                            | 18 |
| 4. フィルム伸び率の調整 . . . . .                                                                                | 18 |
| 5. タイアンドカットにフィルムをはさむ . . . . .                                                                         | 19 |
| 6. 巻数 . . . . .                                                                                        | 19 |
| 7. スイッチレバー . . . . .                                                                                   | 21 |
| 8. コントロールボックス . . . . .                                                                                | 21 |
| 9. サイドローラの位置 . . . . .                                                                                 | 38 |
| 10. ベールたておろし装置 . . . . .                                                                               | 38 |
| 11. 警告灯 . . . . .                                                                                      | 38 |
| 12. キースイッチ . . . . .                                                                                   | 39 |
| 13. エンジンスロットルレバー . . . . .                                                                             | 40 |
| 14. サイドクラッチレバー . . . . .                                                                               | 40 |
| 15. 走行クラッチレバー<br>(駐車ブレーキレバー) . . . . .                                                                 | 41 |
| 16. 副変速レバー . . . . .                                                                                   | 41 |
| 17. H S T レバー (前後進変速レバー) . . . . .                                                                     | 41 |
| 18. シート . . . . .                                                                                      | 42 |
| 19. 燃料の給油 . . . . .                                                                                    | 42 |
| 20. キャノピ . . . . .                                                                                     | 43 |
| 21. オイルクーラ . . . . .                                                                                   | 43 |
| 22. 傾斜計 (M仕様のみに) . . . . .                                                                             | 43 |
| 23. 油圧センサ (M仕様のみに) . . . . .                                                                           | 43 |
| 24. 各種リレー . . . . .                                                                                    | 44 |
| 25. メインヒューズボックス . . . . .                                                                              | 44 |
| 26. サブヒューズボックス . . . . .                                                                               | 44 |
| 作 業 方 法 . . . . .                                                                                      | 45 |
| 1. 作業手順と要点 . . . . .                                                                                   | 45 |
| 2. 自動でラッピング作業を行う . . . . .                                                                             | 48 |
| 3. 自動でベールを降ろす . . . . .                                                                                | 49 |
| 4. ベールをトラック等の<br>荷台に積込む場合 . . . . .                                                                    | 49 |
| 5. 手動でベールを積込む . . . . .                                                                                | 50 |
| 6. 手動でフィルムを巻きつける . . . . .                                                                             | 51 |
| 7. 手動でベールを降ろす . . . . .                                                                                | 51 |
| 8. 0点調整する場合 (M仕様のみに) . . . . .                                                                         | 53 |
| 9. ベール重さの変換値を設定 (校正)<br>する場合 (M仕様のみに) . . . . .                                                        | 54 |
| 10. 手動でベールを<br>トラック等の荷台に積込む場合 . . . . .                                                                | 54 |
| 11. 移動時の注意 . . . . .                                                                                   | 55 |
| 12. 作業終了時の注意 . . . . .                                                                                 | 55 |
| 13. 移動するときは . . . . .                                                                                  | 56 |
| 14. トラックへの積込み・積降ろし . . . . .                                                                           | 56 |
| 15. トラック及びトレーラの運搬 . . . . .                                                                            | 56 |
| 16. 走行時の注意 . . . . .                                                                                   | 57 |
| 17. 暖気運転について . . . . .                                                                                 | 57 |
| 作業前の点検について . . . . .                                                                                   | 58 |
| 定期点検一覧表 . . . . .                                                                                      | 58 |

## 簡単な手入れと処置 . . . . . 63

|                               |    |                              |    |
|-------------------------------|----|------------------------------|----|
| 1. エンジンの点検・調整 . . . . .       | 63 | 12. 走行クラッチの調整 . . . . .      | 68 |
| 2. エンジンのエアクリーナ（重要） . . . . .  | 63 | 13. 駐車ブレーキの調整 . . . . .      | 69 |
| 3. エンジンオイルの点検と交換 . . . . .    | 63 | 14. H S T レバーの調整 . . . . .   | 69 |
| 4. バッテリーについて . . . . .        | 64 | 15. スイッチレバー分解方法 . . . . .    | 69 |
| 5. 走行ミッションのオイル点検 . . . . .    | 65 | 16. サイドクラッチレバーの調整 . . . . .  | 70 |
| 6. H S T、油圧用オイル . . . . .     | 65 | 17. クローラの張り . . . . .        | 70 |
| 7. H S T、油圧オイル用フィルタ . . . . . | 66 | 18. 長期格納時の手入れ . . . . .      | 71 |
| 8. ラジエータ . . . . .            | 66 | 19. 使用済廃棄物の処分について . . . . .  | 71 |
| 9. チェンの調整 . . . . .           | 67 | 20. コネクタの保管と清掃について . . . . . | 71 |
| 10. タイアンドカットの調整 . . . . .     | 68 |                              |    |
| 11. ゴムロール . . . . .           | 68 |                              |    |

## 不 調 診 断 . . . . . 72

## 付 表 . . . . . 79

|                     |    |                             |    |
|---------------------|----|-----------------------------|----|
| 1. 主要諸元 . . . . .   | 79 | 3. 給油、給脂、注油（水）一覧表 . . . . . | 80 |
| 2. 主な消耗部品 . . . . . | 79 | 4. 配線図 . . . . .            | 81 |

## ⚠ 安全に作業するために

取扱説明書と本機に貼ってある⚠ 表示ラベルをよく読み、機械の使い方をよく理解したうえで使用してください。また、機械を点検して異常がないかを確認してから使用してください。

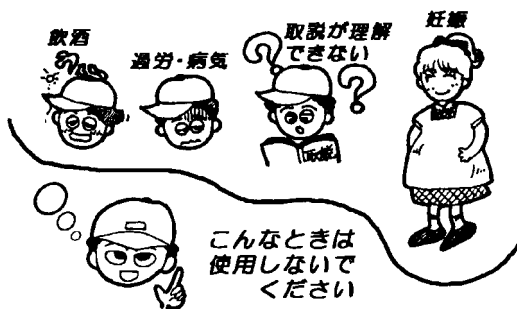
機械を人に貸すとき、または所有者以外が運転するときは、運転方法を指導し、本書も貸与し必ず読んでもらってください。

### 1. 本機を使用するにあたって

#### (1) 使用する人の条件

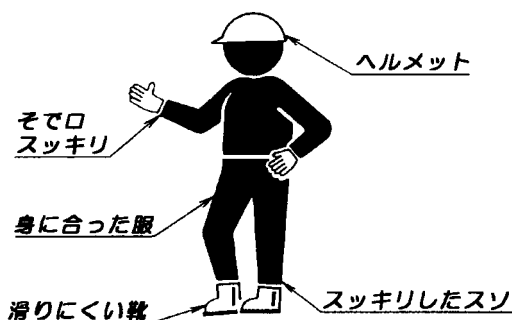
次の項目に該当する場合は本機を使用しないでください。

- 飲酒したとき。
- 過労・病気・薬物の影響・その他の理由により正常な運転ができないとき。
- 妊娠しているとき。
- 取扱方法を熟知していない人。



#### (2) 使用する人の服装

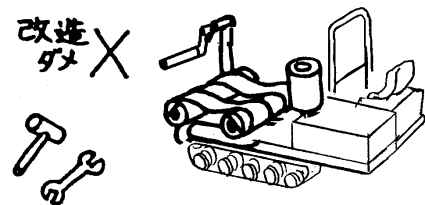
機械に巻き込まれたり、滑って転倒したりする事故を予防するため、首巻き・腰タオルをしないで、ヘルメット・滑り止めの付いた靴を着用し、だぶつきのない作業に適した服装で安全な作業をしてください。



#### (3) 機械の改造厳禁

指定以外の部品を取付けないでください。

また、改造をしないでください。



#### (4) 機械を他人に貸すとき

取扱方法をよく説明して、使用前には『取扱説明書』を必ず読むように指導してください。



#### (5) 運転者以外に人を乗せない

本機の乗車定員は1名です。運転者・作業員以外、人を乗せないでください。

### 2. 点検・整備をしてください

#### (1) 1年毎の定期点検・整備を

整備不良による不具合や事故を防止するために、1年毎に定期点検・整備を受け、機械が最良の状態で作業ができるようにしてください。



## ⚠ 安全に作業するために

(2) 作業前の点検・整備を忘れずに  
ご使用になる前と後には必ず点検・  
整備を行ってください。

(3) 点検・整備・掃除をするとき  
点検・整備・修理・掃除をするときは、  
交通の危険がなく、機械が転倒したり、  
動いたりしない平坦で安定した場所で  
エンジンを停止し、駐車ブレーキまたは  
車止めをしてから行ってください。



(4) 点検・整備は加熱部分が冷めてから  
マフラやエンジンなどの加熱部分が  
十分に冷めてから点検・整備をして  
ください。守らないと火傷する恐れが  
あります。

(5) ナイフに注意すること  
ナイフ類は、絶対に素手で触れないで  
ください。必ず手袋などの保護具を  
着用してください。



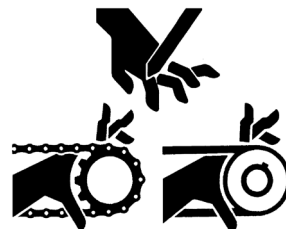
(6) 機械を常にきれいに  
エンジン・マフラ・ベルトカバー・バッ  
テリーなどに枯草、芝草がたまっていると、  
おもわぬ火災の原因となることがあり  
ます。機械を常にきれいにしてください。



(7) 排気ガスには充分注意  
屋内などでエンジンを始動するときは  
エンジンの排気ガスによる一酸化炭素  
中毒の恐れがあります。  
エンジンの始動は、風通しのよい場所  
で行い、やむをえず屋内で始動する  
場合には、充分換気を行ってください。



(8) カバー類を必ず取付ける  
カバー類などの防護装置を取外すとき  
は、必ずPTOを切り、エンジンを停止  
してから行ってください。  
また、取外したカバー類は必ず元どお  
りに取付けてください。守らないと  
傷害事故を引き起こす恐れがあります。



(9) 注油・給油するときは  
チェンへの注油は、必ずエンジンを  
停止してから行ってください。



また、油圧タンクへの給油は、高温の  
ときには行わないでください。

**注 意** 各チェン、各回転部分や摩擦しゅう  
動部分には十分注油してください。  
また、部品が摩耗したまま使い続け  
ると、摩擦による加熱の原因となり、  
場合によっては火災となります。

## ⚠ 安全に作業するために

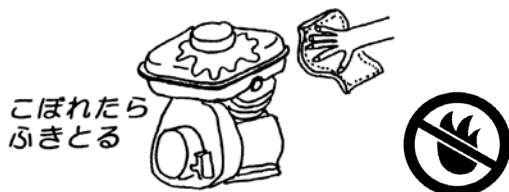
### (10) 燃料補給時は火気厳禁

燃料補給時は、くわえ煙草やマッチ・ライターなど裸火照明は絶対に使用しないでください。守らないと燃料に引火し、火災を起こす恐れがあります。



### (11) こぼれた燃料はふき取る

燃料を補給したときは、燃料キャップを確実に閉め、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。守らないと火災事故を起こす恐れがあります。



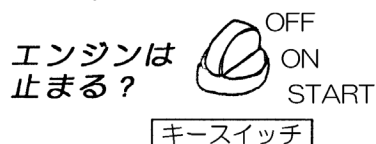
### (12) マフラ・エンジンのゴミは取除く

作業前に、マフラやエンジン周辺にワラクズ・ゴミなどが付着していないかを点検し、付着していれば取除いてください。守らないと火災事故を起こす恐れがあります。



### (13) キースイッチの動作確認を

配線コード外れなどが無いかを点検し、キースイッチを回してエンジンが停止するかを必ず確認してください。守らないと、傷害事故を引起す恐れがあります。

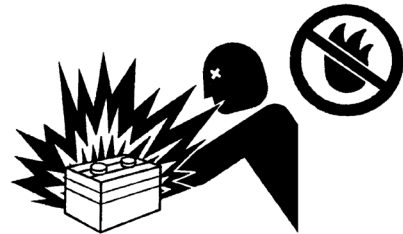


### (14) 電気部品を修理するときは

①電気部品やその周辺の修理を行うときには、必ずバッテリーの(－)側を外してから実施してください。



②バッテリーは、充電中可燃性ガスが発生し、引火爆発の恐れがあります。充電中はタバコを吸ったり、火を近づけたりしないでください。



③バッテリー液は希硫酸なので扱いには注意し、体や衣服に付かないようにしてください。もし目や体に付着した場合は、すぐ水で洗い流し、すみやかに医療機関を受診してください。



### (15) 長期格納するときは

機械を清掃し、回転部およびチェーンには充分注油して、バッテリーを取外し、キーを抜き取り、屋内の平坦な場所に保管してください。



## ⚠ 安全に作業するために

### 3. 作業・移動をするときは

#### (1) 人や動物を近づけない

特に子供には充分注意し、近づけないようにしてください。



#### (2) エンジンを始動するときは

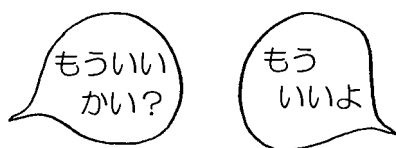
走行クラッチを切り、変速レバーを中立にし、周囲の人に合図をして安全を確認してからエンジンを始動してください。守らないと傷害事故を引き起こす恐れがあります。

#### 安全確認



#### (3) 二人以上で作業するときは

二人以上の共同作業では、お互いに声を掛け合うなどして、安全を確認合いながら作業してください。



#### (4) ストレッチフィルムの交換や

草の巻き付きを取除くときは操作レバーを中立にし、エンジンを必ず停止してから行ってください。守らないと傷害事故を引起す恐れがあります。

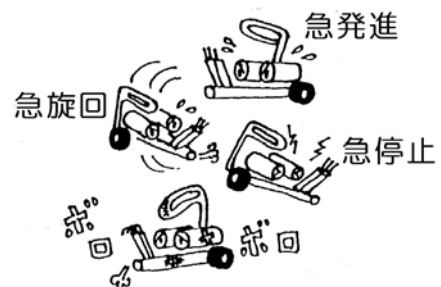


#### (5) 急な発進・停止・旋回・

#### スピードの出しすぎ禁止

スピードの出しすぎ、急な発進・停止・旋回は、事故の原因となるだけでなく、機械の寿命も縮めますので行わないでください。

また、起状の多いほ場や傾斜地は、危険です。作業スピードは、極力落として作業を行ってください。



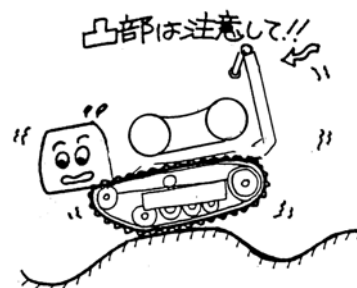
#### (6) 移動及び旋回するときは

旋回時に片方のクローラをあぜぎわに乗り上げたり、急旋回は絶対に行わないでください。転倒や脱輪の恐れがあり危険です。

#### (7) 溝や畦を横断したり

#### 軟弱な所を通るときは

スリップや転倒による事故を防ぐために、幅・長さ・強度が充分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度で通ってください。

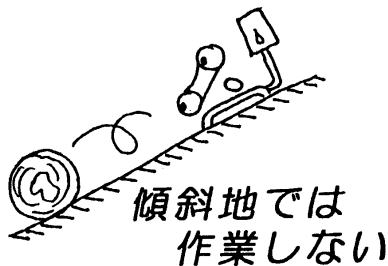


## ⚠ 安全に作業するために

- (8) 作業途中で運転席より離れるときは平坦な場所に停車し、エンジンを停止し、走行クラッチを切ってください。走行クラッチを切ると駐車ブレーキが掛かります。

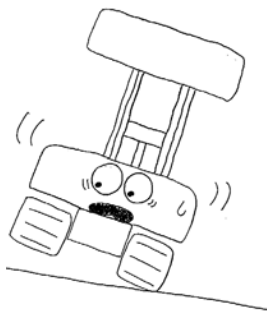
(9) 傾斜地作業は禁止

傾斜地での作業は、危険ですので絶対に行わないでください。必ず平坦地で作業してください。



- (10) 坂道（傾斜地）を走行するときは次のことを必ず守ってください。

- ①坂道（傾斜地）では走行速度を落とし、ステアリングレバー、副変速レバーを操作しないでください。
- ②等高線に平行、または斜めに走行すると横転の危険があります。斜面の走行は必ず等高線に対して直角方向に走行してください。旋回はしないでください。また、ベールは必ず降ろした状態で走行してください。
- ③テーブルを持上げた状態で走行しないでください。



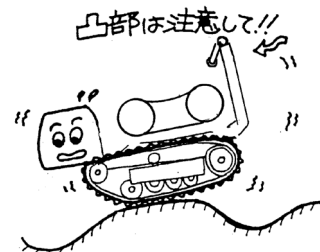
- (11) 後進して作業するときは

後方に障害物のないことを充分確認し、本機と障害物の間に人や動物を挟まないようにしてください。



- (12) あぜの乗り越えは

畦畔を越えるときは、機体が急に上向きから下向きに変わるので十分に注意し、最低速度で畦畔に直角に越えるようにしてください。あぜがコンクリートであったり、高さが10cm以上のときはアユミ板を使ってください。



- ・アユミ板は段差の4倍以上の長さで基準に合ったものを使用してください。
- ・アユミ板は段差に対し直角に置いてください。

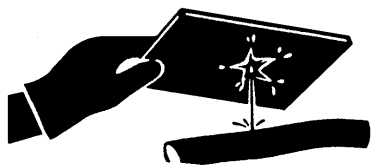
- (13) 移動するときは

積み込みアームを最も縮め、リフトフレームが一番下げた状態にしてください。伸ばしたまま移動すると、障害物にぶつかる恐れがあります。

## ⚠ 安全に作業するために

### (14) 高圧油に注意してください

- ①圧力がかかり噴出した油は、皮膚に浸透する程の力があり、傷害の原因になります。
- ②高圧油による傷害を防止するために配管・ホースなどの取外し前には必ず残圧を抜いてください。
- ③圧力をかける前に配管・ホースなどは正しく確実に締め付けてください。
- ④非常に小さな穴からの油漏れは、ほとんど目に見えないことがあります。手で油漏れを探すことは止めてください。必ず、保護メガネをかけ、紙などを使用して調べてください。



- ⑤万一、油が皮膚に浸透したときは、強度のアレルギーを起こす恐れがあるので、すぐ医療機関を受診してください。



### (15) 高温油に注意してください

- ①高温油による傷害を防止するために作業直後の注油やミッションのオイル交換はしないでください。作業前か充分温度が冷えてから行ってください。

- ②火傷やケガを負った場合は、速やかに医療機関を受診してください。

高温のときは  
やめて!!



## 4. 作業・移動をするときは

### (1) 公道走行はできません

本機は公道を走行すると道路運送車両法に違反します。公道を移動するときは、トラックなどで運送してください。

### (2) トラックなどへの積み込み・降ろしは

平坦な場所でトラックが移動しないようエンジンを停止し、サイドブレーキをかけ、車止めをし、幅・長さ・強度が充分あるスリップしないアユミ板をかけ、最低速度でクラッチを使わずに行ってください。積み込んだ機械は車止めをし、強度が充分あるロープで確実に固定してください。

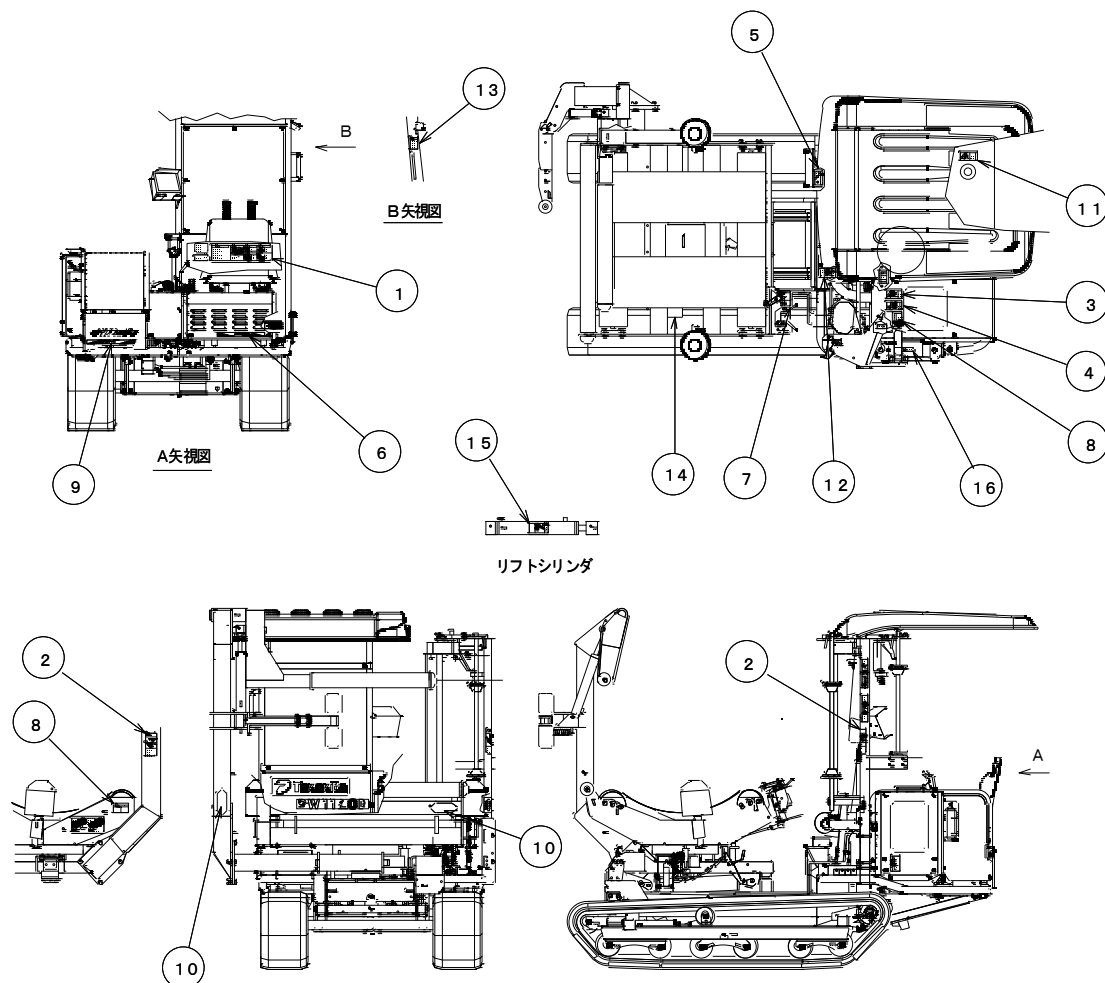


以上、機械の取扱で注意していただく主だった事項を記載しましたが、これ以外にも

本文の中で ⚠ 印を付けて安全上の注意事項を表記しております。

# ⚠ 安全に作業するために

## 5. 警告ラベルの貼付け位置



①部品コード 001206001920

|                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |                                                                                             |                                                                                                                         |                                                                                                                          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <p><b>⚠ 注意</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>取組む作業は、必ず安全な方法で行ってください。必ず取扱説明書を確認してください。</li> <li>全てのラベルが所定位置に貼付けられているようにしてください。</li> <li>エンジン始動前に周囲の周りに人がいないことを確認してください。</li> <li>作業中は人や物を近づけないでください。</li> <li>作業から離れたときは、必ずエンジンを停止し、走行クランプをロックしてください。</li> <li>傾斜での移動時は必ずエンジンを止めてから移動してください。</li> <li>手、足及び衣服を回転部分に近づけないようにしてください。</li> <li>公道走行はできません。トラック等で輸送してください。</li> </ol> | <p><b>⚠ 注意</b></p> <p><b>急発進の禁止</b></p> <p>傾斜地や掘削場での急発進はしないでください。前方が押さ上げり運転が危険な場合があります。</p> | <p><b>⚠ 注意</b></p> <p><b>高速での急旋回禁止</b></p> <p>転倒、衝突の恐れがあります。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>掘削場での掘削作業は、掘削の範囲を必ず確認してください。</p> | <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>掘削場での作業は、掘削の範囲を必ず確認してください。</p> <p><b>⚠ 警告</b></p> <p>リフトでの走行や掘削場・掘削場でのリフト作業は、掘削の範囲を必ず確認してください。</p> |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

②部品コード 001206000372

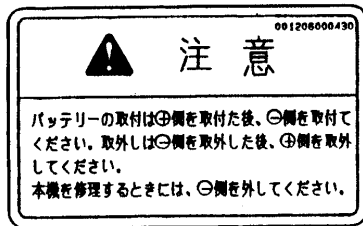
③部品コード 001206000400

④部品コード 001206000420



# ⚠ 安全に作業するために

⑤部品コード 001206000430



⑥部品コード 001306000910



⑨部品コード 001306000920



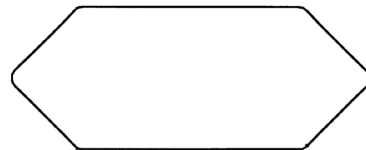
⑦部品コード  
001206000561



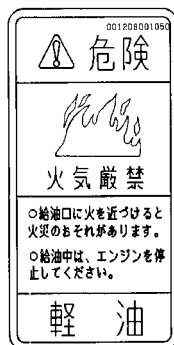
⑧部品コード  
001206000800



⑩部品コード 001206001010



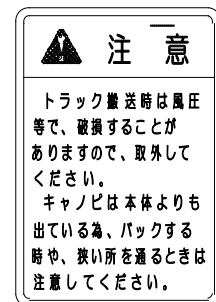
⑪部品コード 001206001050



⑫部品コード 001206001080



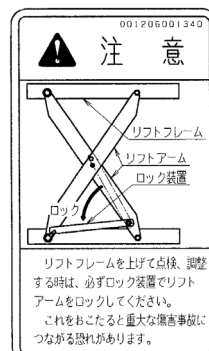
⑬部品コード 001206001910



⑭部品コード 001206001320



⑮部品コード 001206001340



⑯部品コード 001206001750



## 安全に作業するために

### 警告ラベルの取扱い注意事項

- (1) 警告ラベルはいつもきれいにして傷をつけないように、また汚れている場合は、中性洗剤で洗い、軟らかい布で水気を拭いてください。
- (2) 傷ついたり、汚れたり、剥がれた場合は、お買い上げの販売店または当社に注文し、新しいラベルを元の位置に貼ってください。(ラベルをご注文の際は部品コードをご連絡ください。)
- (3) 警告ラベルが貼ってある部品を交換する場合は、新しいラベルを注文して元の位置に貼ってください。
- (4) 新しいラベルを貼る場合は、汚れを拭き取り、乾いた面に貼ってください。気泡は隅の方へ押しながら抜いてください。

# 本製品の使用目的とサービスについて

## 本製品の使用目的について

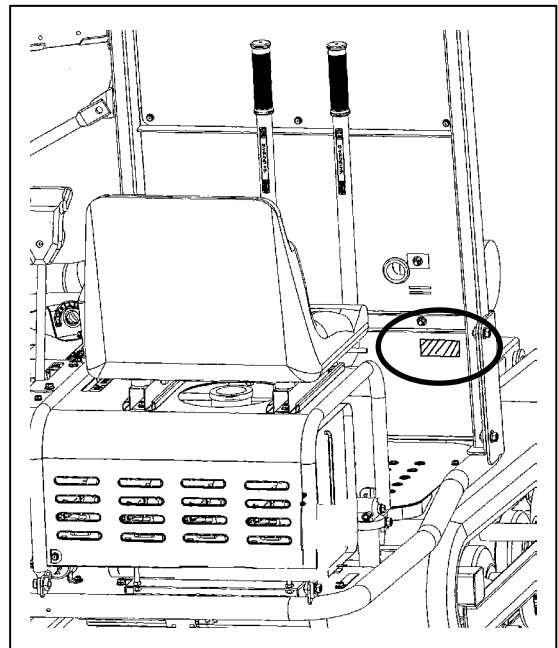
本製品は、稲ワラ、牧草、麦稈等のベールをラップする作業にご使用ください。  
使用目的以外の作業や改造などは、決して行わないでください。  
使用目的以外の作業や改造をした場合は、保証の対象になりません。

### 注 意

SW1121DMはベール質量を簡易測定する機能を搭載していますが、  
計量法で定める特定計量器に該当しておりません。  
ベールを計量販売する場合は計量法で定める特定計量器で測定してください。

## アフターサービスについて

機械の調子が悪いとき、不調診断に従って  
点検・処置しても、なお不具合があるときは、  
お買い上げいただいた販売店、J A（  
農協）、または、お近くの当社営業所まで  
ご連絡ください。



### 【連絡していただきたい内容】

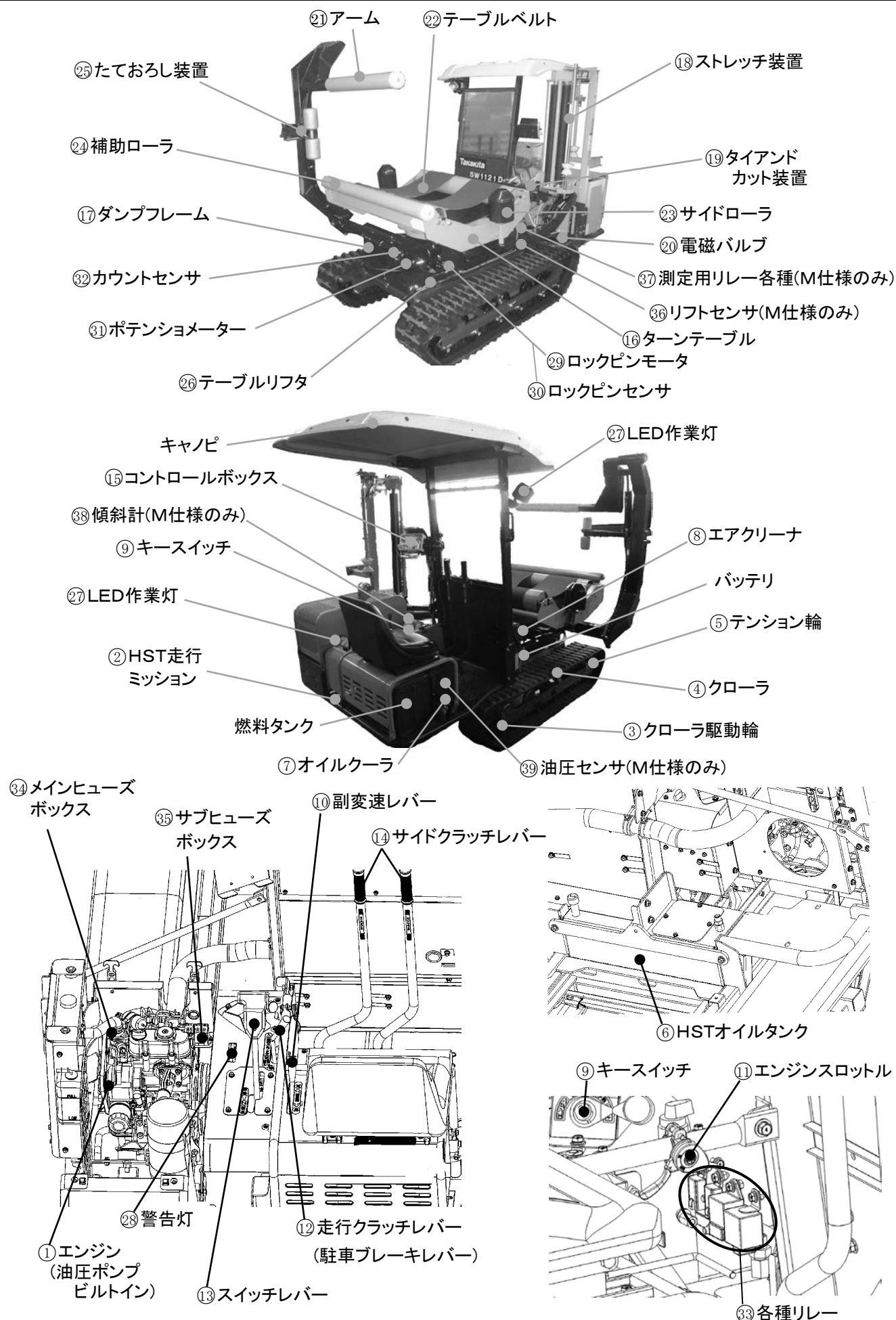
- 品名と型式
- 機体 No.（S E R－N o）
- ご使用状況は？  
（どんな条件でどんな作業をしていたときに）
- どれくらい使用されましたか？  
（約〇〇ベール、または約〇〇時間使用后）
- 不具合が発生したときの状況をできるだけ詳しく教えてください。

※機体No.は、上図に示す機体銘板に打刻しております。

【今後参考のため、次の空欄に機体 No. などを記入しておいてください。】

|                      |                                                     |
|----------------------|-----------------------------------------------------|
| 品 名                  | 自走ラップマシーン                                           |
| 型 式                  | SW 1 1 2 1 D      ・      SW 1 1 2 1 DM              |
| 機 体 No.<br>(SER－No.) |                                                     |
| 購入年月日                | 年                      月                      日     |
| 販売店名                 | TEL :                      (                      ) |

# 各部の名称とはたらき



## 各部の名称とはたらき

| 名 称                       | は た ら き                                                     | 参照<br>ページ |
|---------------------------|-------------------------------------------------------------|-----------|
| ①エンジン(カバー内)               | 動力源、水冷2気筒ディーゼルエンジン。                                         | 39,63     |
| ②HST走行ミッション               | 走行速度および前後進を無段階に調整できる走行ミッション。                                | 65        |
| ③クローラ駆動輪                  | クローラを駆動させる側の駆動輪。                                            | —         |
| ④クローラ                     | ゴム製の走行履帯。                                                   | —         |
| ⑤テンション輪                   | クローラの張り具合を調整します。                                            | 70        |
| ⑥HSTオイルタンク                | HST油圧用オイルタンク。                                               | 65        |
| ⑦オイルクーラ                   | HST走行ミッションおよび油圧用オイルを冷却します。                                  | 43        |
| ⑧エアクリーナ                   | エンジンに取り込む空気を浄化します。                                          | 63        |
| ⑨キースイッチ                   | エンジンの始動・停止に使用します。                                           | 39        |
| ⑩副変速レバー                   | 走行速度を高速・低速および中立の3段階に切換えるレバー。                                | 41        |
| ⑪エンジンスロットル                | エンジン回転速度を調整します。                                             | 40        |
| ⑫走行クラッチレバー<br>(駐車ブレーキレバー) | 前に倒すと走行することができます。手前に引くと走行を停止し、同時に駐車ブレーキが動作します。              | 41        |
| ⑬スイッチレバー                  | 前後進および速度を無段階で調整し、ベール積み込み・荷降ろし、アームでベールをつかむ・放す、自動運転を操作できます。   | 21,41     |
| ⑭サイドクラッチレバー               | 左右に旋回する時に、それぞれを手前に引きます。両方を同時に引くとその場で急停止します。                 | 40        |
| ⑮コントロールボックス<br>(10Aヒューズ付) | テーブルのリフト操作、フィルムの巻き数設定、アワーメーター、ラップした個数等を表示します。また、各種設定に使用します。 | 21～32     |
| ⑯ターンテーブル                  | ベールを載せて回転させます。                                              | —         |
| ⑰ダンプフレーム                  | ベールの積み込み・降ろしをします。                                           | —         |
| ⑱ストレッチ装置                  | フィルムを強制的に伸ばします。                                             | 14～19, 68 |
| ⑲タイアンドカット装置               | フィルムを切断・保持します。                                              | 19,68     |
| ⑳電磁バルブ                    | コントロールボックスの信号により、油圧を制御します。                                  | —         |
| ㉑アーム                      | ベールをつかんだり放したりします。                                           | —         |
| ㉒テーブルベルト                  | ベールの回転スリップを防ぎます。                                            | —         |
| ㉓サイドローラ                   | ベールの位置を決めます。                                                | 38        |
| ㉔補助ローラ                    | ベールの積み込みを補助します。                                             | —         |
| ㉕たておろし装置                  | ラップした後のベールをたておろします。                                         | 38        |
| ㉖テーブルリフト                  | トラック荷台へのベール積み込み時等にテーブルをリフトアップします。                           | 49,54     |

## 各部の名称とはたらき

| 名 称                   | は た ら き                        | 参照<br>ページ |
|-----------------------|--------------------------------|-----------|
| ②⑦LED作業灯              | 前方、後方を照らします。                   | —         |
| ②⑧警告灯                 | 台車の異常をランプで警告します。               | 38        |
| ②⑨ロックピンモータ            | ロックピンを動作させます。                  | —         |
| ③⑩ロックピンセンサ            | ロックピンがテーブルを固定していることを検知します。     | 35        |
| ③⑪ポテンショメーター           | テーブルの位置を検知します。                 | 34        |
| ③⑫カウントセンサ             | テーブルの回転をカウントします。               | 33        |
| ③⑬各種リレー               | エンジン始動・停止、コントロールボックス電源に必要なリレー。 | 44        |
| ③⑭メインヒューズボックス         | 過電流が流れたときに配線を保護します。            | 44        |
| ③⑮サブヒューズボックス          | 過電流が流れたときに配線を保護します。            | 44        |
| ③⑯リフトセンサ<br>(M仕様のみ)   | ベール重さの測定時、パンタグラフを上げる位置を検知します。  | 37        |
| ③⑰測定用リレー各種<br>(M仕様のみ) | ベール重さの測定に必要な定電圧源、リレーC×2。       | 37        |
| ③⑱傾斜計<br>(M仕様のみ)      | 機体の傾きが分かります。                   | 43        |
| ③⑲油圧センサ<br>(M仕様のみ)    | 油圧を電圧に変換してコントロールボックスに送ります。     | 43        |

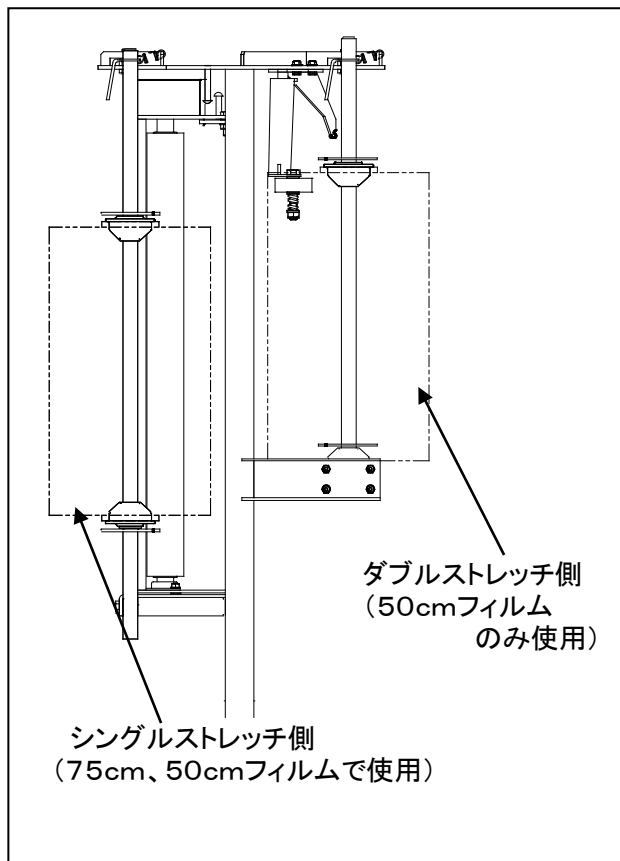
※SW1121DMはベール質量を簡易測定する機能を搭載していますが、計量法で定める  
特定計量器に該当していません。

ベールを計量販売する場合は計量法で定める特定計量器で測定してください。

# 運転に必要な装置の取扱い

## 1. フィルムの装着

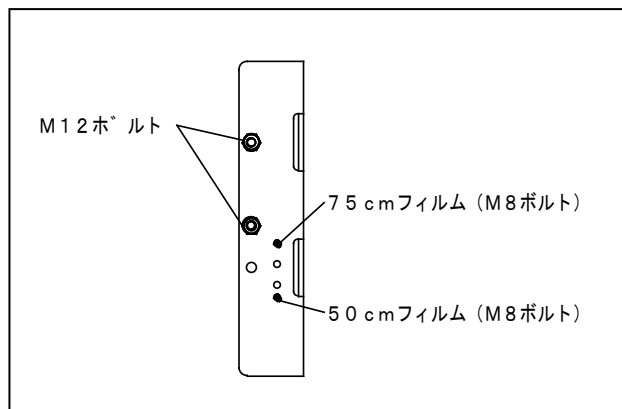
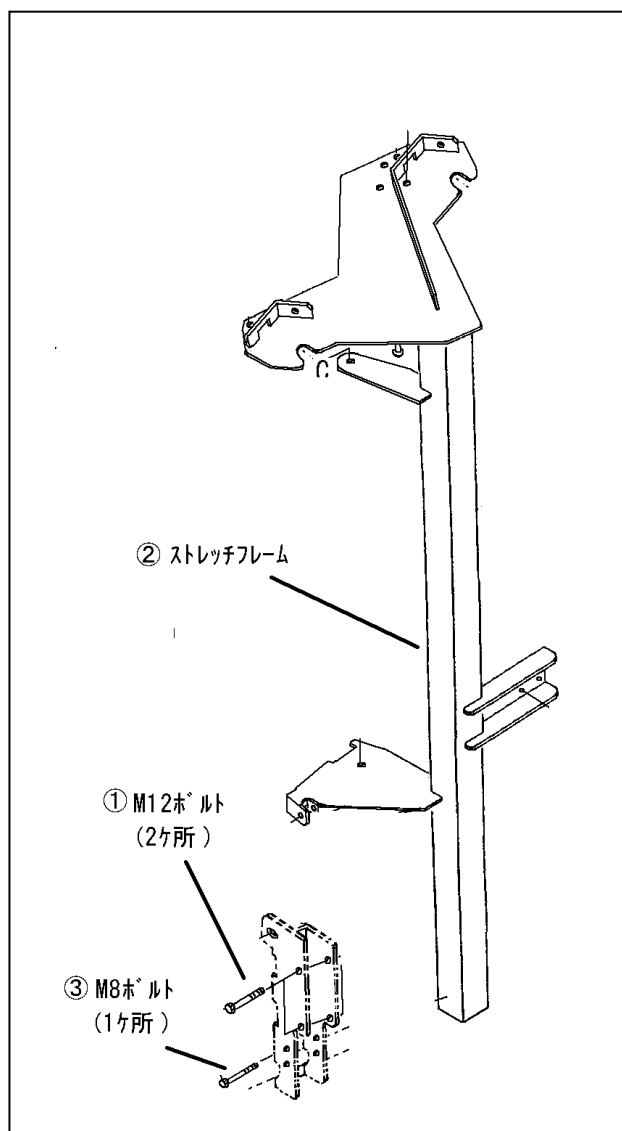
- ◆本機は75cm、50cmフィルムで使用できます。75cmはシングルストレッチ、50cmはダブルストレッチ方式になっております。但し75cmフィルムを使用する場合は、ボール径φ100cm以上です。



### ●ストレッチの高さ調整

ボールサイズとフィルム幅により高さ調整が必要です。次図のように調整してください。

- ①M12ボルトをゆるめてください。
- ②ストレッチフレームを吊り上げてください。
- ③M8ボルトをはずして、使用するフィルムサイズに合わせて穴に挿入し締めてください。
- ④ストレッチフレームをM8ボルトにあたるまで下げてください。
- ⑤M12ボルトを締めてください。

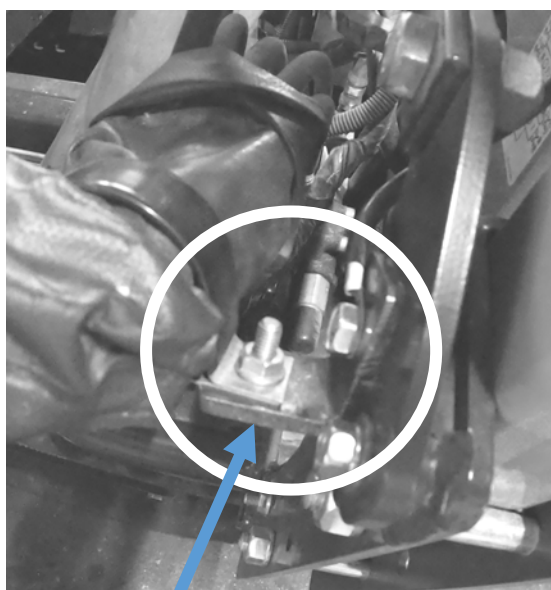
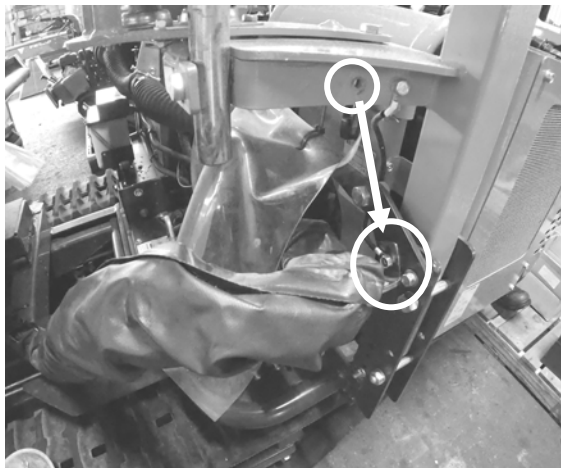


上記は目安位置です。  
実際のボール径に合わせてフィルムがボールの中心になるように調整してください。

## 運転に必要な装置の取扱い

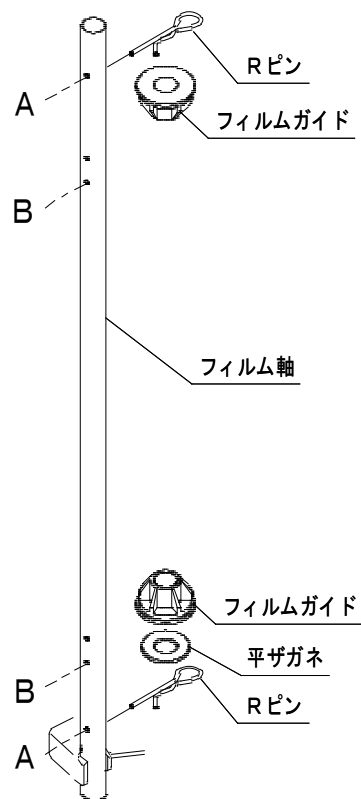
また、75cmフィルムで使用する場合は  
次図のように油圧配管の取り付け位置を  
変更してください。

ストレッチフレームに固定されていた  
油圧配管を支えブラケットに固定する



ホースクランプをステーに組付ける

### ●フィルムガイド位置の変更 (シングルストレッチ側のみ)



A 75cmフィルム

B 50cmフィルム

使用するフィルムサイズによりフィルムガイド  
の位置を変更する必要があります。

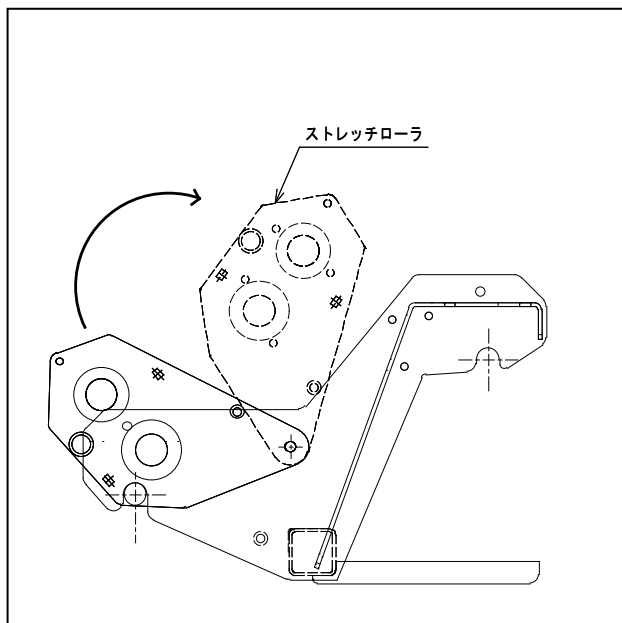
Rピンを挿し換えて、次図の位置にフィルム  
ガイドを変更してください。

## 運転に必要な装置の取扱い

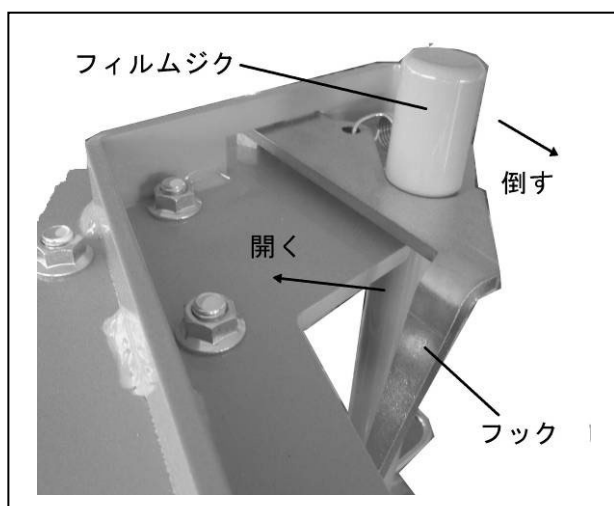
### ●シングルストレッチ側の

#### フィルム挿入準備方法

- ①ストレッチローラを押し込み、図の位置にしてください。



- ②フックを開いてフィルム軸を倒します。



### ⚠ 注意

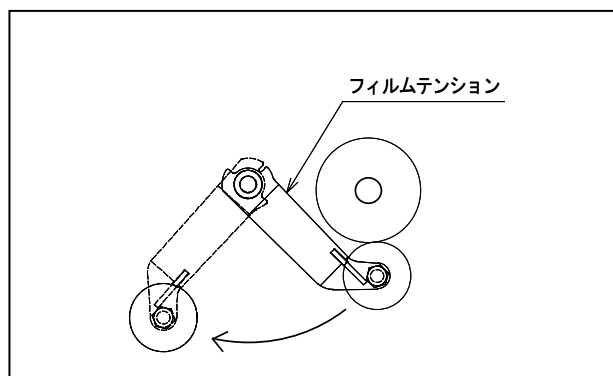
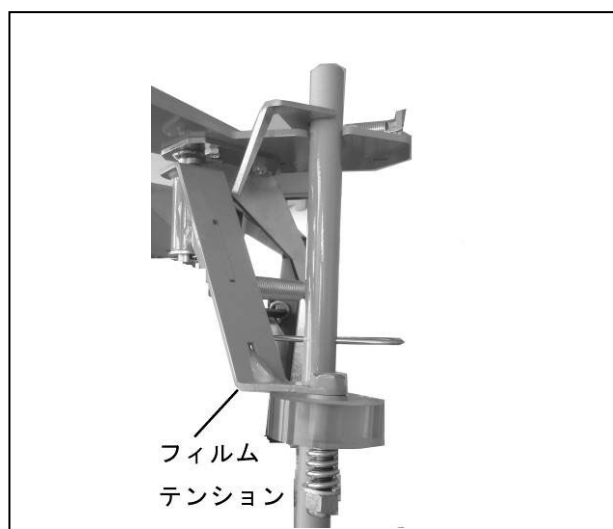
フックを外す時は、必ずフィルム軸が倒れないように手で押さえておいてください。

これを怠ると傷害事故につながるおそれがあります。

### ●ダブルストレッチ側の

#### フィルム挿入準備方法

- ①フィルムテンションを図のように引っ張り固定してください。



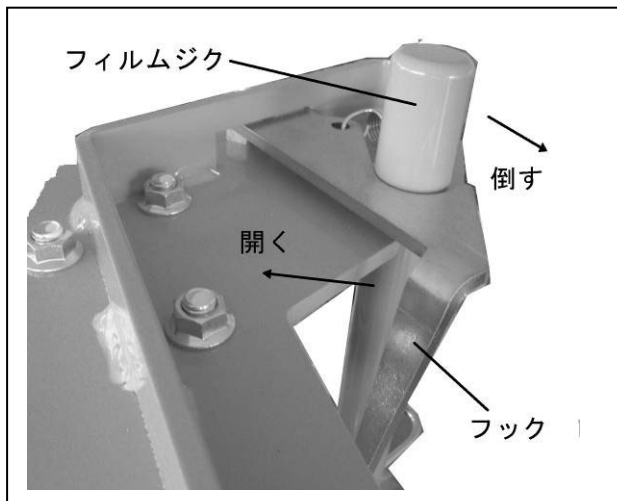
### ⚠ 注意

フックをはずす時は、必ずフィルム軸が倒れないよう手で押さえてください。

これを怠ると傷害事故につながるおそれがあります。

## 運転に必要な装置の取扱い

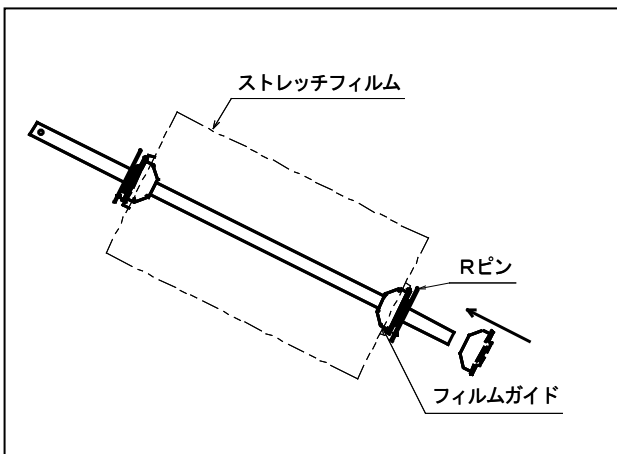
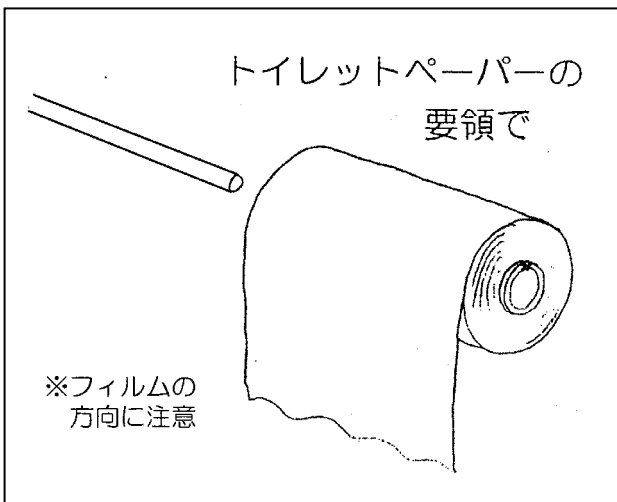
②フックを開いてフィルム軸を倒します。



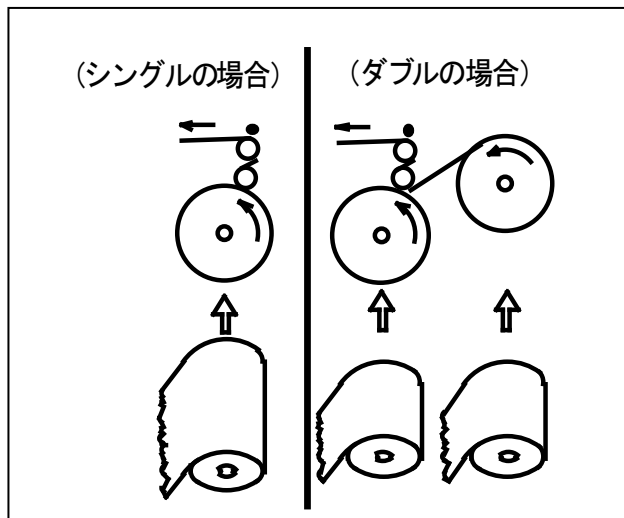
### ●フィルム挿入方法

①フィルムガイドを外し、フィルムをフィルム軸に挿入します。

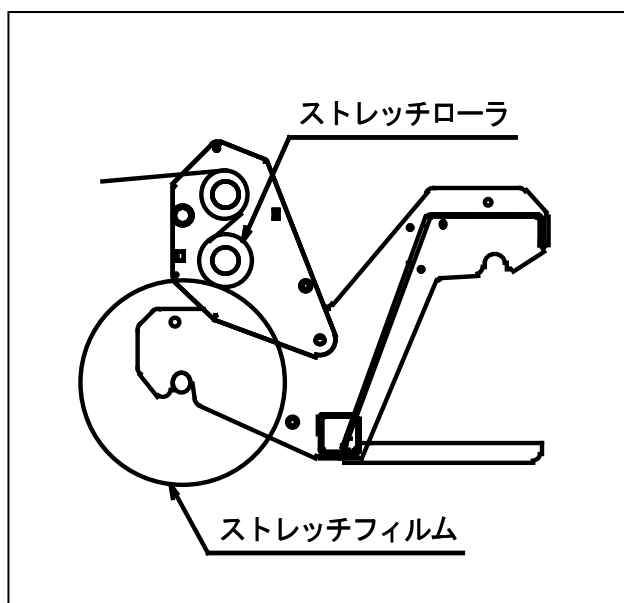
再度、フィルムガイドを挿入します。  
傷が付かないように、フィルムの取り扱いには充分注意してください。



②フィルム軸を起こして、フックをかけます。フィルムは次図のように通してください。



③ストレッチローラ(シングル側)、およびフィルムテンション(ダブル側)を引き、フィルムにテンションをかけてください。



## 運転に必要な装置の取扱い



フィルムとローラを密着させ  
テンションをかける(ダブル側)

### 注意

テンションをかけずに作業を行うと、空気が入り、発酵品質に悪影響を及ぼします。

## 2. シングルストレッチ作業

次のような場合、50cmフィルム1本でも作業することができます。

- フィルムを使い切って1本しか残っていない場合
- ベール重量が150kgに満たない場合  
→ベールがターンテーブルより脱落して作業できない場合があります。

## 3. テーブルローラのスピード変更

### ◆テーブルローラの回転速度変更方法

- ①チェンカバーを外します。
- ②チェーンテンションを緩めます。
- ③図のようにスプロケットを入れ換えてください。

50cmフィルムダブルで使用する場合

スプロケット歯数 13T を使用

75cmフィルムシングルで使用する場合

スプロケット歯数 11T を使用

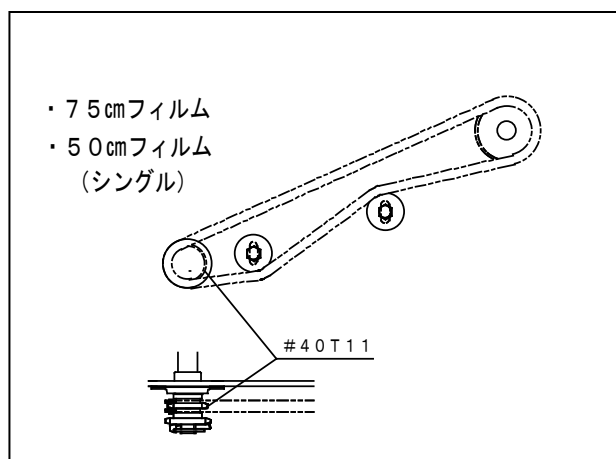
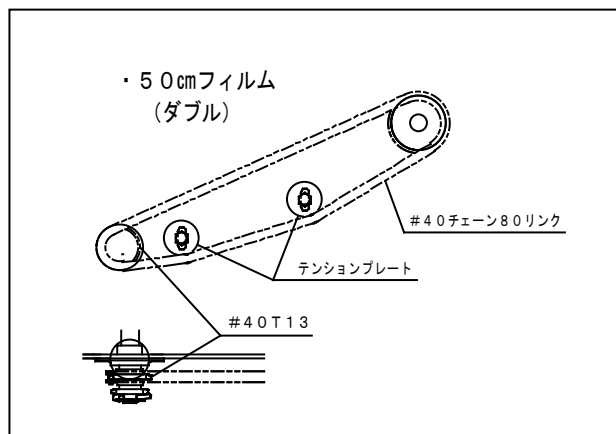
50cmフィルムをシングルのみで使用する場合は、テーブルローラ側のスプロケットが別途必要となります。

フィルムの使い切りで一時的に使用する場合は、

スプロケット歯数 11T で代用できます。

④テンションでチェーンを張り固定してください。

⑤チェンカバーを取り付けます。



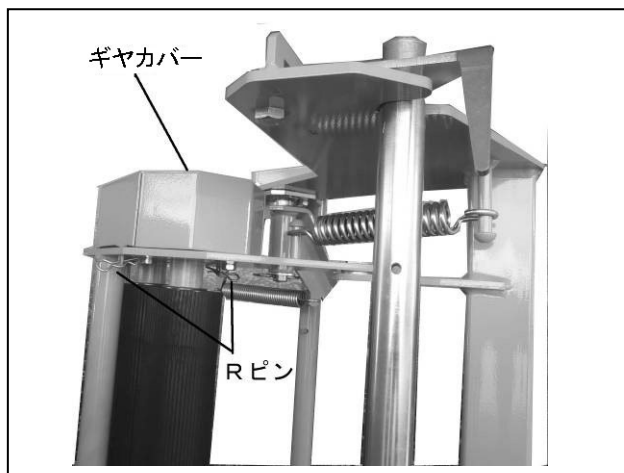
# 運転に必要な装置の取扱い

## 4. フィルム伸び率の調整

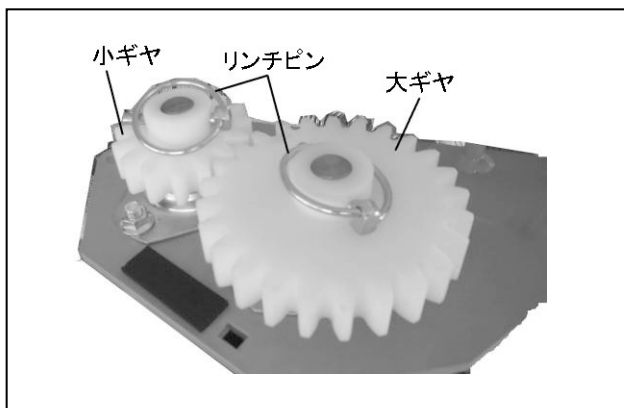
純正フィルム用にフィルムの伸び率は、25T(170%)に設定していますが、気温やフィルム特性の違いにより切れ易かったりすることがあります。

その場合には、付属の伸び率変更用のギヤ24T(160%)に交換してください。

### ◆伸び率変更ギヤ交換方法



①Rピン(2箇所)を取り、ギヤカバーをはずします。

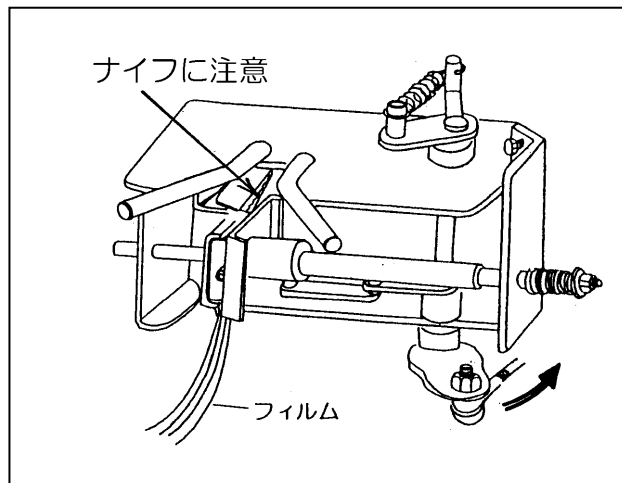


②リンチピンをはずし、大ギヤ(25T)を付属のギヤ(24T)に交換します。

③リンチピンを取り付け、カバーを装着します。

## 5. タイアンドカットにフィルムをはさむ

装置を開きます。フィルムを引き出し、装置の根元に下からはさみます。



### ! 注意

鋭利な刃物がありますので取り扱いには充分注意してください。

注意をおこたると傷害事故につながるおそれがあります。

## 6. 巻数

### ◆カウンタの設定(シングルストレッチ)

巻数はコントロールボックスの参考巻数設定を参考に「+ボタン」、「-ボタン」で設定してください。

また、設定モードで9に巻数を設定し、作業画面の「リセットボタン」を押すとその設定値になります。

### ・フィルム 50cm(シングルストレッチ)

| ベール径    | 巻数設定数(参考値) |     |
|---------|------------|-----|
|         | 4層巻        | 6層巻 |
| φ 85cm  | 16         | 24  |
| φ 100cm | 20         | 30  |

## 運転に必要な装置の取扱い

### ・フィルム 50cm(ダブルストレッチ)

| ベール径    | 巻数設定数(参考値) |     |
|---------|------------|-----|
|         | 4層巻        | 6層巻 |
| φ 85cm  | 8          | 12  |
| φ 100cm | 10         | 15  |

### ・フィルム 75cm(シングルストレッチ)

| ベール径    | 巻数設定数(参考値) |     |
|---------|------------|-----|
|         | 4層巻        | 6層巻 |
| φ 85cm  | 10         | 15  |
| φ 100cm | 12         | 18  |

## 警告

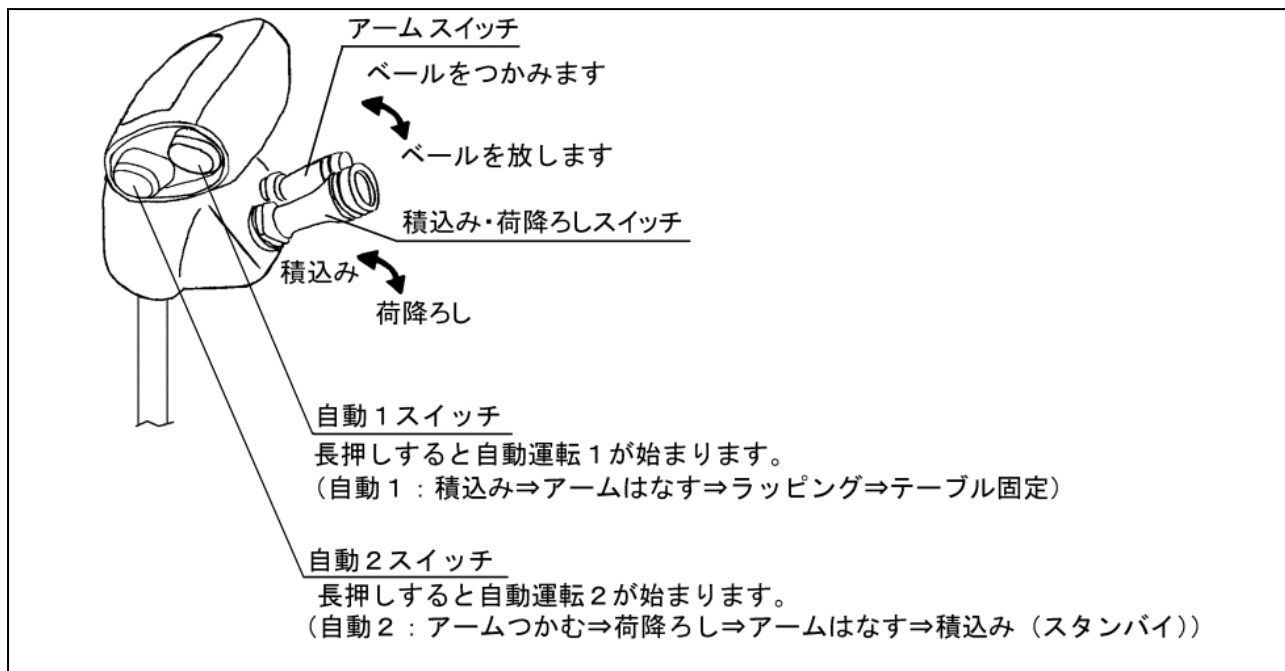
この作業を行う時は、ダンプフレームを完全に戻った状態にして、必ずエンジンを停止してから行ってください。  
これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

## 注意

1. ラップフィルムの品質により密封精度が劣る場合がありますので、純正フィルムの使用を推奨いたします。  
また、フィルムの保管は直射日光が当たらない涼しい場所で保管してください。
2. ベール密封後、誤ってフィルムに傷がついたり穴が開いてしまった場合は、再ラップまたは補修してください。

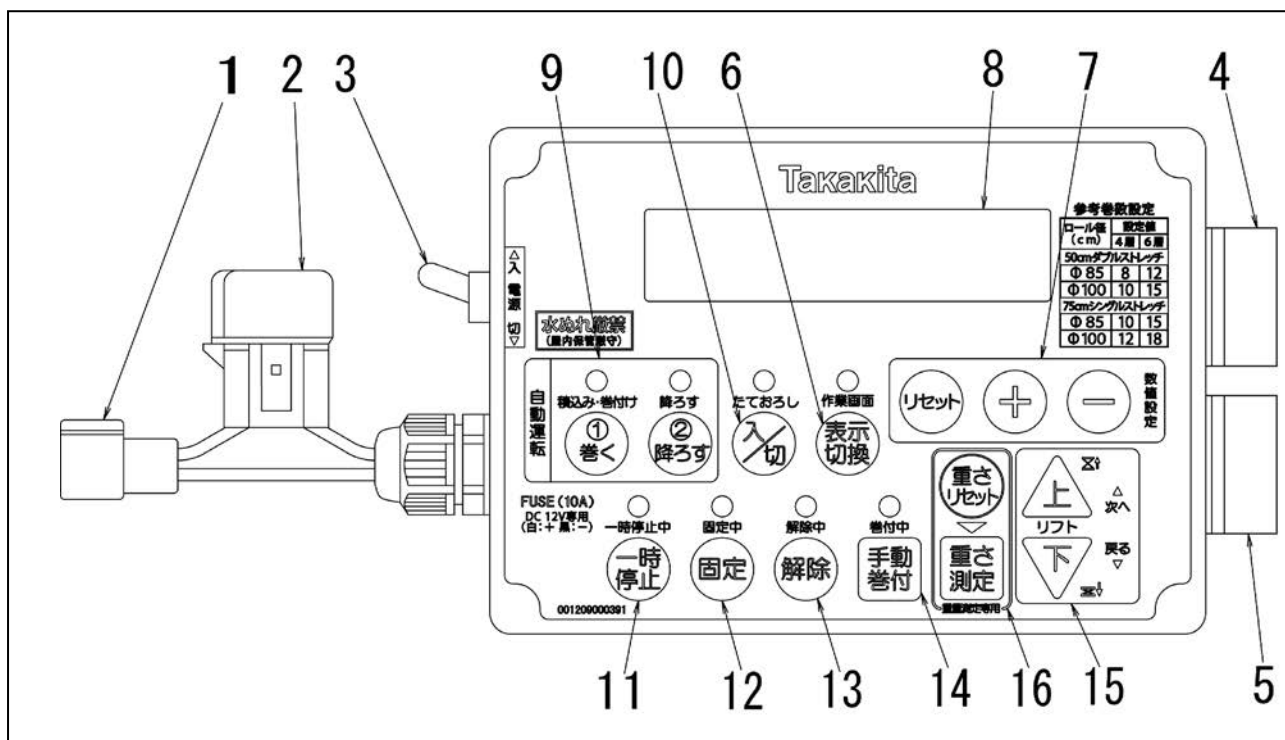
# 運転に必要な装置の取扱い

## 7. スイッチレバー



## 8. コントロールボックス

### ◆コントロールボックスの取扱い



※コントロールボックス前面のステッカーには保護フィルムを貼っています。  
 液晶画面を見易くするため、使用前に保護フィルムをはがしてください。

## 運転に必要な装置の取扱い

| 番号  | 名 称                       | は た ら き                                                                                                                                                                      |
|-----|---------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | 電源コネクタ                    | ・電源の供給を受けます。台車の電源コネクタに接続してください。                                                                                                                                              |
| 2   | ヒューズ                      | ・異常に高い電流が流れたとき、コントロールボックスを保護します。<br>(ヒューズ10A)                                                                                                                                |
| 3   | 電源入/切スイッチ                 | ・スイッチを上げると電源が入り、下げると電源が切れます。                                                                                                                                                 |
| 4   | 入力用コネクタ                   | ・センサ、スイッチレバーからの信号を受け取ります。<br>台車の入力用コネクタに接続してください。                                                                                                                            |
| 5   | 出力用コネクタ                   | ・モータ、油圧バルブを動かします。<br>台車の出力用コネクタに接続してください。                                                                                                                                    |
| 6   | 表示切替ボタン                   | ・押す度に、設定モード→入力チェックモード→出力チェックモード→作業画面を切替えます。<br>LED点灯:作業画面になっており、作業可能。                                                                                                        |
| 7   | リセットボタン<br>+ボタン<br>-ボタン   | ・押すと、巻数を初期値にリセットします。<br>・押すと、巻数に+1します。<br>・押すと、巻数に-1します。                                                                                                                     |
| 8   | 液晶画面                      | ・作業状態、エラー内容を表示します。                                                                                                                                                           |
| 9   | 自動1ボタン<br><br>自動2ボタン      | ・ベールをつかむ位置にアームを合わせ、押すと自動運転1が始まります。<br>(積み込み→アームはなす→ラッピング→テーブル固定)<br>LED点灯:自動運転1動作中。<br>・テーブルが固定されていれば、押すと自動運転2が始まります。<br>(アームつかむ→荷降ろし→アームはなす→積み込み(スタンバイ))<br>LED点灯:自動運転2動作中。 |
| 10  | たておろしボタン                  | ・押すと、たておろしあり/なしの動作を切替えます。<br>LED点灯:たておろしあり LED消灯:たておろしなし                                                                                                                     |
| 11  | 一時停止ボタン                   | ・押すと、動作を一時停止します。<br>LED点灯:一時停止中。<br>再度、一時停止ボタンを長押しすると動作を再開、その他のボタンを押すとリセットします。                                                                                               |
| 12  | 固定ボタン                     | ・テーブルが下がりきっていれば、押すとロックピンを入れ、テーブルを固定します。<br>LED点灯:テーブル固定中。                                                                                                                    |
| 13  | 解除ボタン                     | ・テーブルが固定されていれば、押すとロックピンを抜き、テーブルを解除します。<br>LED点灯:テーブル解除中。                                                                                                                     |
| 14  | 手動巻付けボタン                  | ・テーブルが解除、下がりきっていれば、押すと巻き付けします。                                                                                                                                               |
| 15  | リフト上ボタン<br>リフト下ボタン        | ・テーブルが固定されていると、押している間リフトアップします。<br>・押している間テーブルをリフトダウンします。                                                                                                                    |
| 1 6 | 重さリセット<br>重さ測定<br>(M仕様のみ) | ・重さリセットを押すと、自動で0点調整を行います。<br>・重さリセットを長押し(5秒)すると、ベール重さの変換値を設定(校正)できます。<br>・重さ測定を押すと、ベール重さを簡易測定します。                                                                            |

## 運転に必要な装置の取扱い

### ◆キースイッチを入れると

- ・社名、シリーズ型式、プログラム名を表示。

#### M仕様の場合

タカキタ SW1120D  
41112-6111-008

タカキタ SW1120DM  
41112-6721-008

- ・巻数と個数を表示

「マクスウ」は巻付け動作時のテーブル回転数です。

参考巻数設定を参考にして、「リセットボタン」、「+ボタン」、「-ボタン」で変更してください。

「コスウ」は巻いたボール数を示し、自動動作で巻付→テーブル固定したときに、カウントが+1個増加します。999個までカウントした後は1個に戻ります。

「コスウ」をリセットしたいときは「表示切替ボタン」を3回押し、設定モードのNo. 2を表示します。「リセットボタン」で0個にすることができます。M仕様のみ、重さ測定結果を「シツリョウ」に表示し続け、重さ測定をする度に結果を更新します。

電源を切ったりリセットすると、重さ測定結果が消えます。

#### M仕様の場合

マキ：16 コスウ：3

マキ：16 コスウ：3  
シツリョウ： 0.0kg

- ・ロックピンがテーブルに入っていると「固定中LED」が点灯します。  
ロックピンがテーブルに入っていないと「解除中LED」が点灯します。  
作業画面になっているとき、「作業画面LED」が点灯します。  
たておろしありの設定になっていると、「たておろしLED」が点灯します。

### ◆作業確認の表示

- ・「表示切替ボタン」を1回押すと作業確認に入ります。

サギョウ カクニン

- ・累積時間と累積個数を表示します。メンテナンス時期の参考にご利用ください。

ルイセキジカン 24.9h  
ルイセキコスウ 1000コ

作業確認が終わったら、「表示切替ボタン」を4回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。また、ボールを載せる前に変更した動作を確認してください。

## 運転に必要な装置の取扱い

### ◆設定モードの表示と変更方法

- ・「表示切替ボタン」をもう一度押すと設定モードに入ります。
- ※むやみな設定変更は動作不良に繋がりますので、やめてください。

セッテイ モード

- ・以下のボタンで設定変更してください。
  - ・「リフト上げボタン」：次の項目を表示
  - ・「リフト下げボタン」：前の項目を表示
  - ・「＋ボタン」、「－ボタン」：値を変更
  - ・「リセットボタン」：値を初期値に変更
- ・3，4，5の設定の際はスイッチレバーの「積み込み・荷降ろしスイッチ」を押すと動作し、その値を点線枠内に表示していますので、参考に設定してください。

○○○○○○○○○○ ○○○○V  
ショキチ ○○○○ 2. 50V

### ⚠ 注意

怪我をするおそれがありますので、スイッチレバーの「積み込み・荷降ろしスイッチ」操作の際は、機械の周りに人がいないことを確認してから行ってください。

| No. | 表示                                           | 内容                                                                |
|-----|----------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 1   | ルイセキ 1 0 0 0. 0 kg<br>リセット ボタン デ 0 kg        | 測定したボール重さの合計を表示します。<br>リセットボタンを押すと0個にできます。                        |
| 2   | コスウ 1 0 0 0 コ<br>リセット ボタン デ 0 コ              | リセットボタンを押すと0個にできます。                                               |
| 3   | テーブルテイシ 1. 0 0 V<br>ショキチ 1. 0 0 V 2. 5 0 V   | 自動運転1の積み込みの際、積み込み動作を一旦停止させ、機体にかかるショックを和らげます。<br>その一旦停止の角度を設定できます。 |
| 4   | テーブルタテオロシ 3. 8 5 V<br>ショキチ 3. 8 5 V 2. 5 0 V | たておろしありで自動運転2のボール放出の際、設定位置でボールを放出します。<br>その放出位置の角度を設定できます。        |
| 5   | テーブルモドリ 1. 2 0 V<br>ショキチ 1. 2 0 V 2. 5 0 V   | 自動運転2の放出後にテーブルが設定位置まで戻ります。<br>その戻り位置の角度を設定できます。                   |
| 6   | ツミコミ テイシ 1. 0 s<br>ショキチ 1. 0 s               | 自動運転1の積み込みの際、積み込み動作を一旦停止させ、機体にかかるショックを和らげます。<br>その一旦停止の時間を設定できます。 |

## 運転に必要な装置の取扱い

| No. | 表示                          |                  | 内容                                                                             |
|-----|-----------------------------|------------------|--------------------------------------------------------------------------------|
| 7   | アーム ツカム<br>ショキチ             | 1. 2 s<br>1. 2 s | 自動運転2の荷降ろし前にアームでベールを掴む動作をします。その掴む動作の時間を設定できます。                                 |
| 8   | アーム ハナス<br>ショキチ             | 1. 4 s<br>1. 4 s | 自動運転1の積み込み後にアームをベールから放します。<br>また、自動運転2の放出の際ベールからアームを放します。<br>その放す動作の時間を設定できます。 |
| 9   | ハウシュツ テイシ<br>ショキチ           | 1. 0 s<br>1. 0 s | 自動運転2の荷降ろしの際、ベールを放した後、一時停止し、フィルムを傷付けないようにします。<br>その一旦停止の時間を設定できます。             |
| 10  | リセット マクスウ<br>ショキチ           | 1 6 カイ<br>1 6 カイ | 作業画面でリセットボタンを押すと、巻数が初期巻数に変更されます。<br>その設定巻数を設定できます。                             |
| 11  | マキ インチング<br>ショキチ            | 1. 5 s<br>1. 5 s | 巻き始めるときにラップフィルムが破れないようにテーブル回転をインチングから始めます。<br>そのインチングの時間を設定できます。               |
| 12  | ハウシュツ マチ<br>ショキチ            | 0. 5 s<br>0. 5 s | 自動運転2の荷降ろしの際、テーブルをダンプした後、一時停止し、ベールを放します。その一旦停止の時間を設定できます。                      |
| 13  | ジドウ ソクテイ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ) | O F F<br>O F F   | ベールの積み込みからラッピングを行う自動運転1に、ベール重さの測定を組み込むことができます。<br>その機能を設定できます。                 |

設定変更が終わったら、「表示切替ボタン」を3回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。また、先にベールを載せていない状態で変更した動作を確認してください。

### ◆入力チェックモードの表示

- ・「表示切替ボタン」をもう一度押すと入力チェックモードに入ります。  
センサやレバースイッチがON状態だとブザーが鳴り、OFF状態だとブザーは鳴りません。  
センサやレバースイッチの入力確認にご利用ください。

ニュウリョク チェック モード

## 運転に必要な装置の取扱い

・以下のボタンで表示を変更してください。

・「リフト上げボタン」：次の項目を表示    ・「リフト下げボタン」：前の項目を表示

| No. | 表示                                                                            | 内容                                        |
|-----|-------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 1   | ダンプ   p t                      2 . 5 0 V<br>カウント   s w                  O F F | ポテンシオメーターの値を表示<br>回転カウントセンサの状態をON/OFFで表示  |
| 2   | ジドウ1   r s w                  O F F<br>ジドウ2   r s w                  O F F    | スイッチレバーの自動1スイッチ、自動2スイッチの状態をON/OFFで表示      |
| 3   | アーム   ノビ   r s w              O F F<br>アーム   チヂミ   r s w          O F F       | スイッチレバーのアームスイッチの状態をON/OFFで表示              |
| 4   | ダンプ   ノビ   r s w              O F F<br>ダンプ   チヂミ   r s w          O F F       | スイッチレバーの積込み・荷降ろしスイッチの状態をON/OFFで表示         |
| 5   | ロックピン   s w                  O N                                              | ロックピンセンサの状態をON/OFFで表示                     |
| 6   | ロックピンモータ   s w          O N                                                   | モータ内蔵センサの状態をON/OFFで表示                     |
| 7   | ソクテイ   イチ   s w          O F F<br>エンジン   O F F .   + ボタン<br>(M仕様のみ)           | エンジンOFFにし、+ボタンを押し続けてください。<br>状態をON/OFFで表示 |

入力確認が終わったら、「表示切替ボタン」を2回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。

### ◆出力チェックモードの表示

・「表示切替ボタン」をもう一度押すと出力チェックモードに入ります。

バッテリー電圧も表示しますので、モータや油圧出力の確認時にご利用ください。

シュツリョク   チェック   モード

### ⚠ 注意

出力チェックはセンサの状態(ON/OFF)に関係なく出力されます。機械が破損するおそれがありますので、

ベールを載せたまま動作させる。

ダンプしたまま、テーブルを回転させる。

テーブルを固定しないままダンプする。

等の危険行為はやめてください。

### ⚠ 注意

怪我をするおそれがありますので、「+ボタン」、「-ボタン」操作の際は、機械の周りに人がいないことを確認してから行ってください。

## 運転に必要な装置の取扱い

- ・以下のボタンで出力の確認をしてください。
- ・「リフト上げボタン」：次の項目を表示   ・「リフト下げボタン」：前の項目を表示
- ・「+ボタン」、「-ボタン」：各出力を出します。

| No. | 表示                                        | 内容                                                                 |
|-----|-------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|
| 1   | モータ<br>バッテリー<br>1 4. 4 V                  | 「+ボタン」もしくは「-ボタン」を押している間、モータ正転出力を出します。                              |
| 2   | ダンプ<br>バッテリー<br>1 4. 4 V                  | 「+ボタン」を押している間、ダンプシリンダ伸び出力を出します。<br>「-ボタン」を押している間、ダンプシリンダ縮み出力を出します。 |
| 3   | アーム<br>バッテリー<br>1 4. 4 V                  | 「+ボタン」を押している間、アームシリンダ伸び出力を出します。<br>「-ボタン」を押している間、アームシリンダ縮み出力を出します。 |
| 4   | テーブル<br>バッテリー<br>1 4. 4 V                 | 「+ボタン」もしくは「-ボタン」を押している間、テーブル油圧モータ正転出力を出します。                        |
| 5   | リフト<br>バッテリー<br>1 4. 4 V                  | 「+ボタン」を押している間、リフトシリンダ伸び出力を出します。<br>「-ボタン」を押している間、リフトシリンダ縮み出力を出します。 |
| 6   | ソウシン シンゴウ<br>バッテリー<br>(M仕様のみ)<br>1 4. 4 V | 「+ボタン」もしくは「-ボタン」を押している間、送信信号を出します。                                 |

出力確認が終わったら、「表示切替ボタン」を1回押して、「作業画面LED」を点灯させてください。

### ◆メーカー設定モードの表示と変更方法

- ・「+ボタン」「-ボタン」を押しながら、コントロールボックスの電源を入れてください。
- ※むやみな設定変更は動作不良につながりますので、やめてください。
- また、変更する場合は販売店へご相談ください。

メーカー セッテイ モード

## 運転に必要な装置の取扱い

・以下のボタンで設定変更してください。

・「リフト上げボタン」：次の項目を表示

・「リフト下げボタン」：前の項目を表示

・「＋ボタン」、「－ボタン」：値を変更

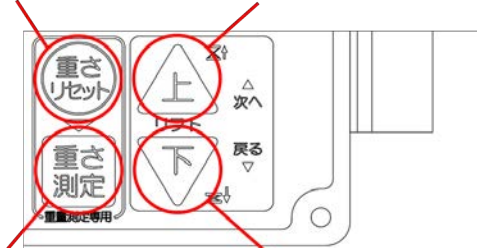
・「リセットボタン」：値を初期値に変更

| No. | 表示                              | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
|-----|---------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1   | インチング ON 0.05 s<br>ショキチ 0.05 s  | 巻き始めやテーブルを固定する際にインチングを行います。その出力のONの時間を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |
| 2   | インチング OFF 0.10 s<br>ショキチ 0.10 s | 巻き始めやテーブルを固定する際にインチングを行います。その出力のOFFの時間を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                             |
| 3   | カイトン テイシ 1.0 s<br>ショキチ 1.0 s    | テーブル固定するときのインチング時間を短くするために巻数をカウントし終えた後、設定時間後にテーブル回転を停止し、インチングを始めます。<br>その回転停止まで時間を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                  |
| 4   | テーブルサイショウ 0.50 V<br>ショキチ 0.50 V | 自動動作や手動動作時の「テーブル フ サゲ」の警告を出すために、テーブルが積み込み(戻り)きっている位置を検出する必要があります。<br>その最小の角度を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 5   | テーブルサイダイ 4.50 V<br>ショキチ 4.50 V  | たておろしなしの設定のとき、テーブルが最大位置まで荷降ろし方向に倒れます。<br>その最大の角度を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   |
| 6   | テーブルカイジョ 1.15 V<br>ショキチ 1.15 V  | テーブルを解除する際、「ロックカナグ」が「オシアゲカナグ」の下に入る位置までテーブルが荷降ろし方向に倒れます。<br>その解除の位置を設定できます。                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
| 7   | BU ダンプ p t OFF<br>ショキチ OFF      | ポテンシオメーターに不具合が起こった場合、正常な自動動作、手動動作ができなくなります。<br>設定を「ON」にすることで、一時的に自動運転1、自動運転2、テーブル解除以外の動作はできるようになりますので、手動操作で作業を行ってください。<br><br><div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">マクスウ：16 コスウ：3<br/>ダンプ バックアップ</p> </div> <p>※そのとき、ポテンシオメーターのセンサ警告は出なくなりますので、必ずテーブルを積み込みきってから、「手動巻付ボタン」、「固定ボタン」を押してください。<br/>また、新しいポテンシオメーターに交換した後は、必ず設定を「OFF」にしてください。</p> |

## 運転に必要な装置の取扱い

| No. | 表示                                     | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |
|-----|----------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 8   | BU カウント s w OFF<br>ショキチ OFF 3. 0 s / r | <p>カウントセンサに不具合が起こった場合、正常に巻数をカウントできなくなります。</p> <p>1回転あたりの時間を設定することで、自動運転1や手動巻付の際、</p> <p style="text-align: center;">巻数×1回転あたりの時間</p> <p>テーブルを回転させ、停止することができます。</p> <p>エンジン回転数が最大するとき、1回転あたり約3. 0秒ですので、この値を参考に設定してください。</p> <p style="text-align: center;">＜作業中画面＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>マクスウ：16 コスウ：3<br/>カウント バックアップ</p> </div> <p>※実際に巻いた巻数とは異なりますので、新しいカウントセンサに交換した後は必ず設定を「OFF」にしてください。</p>                      |
| 9   | BU ロックピン s w OFF<br>ショキチ OFF 2. 5 s    | <p>ロックピンセンサに不具合が起こった場合、テーブル固定・解除の検出ができなくなり、自動動作、手動動作ができなくなります。</p> <p>テーブルを固定できるまでの時間を設定することで、一時的に自動動作1、自動動作2以外の動作はできるようになりますので、手動操作で作業を行ってください。</p> <p>設定時間の間インチングした後、テーブルが固定したことになります。テーブルが実際に固定されていなければ、荷降ろしを行わずに、「固定ボタン」を押してテーブルを固定してください。</p> <p style="text-align: center;">＜作業中画面＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> <p>マクスウ：16 コスウ：3<br/>ロックピン バックアップ</p> </div> <p>※自動動作が効きませんので、新しいロックピンセンサに交換した後は必ず設定を「OFF」にしてください。</p> |

## 運転に必要な装置の取扱い

| No. | 表示                                                                 | 内容                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 |
|-----|--------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 10  | BU レバー r s w      OFF<br>ショキチ                      OFF             | <p>レバースイッチに不具合が起こった場合、手動での「積込み・荷降ろしスイッチ」と「アームスイッチ」が利かなくなります。</p> <p>設定を「ON」することで、一時的に「リフト上ボタン」、「リフト下ボタン」、「重さリセットボタン」、「重さ測定ボタン」は使用できなくなりますが、「積込み・荷降ろしスイッチ」、「アームスイッチ」をコントロールボックスのボタンに代替できます。</p> <p>＜代替位置＞</p> <p>「アーム上ボタン」「荷降ろしボタン」</p>  <p>「アーム下ボタン」「積込みボタン」</p> <p>＜作業中画面＞</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;">           マクスウ：16    コスウ：3<br/>           レバー    バックアップ         </div> <p>※スイッチレバーの「積込み・荷降ろしスイッチ」、「アームスイッチ」が効きませんので、新しいレバースイッチに交換した後は必ず設定を「OFF」にしてください。</p> |
| 11  | デンアツ    チェック      10.5V<br>ショキチ    10.5V      13.5V                | <p>ラッピング中に電圧が設定値より下がると、低電圧警告を表示します。</p> <p>その電圧を設定できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                        |
| 12  | シツリョウ    キノウ      ON<br>ショキチ                      OFF<br>(M仕様のみ)   | <p>ベール重さ測定機能を無くすことができます。</p> <p>また、設定を「OFF」にすると、ベール重さ測定に関する設定画面、入出力チェック画面が表示されず、ボタン操作も効かなくなります。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 13  | ソクテイ    テイシ      4.0s<br>ショキチ                      4.0s<br>(M仕様のみ) | <p>テーブルを持ち上げ、一時停止した後、ベール重さ測定を行います。※測定精度に影響します。</p> <p>その一時停止時間を設定できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 14  | ソクテイ    ジカン      2.0s<br>ショキチ                      2.0s<br>(M仕様のみ) | <p>測定したベール重さの平均値をコントローラに表示します。※測定精度に影響します。</p> <p>その測定時間を設定できます。</p>                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                               |

## 運転に必要な装置の取扱い

| No. | 表示                            | 内容                                                                                                 |
|-----|-------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 15  | リフト サゲ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ)     | 1. 0 s<br>1. 0 s<br>ベール重さ測定後、リフトを下げます。<br>その下げ時間を設定できます。                                           |
| 16  | アーム アゲ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ)     | 0. 5 s<br>0. 5 s<br>アームによってベールがテーブル中心に載らないことを防ぐために、アームを上げてからベール重さ測定を行います。<br>そのアーム上げ時間を設定できます。     |
| 17  | ケイバール ホセイ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ)  | 1 0 0. 0<br>1 0 0. 0<br>軽いベールの重さに補正(%)をかけて表示します。<br>その補正を設定できます。                                   |
| 18  | メベリ ホセイ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ)    | 1 0 0. 0<br>1 0 0. 0<br>ベールの重さに補正(%)をかけて表示します。<br>その補正を設定できます。                                     |
| 19  | 0 テン ノ アタイ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ) | 1 3 5. 0 0<br>1 3 5. 0 0<br>油圧センサ値 - 空荷値 = ベール重さ になります。<br>その空荷値を微調整できます。<br>基本的に重さリセットで設定してください。  |
| 20  | ヘンカン ノ アタイ<br>ショキチ<br>(M仕様のみ) | 2. 9 5 7<br>2. 9 5 7<br>油圧センサからの電圧(V)を重さ(kg)に変換します。<br>その変換値を微調整できます。<br>基本的に重さリセット(長押し)で設定してください。 |

### ◆こんなときは

#### 1. 自動動作中、テーブルの回転を途中で停止したい。

「一時停止ボタン」を押すと「一時停止LED」が点灯します。

再度、一時停止ボタンを長押しすると、動作を再開し、その他のボタンを押すとリセットします。

#### 2. テーブルがダンプ（荷降ろし）できない。（「解除中LED」が点灯している）

荷降ろし後、テーブルを完全に戻してしまうと、テーブルのロックピンが外れるため、ダンプできなくなります。

テーブル ヲ コテイ

「固定ボタン」を押してください。

「固定ボタン」を押した後、以下の表示が出た場合、

テーブル ヲ サゲ

## 運転に必要な装置の取扱い

レバースイッチの「積込み・荷降ろしスイッチ」でテーブルを積み込み側に戻しきり、「固定ボタン」を押してテーブルをロックしてから、再度テーブルダンプ（荷降ろし）を行ってください。

### 3. 途中で荷降ろししたい。

#### 3-1. 自動で荷降ろしするとき

- ①「一時停止ボタン」を押し、動作を一時停止させてください。
- ②その他のボタンを押し、リセットさせてください。
- ③「固定ボタン」を押し、テーブルを固定させてください。
- ④スイッチレバーの「自動2ボタン」を押し、放出してください。

#### 3-2. 手動で荷降ろしするとき

- ①「一時停止ボタン」を押し、動作を一時停止させてください。
- ②その他のボタンを押し、リセットさせてください。
- ③「固定ボタン」を押し、テーブルを固定させてください。
- ④スイッチレバーの「アームスイッチ」でベールをつかみます。
- ⑤スイッチレバーの「積込み・荷降ろしスイッチ」で荷降ろし方向に倒してください。
- ⑥スイッチレバーの「アームスイッチ」でベールを放します。

### 4. 追い巻きしたい。

- ①テーブルの解除ボタンを押して、テーブルを解除してください。
- ②ラップフィルムの巻数を「+ボタン」、「-ボタン」で設定します。  
(ラップフィルムの巻数を設定せずに、液晶に表示される巻数で、必要な巻数まできた時に「一時停止ボタン」で停止させることも可能です。)
- ③「手動巻付ボタン」を押してください。

## ◆センサエラー

### 1. 自動動作でカウントセンサが反応しないときに、センサエラーになります。

|      |     |        |
|------|-----|--------|
| カイテン | s w | ハンノウナシ |
| ボタン  | ソウサ | デ リセット |

コントロールボックスのボタンを押して、リセットしてください。

#### 1-1. テーブルが回転し始めて1回転目で止まる場合

ロックピンが入っている場合、テーブルは回転できません。「解除LED」が点灯している場合は「解除ボタン」を押してください。

## 運転に必要な装置の取扱い

### 1-2. テーブルが回転しない場合

出力チェックモードで「テーブル」の出力が出ているか確認してください。  
出ている場合はハーネスとそのコネクタの接続を確認してください。

|       |       |
|-------|-------|
| テーブル  |       |
| バッテリー | 14.4V |

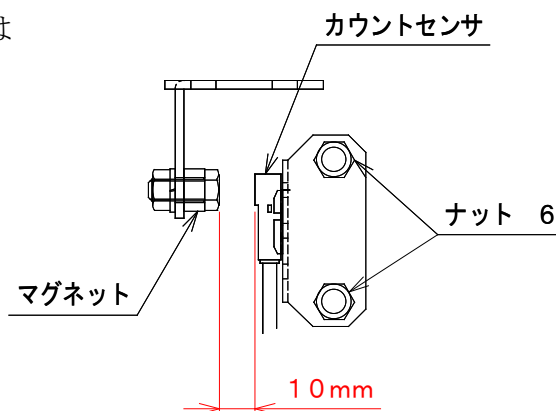
### 1-3. テーブルは回転するが巻数のカウントが増えない場合

#### 1-3-1. カウントセンサのコネクタを確認してください。

①入力チェックモードで「カウント s w」の入力がコントロールボックスに入っているか確認してください。カウントセンサが反応している場合は表示が「ON」、反応していない場合は「OFF」になります。

|              |     |
|--------------|-----|
| カウント s w     | OFF |
| ロックピンモータ s w | ON  |

カウントセンサとマグネットとの距離は  
10mmです。  
ずれている場合はナット6を緩めて、  
調整してください。



②カウントセンサが反応していない場合、メーカー設定モードの8の機能をご利用ください。

※メーカー設定モードの8は補助的な機能ですので、実際の巻数とは異なります。

詳しくは29ページを確認し、販売店へご相談ください。

## 2. 自動動作でポテンシオメーターが反応しないときに、センサエラーになります。

|         |            |
|---------|------------|
| ダンプ p t | ハンノウナシ     |
| ボタン     | ソウサ デ リセット |

コントロールボックスのボタンを押して、リセットしてください。

### 2-1. テーブルが積み込み・荷降ろし（ダンプ動作）しない場合

出力チェックモードで「ダンプ」の出力が出ているか確認してください。  
出ている場合はハーネスとそのコネクタの接続を確認してください。

|       |       |
|-------|-------|
| ダンプ   |       |
| バッテリー | 14.4V |

## 運転に必要な装置の取扱い

2-2. 積み込み・荷降ろし動作できるが、停止位置になっても動作し続ける場合

1-3-1. ポテンシオメーターのコネクタを確認してください。

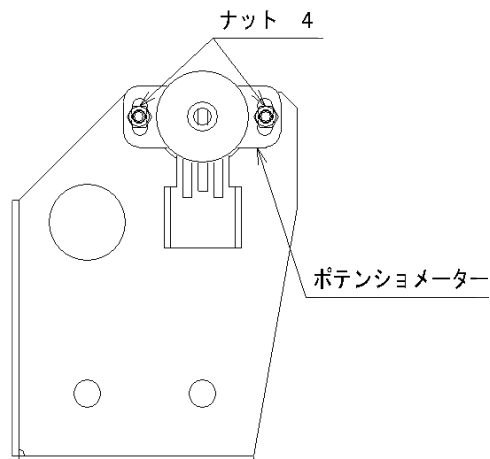
- ①入力チェックモードで「ダンプ p t」の入力がコントロールボックスに入っているか確認してください。ポテンシオメーターが反応している場合はそのときの位置を「○. ○○V」と表示します。

|           |        |
|-----------|--------|
| ダンプ p t   | ○. ○○V |
| ロックピン s w | ON     |

ポテンシオメーターの初期位置（積み込みきった状態）は  
0.30±0.05Vです。

ずれている場合はナット4を緩めて、  
調整してください。

|       |       |
|-------|-------|
| ダンプ   | 0.30V |
| バッテリー | 14.4V |



- ②ポテンシオメーターが反応していない場合、メーカー設定モードの7の機能をご利用ください。

### ⚠ 注意

メーカー設定モードの7は緊急の機能です。機械が壊れるので、テーブルを回転させる場合、必ずテーブルを積み込みきってください。  
詳しくは27ページを確認し、販売店へご相談ください。

3. ロックピンセンサが反応しないときに、センサエラーになります。

|           |            |
|-----------|------------|
| ロックピン s w | ハンノウナシ     |
| ボタン       | ソウサ デ リセット |

コントロールボックスのボタンを押して、リセットしてください。

3-1. テーブルが回転しない場合

出力チェックモードで「テーブル」の出力が出ているか確認してください。  
出ている場合はハーネスとそのコネクタの接続を確認してください。

|       |       |
|-------|-------|
| テーブル  |       |
| バッテリー | 14.4V |

## 運転に必要な装置の取扱い

3-2. テーブルは固定できているが、インチング動作が続き、

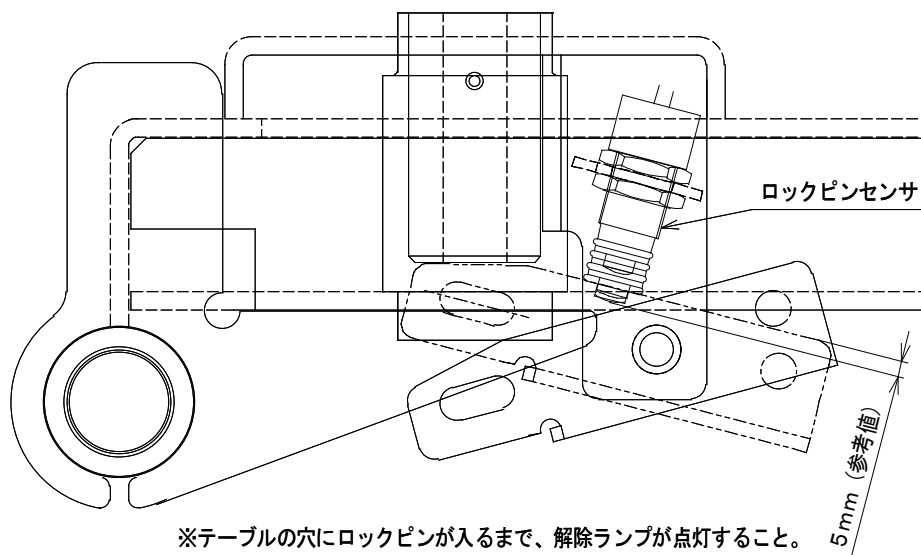
「解除LED」が点灯している場合

3-2-1. ロックピンセンサのコネクタを確認してください。

- ①入力チェックモードで「ロックピン sw」の入力がコントロールボックスに入っているか確認してください。ロックピンセンサが反応している場合は表示が「ON」、反応していない場合は「OFF」になります。

|           |        |
|-----------|--------|
| ダンブ p t   | ○. ○○V |
| ロックピン s w | ON     |

ロックピンが入った状態でロックピンセンサの先端を5mm押された位置で固定しています。ずれている場合は調整してください。また、調整後は、テーブルの穴にロックピンが入るまで「固定LED」が消灯していることを確認してください。



- ②ロックピンセンサが反応していない場合、メーカー設定モードの9の機能をご利用ください。

### ⚠ 注意

メーカー設定モードの9は緊急の機能です。危険ですので実際にテーブルが固定できていない場合、必ず荷降ろしせずにテーブルを固定してから行ってください。29ページの詳細を確認し、販売店へご相談ください。

## 運転に必要な装置の取扱い

4. ベールの重さ測定の際、テーブルが途中で停止しないときに、センサエラーになります。

(M仕様のみ)

|     |     |   |      |    |
|-----|-----|---|------|----|
| リフト | s w | ノ | ハンノウ | ナシ |
| ボタン | ソウサ | デ | リセット |    |

コントロールボックスのボタンを押して、リセットしてください。

### 4-1. テーブルがリフトしない場合

出力チェックモードで「リフト」の出力が出ているか確認してください。  
出ている場合はハーネスとそのコネクタの接続を確認してください。

|     |       |
|-----|-------|
| リフト |       |
| 배터리 | 14.4V |

### 4-2. テーブルはリフトするが止まらない場合

リフトセンサ、測定用リレーのコネクタを確認してください。

入力チェックモードで「リフト s w」の入力がコントロールボックスに入っているか確認してください。

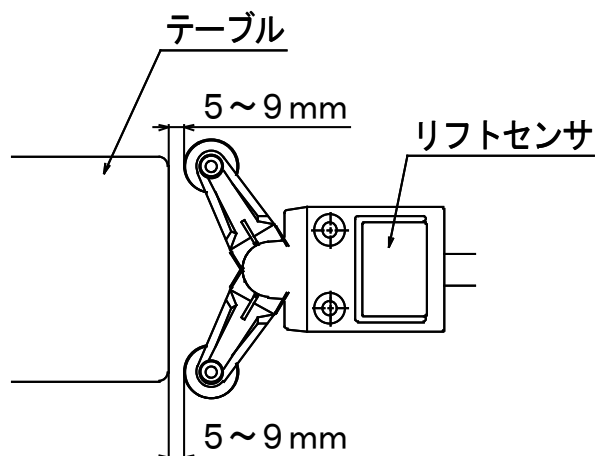
必ずエンジンを停止してから「+」ボタンを押しながら、確認してください。

リフトセンサが反応している場合は

表示が「ON」、反応していない場合は「OFF」になります。

|      |      |      |
|------|------|------|
| リフト  | s w  | OFF  |
| エンジン | OFF. | +ボタン |

リフトセンサのレバーが振り切った時、テーブルを上げた状態でテーブルから5～9mm逃げる位置で固定されている必要があります。ずれている場合は調整してください。また、ベール重さ測定精度に影響しますので、調整後は必ず0点調整、ベール質量の変換値の再設定を行ってください。



## 運転に必要な装置の取扱い

5. ベールを載せて、重さ測定するとマイナス値が表示される。

(M仕様のみ)

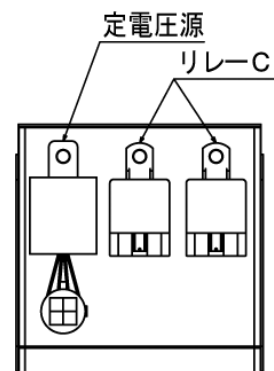
リフトセンサのコネクタの接続を確認してください。

白色電線が接続されているリレーCと低電圧源の  
コネクタの接続を確認してください。

黒色電線が接続されているリレーCはリフトセンサと  
カウントセンサの入力を切替えています。

白色電線が接続されているリレーCはポテンショメーターと  
油圧センサの入力を切替えています。

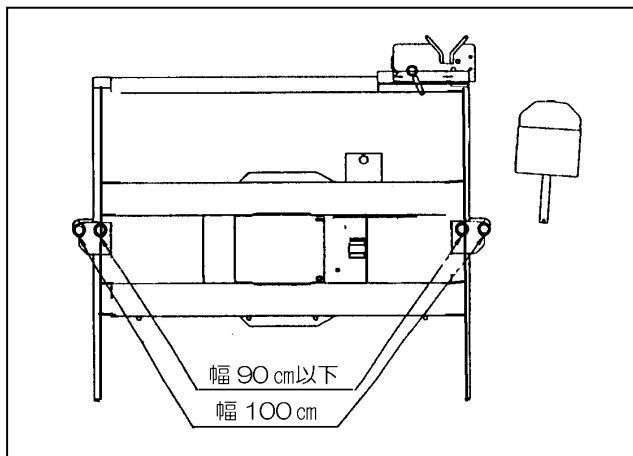
定電圧源はバッテリー電圧を12Vに変換し、  
油圧センサに供給しています。



# 運転に必要な装置の取扱い

## 9. サイドローラの位置

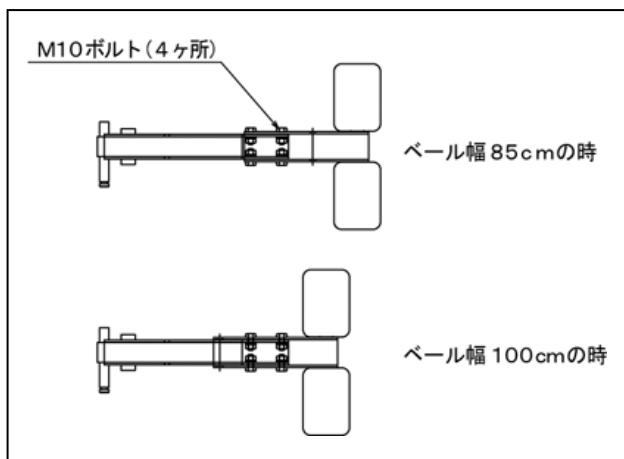
ベール幅によって位置を移動させてください。



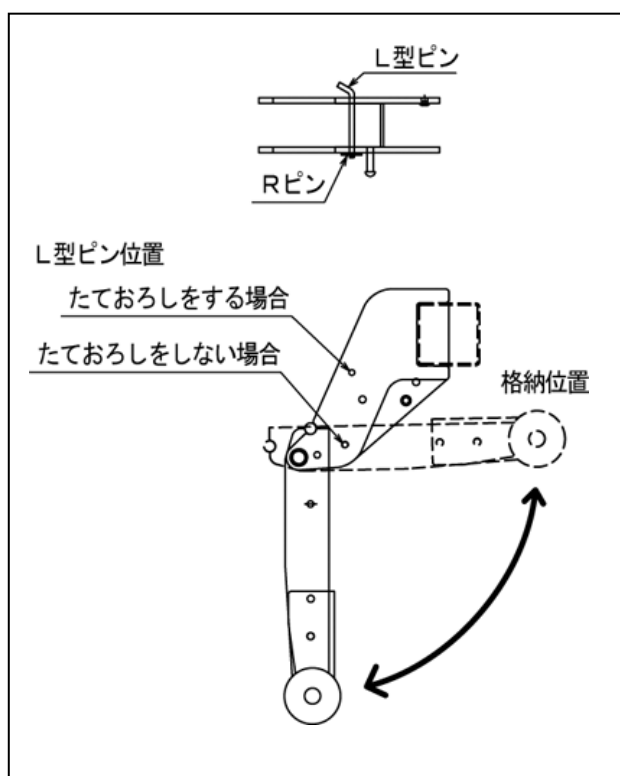
## 10. ベールたておろし装置

ベールをたておろすための装置です。ラップしたベールの保管は、フィルムの破れの少ない縦置き保管を原則にしてください。

ベールの幅が85cmで使用する場合は、次に示すようにアームの長さを変更してください。



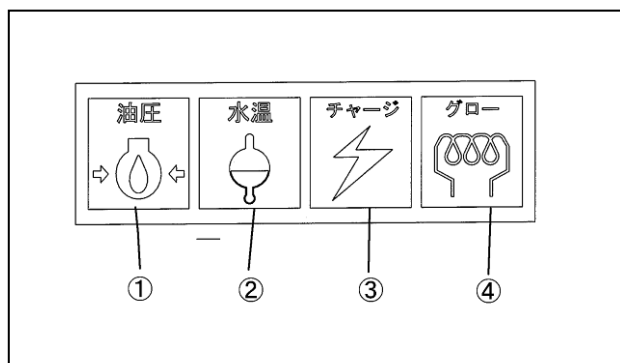
たておろしを使用しない場合は、格納位置にL型ピンで固定してください。



### 注意

ベール幅100cmで使用する場合は、必ずアームの長さを短い位置でセットしてください。  
ベールが回転中にアームに干渉しフィルムが破れるおそれがあります。

## 11. 警告灯



エンジンの運転中は、各部が円滑に作動しているか、上記警告灯に絶えず注意してください。

# 運転に必要な装置の取扱い

## ①油圧

エンジンオイルが規定圧力以下になったら点灯して、運転者に危険を知らせます。運転中に点灯した場合は、すぐにエンジンを停止し、次の点検・整備をしてください。

- ・エンジンオイル量の点検
- ・潤滑油系統の点検

(詳細はエンジン取扱説明書を参照)

## ②水温

水温警告灯が点灯した場合は、負荷を切り、最低5分以上アイドリング運転などの「冷機運転」を行い、冷却した後、エンジンを停止し、次の点検・整備をしてください。

- ・冷却水の量(不足)、および水漏れがないか。
- ・冷却風入り口、および出口近くに障害物がないか。
- ・ラジエータフィンとチューブの間に、泥やゴミが付着してないか。
- ・ファンベルトが緩んでいないか。
- ・ラジエータ水管の中に、水アカが溜まっていないか。

(詳細はエンジン取扱説明書を参照)

## ③チャージ

バッテリーが放電状態にあるとき点灯して運転者に知らせます。

運転中に点灯した場合は、エンジンを停止し次の点検・整備をしてください。

- ・配線の断線
- ・ダイナモ・レギュレータターミナル部の接触不良。
- ・ファンベルトの緩みや損傷の有無

## ④グロー

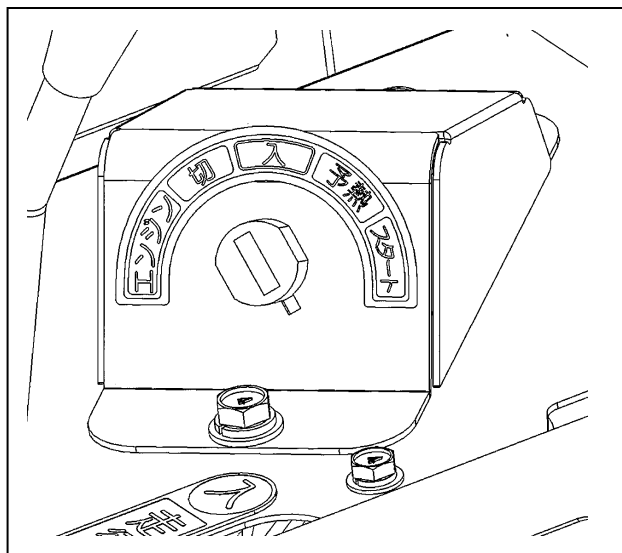
エンジン始動時、キーシリンダの予熱にすると点灯します。消灯すれば予熱完了です。エンジンが暖かい場合でも一定時間は点灯します。

## 12. キースイッチ

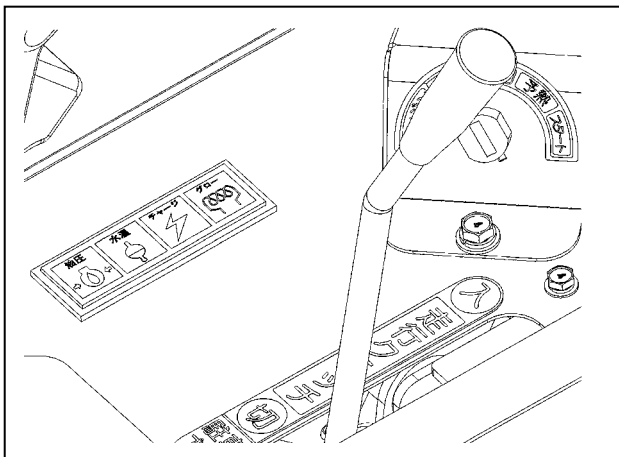
エンジンの始動・停止に使用します。

### ●エンジン始動のしかた

1. 走行クラッチが「切」位置にあることを確認します。
2. スロットルレバーを中速位置にします。寒冷時は、高速位置にします。
3. スタータスイッチにキーを差し込み「入」位置にします。
4. 油圧ランプとチャージランプが点灯しているか確認してください。
5. シリンダ内を予熱します。  
キーを「予熱」位置まで回しグローランプが消灯すれば予熱完了です。  
但し、外気温が $-5^{\circ}\text{C}$ 以下のときは、消灯後も約5秒間予熱してください。  
(エンジンが暖まっている場合はこの操作は不要です。)
6. キーを「スタート」位置まで回すとスタータが回り、エンジンが始動します。  
始動したら、すぐキーから手をはなし、エンジンを中速運転します。
7. 油圧ランプとチャージランプが消えているか確認します。消えない場合はすぐにエンジンを停止し、点検してください。  
(エンジン取扱説明書参照)
8. エンジンを低速回転で、約5分間暖気運転を行ってください。



## 運転に必要な装置の取扱い



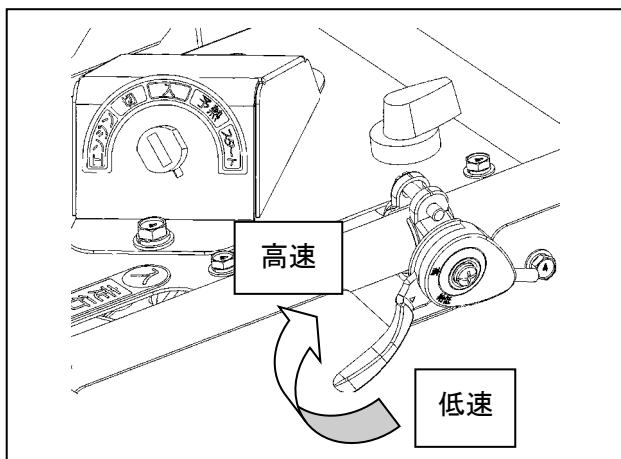
### 注意

- ①エンジン回転中は、スタータキーを回さないでください。
- ②スタータキーを「スタート」位置に回して、10秒たっても始動しないときは、30秒以上休止してから同じ操作を繰り返してください。スタータの20秒以上の連続使用は故障の原因となります。
- ③暖気運転は、冬期に限らず必ず行いましょう。エンジンが暖まらないうちに作業を行うと、性能が十分に発揮できないばかりでなく、エンジンの寿命を短くします。

### ●エンジン停止のしかた

アクセルレバーをアイドル位置にして、スタータキーを「切」位置にすると停止します。

### 13. エンジンスロットルレバー



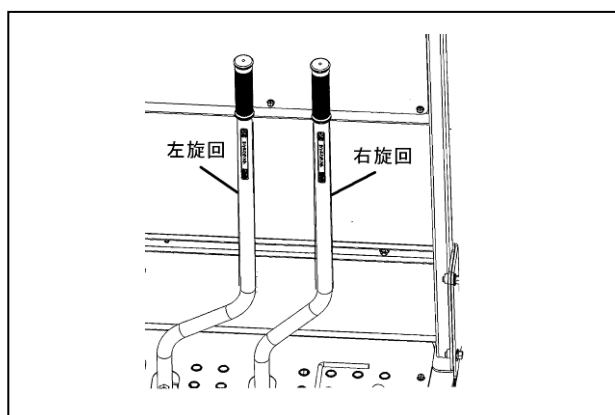
### ◆エンジンスロットルレバー

エンジンの回転速度を調整するレバーです。

### 注意

作業時は必ずエンジン回転を上げてください。アイドル回転付近（機体がエンジンの振動と共振し振動が大きくなる）で作業するとマフラ等が破損する原因となります。

### 14. サイドクラッチレバー



右に旋回するときは右サイドクラッチレバーを手前に引き、左に旋回するときは左サイドクラッチレバーを手前に引いてください。

### 警告

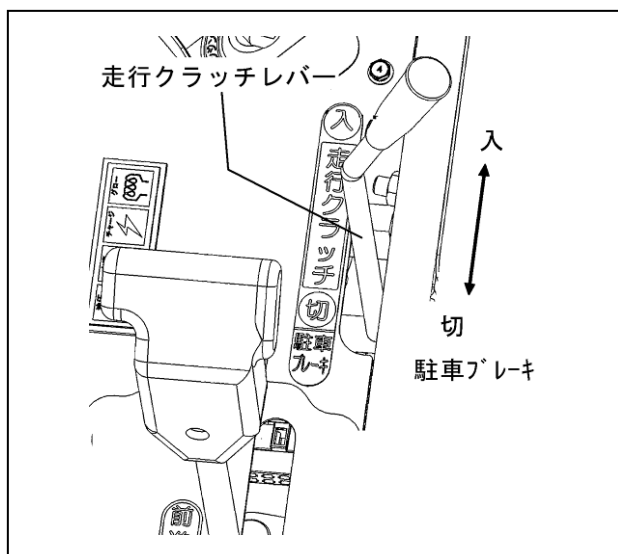
- 高速走行時、サイドクラッチレバーを強く引くと急旋回して危険ですので注意してください。
- 砂利道での急旋回は、クローラに石がかみ込むおそれがあるので避けてください。
- 旋回時に片方のクローラをあぜに乗りあげたり、あぜぎわでの急旋回は絶対に行わないでください。守らないと、転倒したり、クローラが外れたりするおそれがあり危険です。

# 運転に必要な装置の取扱い

## 15. 走行クラッチレバー

(駐車ブレーキレバー)

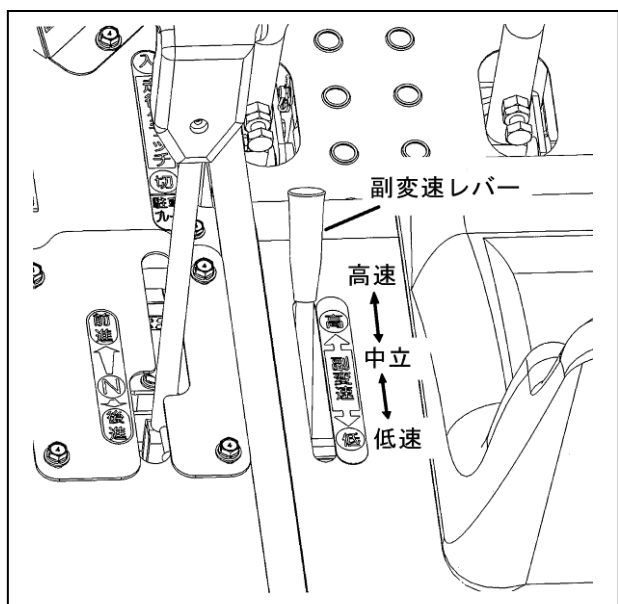
- ①作業時には次図のように走行クラッチレバーを前に倒し、「入」位置の状態にすると走行することができます。
- ②停止あるいは副変速レバーを切り換えるときは、次図のように走行クラッチレバーを手前に引き「切」位置の状態にすると本機の走行が停止するとともに、駐車ブレーキが作動します。



### ⚠ 危険

エンジンの始動は走行クラッチレバーを必ず「切」位置で行ってください。

## 16. 副変速レバー



- 作業に合わせ、低速高速の切り換えができます。
- トラックへの積み込み・降ろしや条件の悪い場所を走行するときは、必ず低速にしてください。
- 副変速レバーを切り換えるときは、平坦な場所で停止し、走行クラッチレバーを「切」位置にした状態で行ってください。

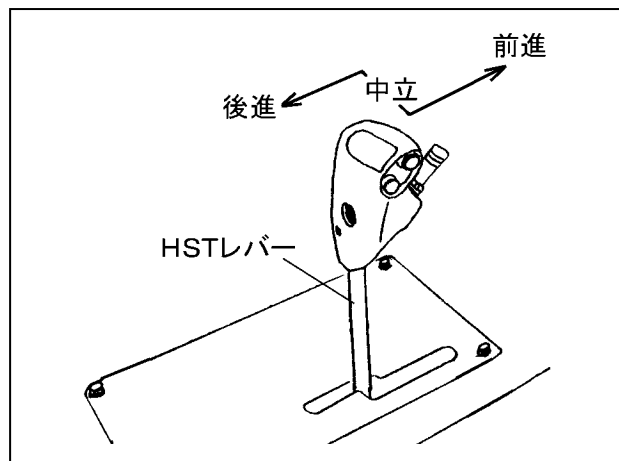
### 注意

副変速レバーの切り換えは走行ミッションを傷めないよう、必ずHSTレバーを中立にして、走行クラッチを切ってから行ってください。

### ⚠ 危険

傾斜地では、副変速レバーを切り換えしないでください。機体が突然下がるおそれがあります。

## 17. HSTレバー (前後進変速レバー)



- ①本機の前後進、および走行速度の変速は、このレバー1本の操作で行います。
- ②前後進変速レバーを進行方向に向かって前方へ倒すと本機は前進します。
- ③前後進変速レバーを進行方向に向かって手前へ倒すと本機は後進します。
- ④前進、および後進のいずれにおいても、この前後進変速レバーの傾倒度合に応じて無段階に車速が速くなります。

## 運転に必要な装置の取扱い

### 《速度の目安》

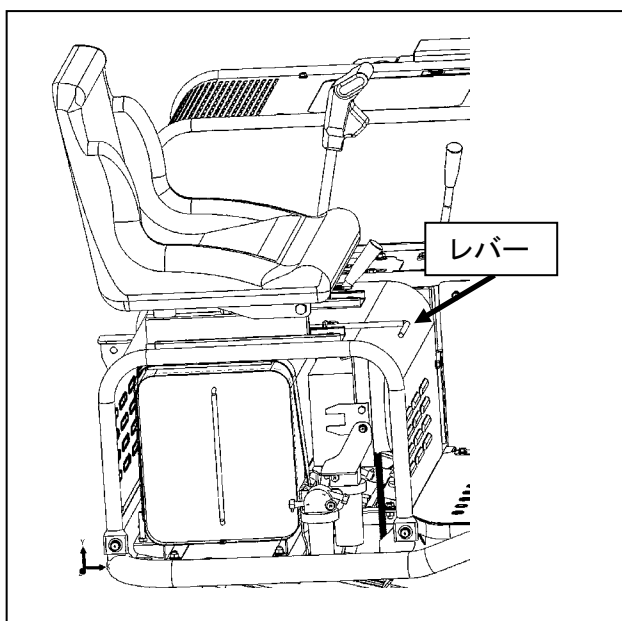
| 副変速 | 低 速         | 高 速         |
|-----|-------------|-------------|
| 前進  | 0～0.83m/s   | 0～1.61m/s   |
| 後進  | (0～3.0km/h) | (0～5.0km/h) |

※作業速度は使用条件により誤差が発生します。

### 注 意

寒冷時には、HSTミッションのオイルが暖まるまで、暖気運転を行ってください。

## 18. シート



シートはレバーを下に倒すことにより、前後の調節ができます。

## 19. 燃料の給油

燃料が不足している場合は、燃料タンクキャップを開け、燃料を補給します。  
燃料タンクは座席の下にあります。

燃料は、JIS規格に適合したディーゼル軽油を使用してください。

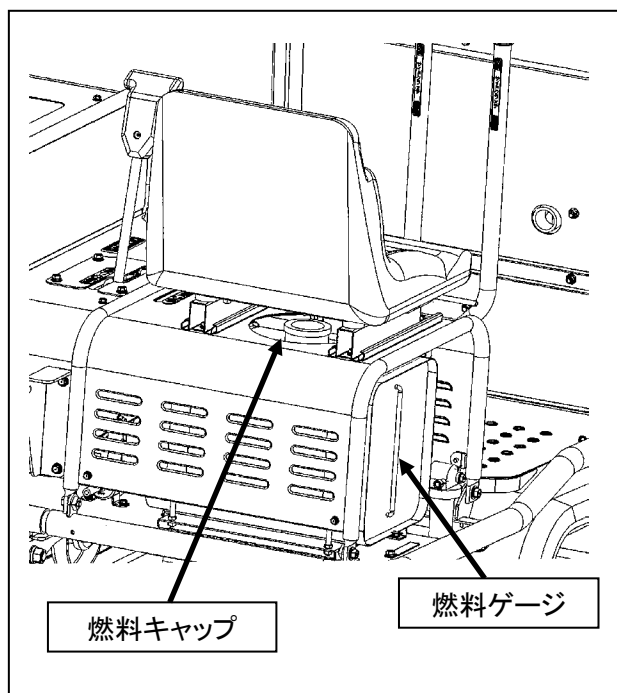
代用燃料はその品質が不明であり、また、灯油はセタン価が非常に低く、エンジンに悪影響があるため使用しないでください。

使 用 燃 料：ディーゼル軽油

燃料タンク容量：約21ℓ

### ！ 危険

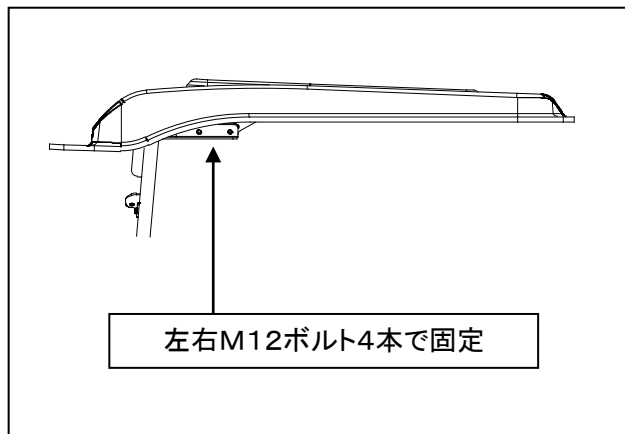
- 給油の際は火気(タバコの火など)を絶対に燃料およびエンジンに近づけないでください。  
引火の原因となります。
- 給油は必ずエンジンを停止した状態で行ってください。
- こぼれた燃料はいつもきれいに清掃してください。



# 運転に必要な装置の取扱い

## 20. キャノピ

直射日光を遮断します。



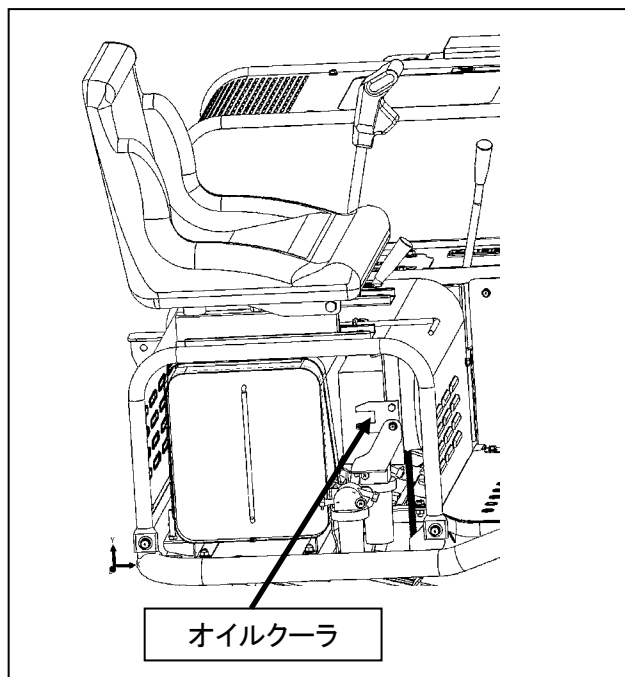
### ⚠ 危険

本機を運搬するため、トラック等で高速道路・長距離移動する場合は、キャノピを必ず取り外してください。

運搬中に風圧や衝撃で破損し、重大な事故の原因となるおそれがあります。

## 21. オイルクーラ

HST、油圧オイルを冷却します。



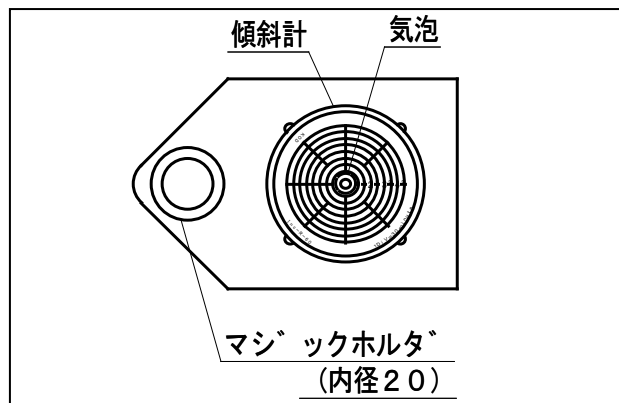
### 注意

汚れていると、油温が上昇し走行速度が遅くなったり、油圧動作が遅くなるおそれがあります。エアー等で定期的に清掃してください。

## 22. 傾斜計 (M仕様のみ)

傾斜計内部の気泡位置で機体の傾きを確認できます。機体の傾きが $\pm 3^\circ$ 以内になっていることを確認してから、ベール重さの測定を行ってください。

なお、0点調整、ベール重さの変換値を設定(校正)する場合は、水平な場所で行ってください。



また、マジックホルダがありますので、ご利用ください。

## 23. 油圧センサ (M仕様のみ)

リフト用の油圧シリンダにかかる圧力を電圧に変換し、コントロールボックスに送ります。

測定精度が低下するおそれがありますので、分解や高圧洗浄はしないでください。

油圧センサを交換した場合は必ず「0点調整」、「ベール重さの変換値を設定(校正)」を行ってください。

※締付けトルクは40～50N・m

## 運転に必要な装置の取扱い

### 24. 各種リレー

各種リレーは運転席の足元左のカバーを外すと確認できます。

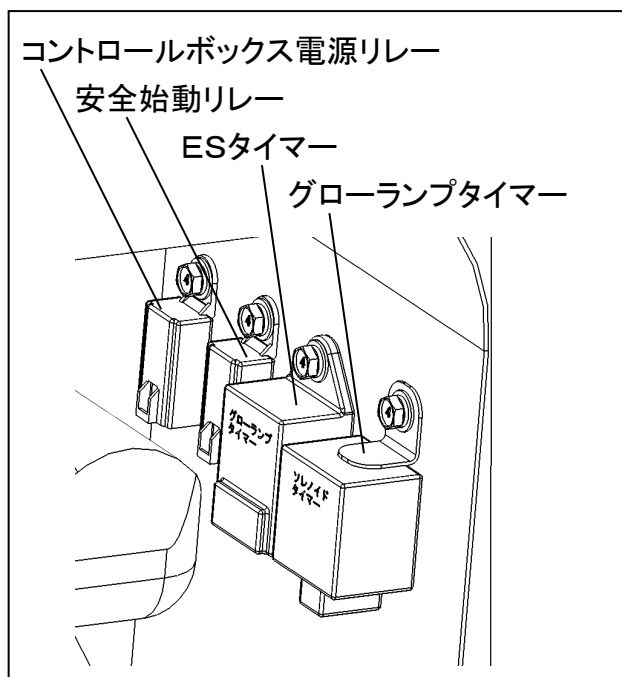
各種リレーのコネクタ差し込みが不十分な場合はロックがかかるまで差し込んでください。

コントロールボックス電源リレーはキースイッチが「入」位置の際、バッテリーからコントロールボックスと作業灯に電源を供給します。

安全始動リレーは走行安全スイッチがON(走行クラッチがOFF)の場合のみ、エンジンを始動できるようにしています。

グローランプタイマーはキースイッチが「予熱」位置の際に、エンジンのグロープラグに電源を供給し、グローランプの点灯・消灯を制御します。

エンジンストップタイマーはエンジンを「切」位置に入れたとき、エンジンストップソレノイドを一定時間動作させます。

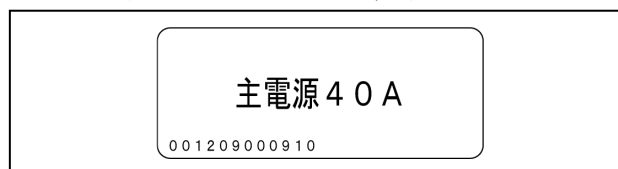


### 25. メインヒューズボックス

MIDIヒューズは、過電流が流れたときに各配線が破損しないように保護するためのものです。

エンジンがかからないときは点検し、切れているときは新しいヒューズと交換してください。

新しいヒューズは必ず指定容量のヒューズを使用してください。異なる容量のヒューズを使用すると故障の原因となります。ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、販売店に修理を依頼してください。



### 26. サブヒューズボックス

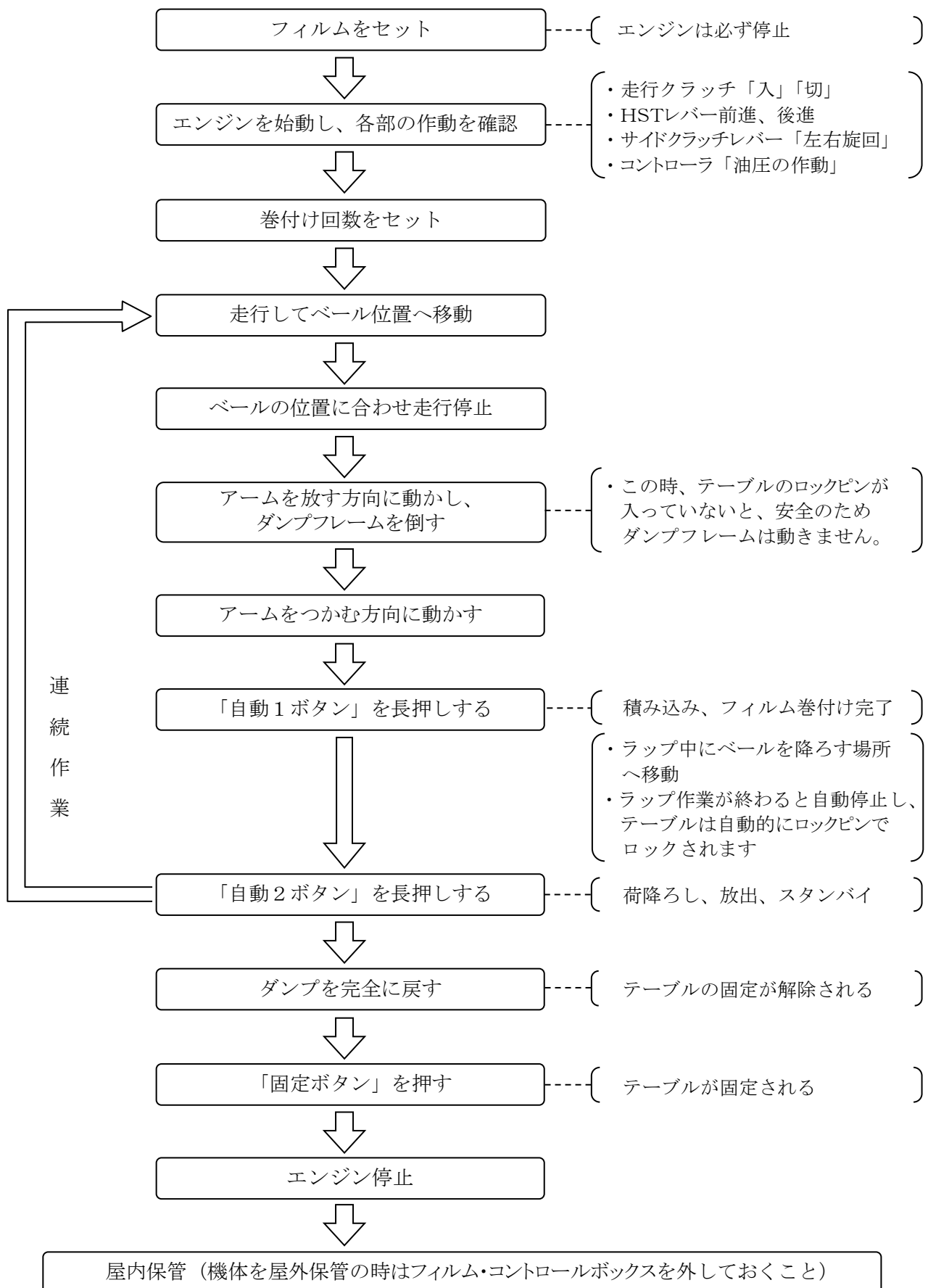
ヒューズ切れによる異常が発生したときは、ヒューズを交換してください。

新しいヒューズは必ず指定容量のヒューズを使用してください。異なる容量のヒューズを使用すると故障の原因となります。ヒューズを交換してもすぐ切れてしまう場合は、販売店に修理を依頼してください。

|    |                                                  |
|----|--------------------------------------------------|
| 予備 | エンジンストップタイマーリレー                                  |
|    | 15 A                                             |
| 予備 | グローランプタイマーリレー                                    |
|    | 1 A                                              |
| 予備 | エンジンストップソレノイド                                    |
|    | 10 A                                             |
| 予備 | 表示灯・オイルクーラーファン<br>オルタネーター・燃料ポンプ<br>コントロールボックスリレー |
|    | 10 A                                             |
| 予備 | 作業灯<br>コントロールボックス                                |
|    | 15 A                                             |
|    | 始動安全リレー                                          |
|    | 10 A 001209000412                                |

# 作業方法

## 1. 作業手順と要点



# 作業方法

## M仕様の場合

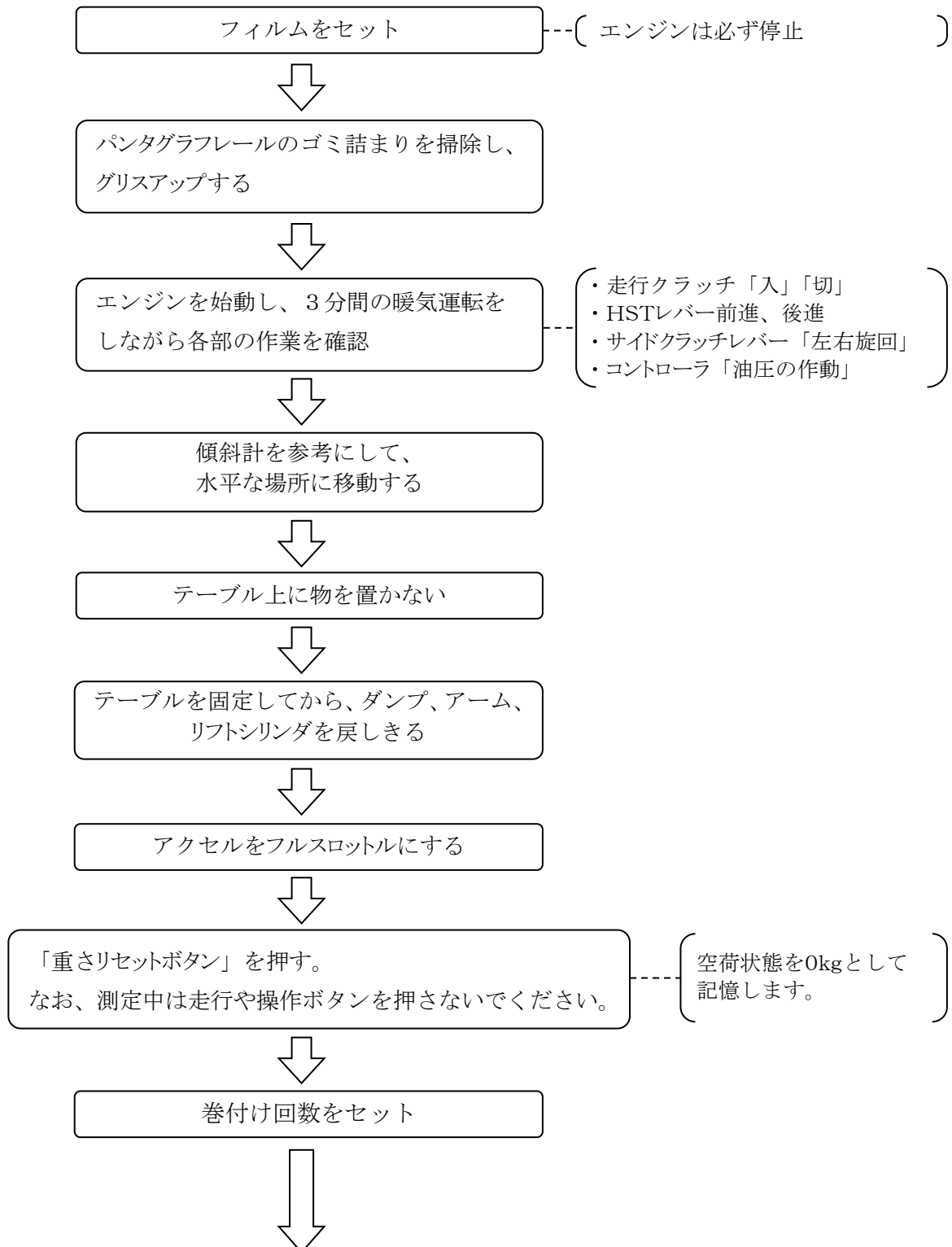
### 注意

SW1121DMはベール質量を簡易測定する機能を搭載していますが、計量法で定める特定計量器に該当しません。

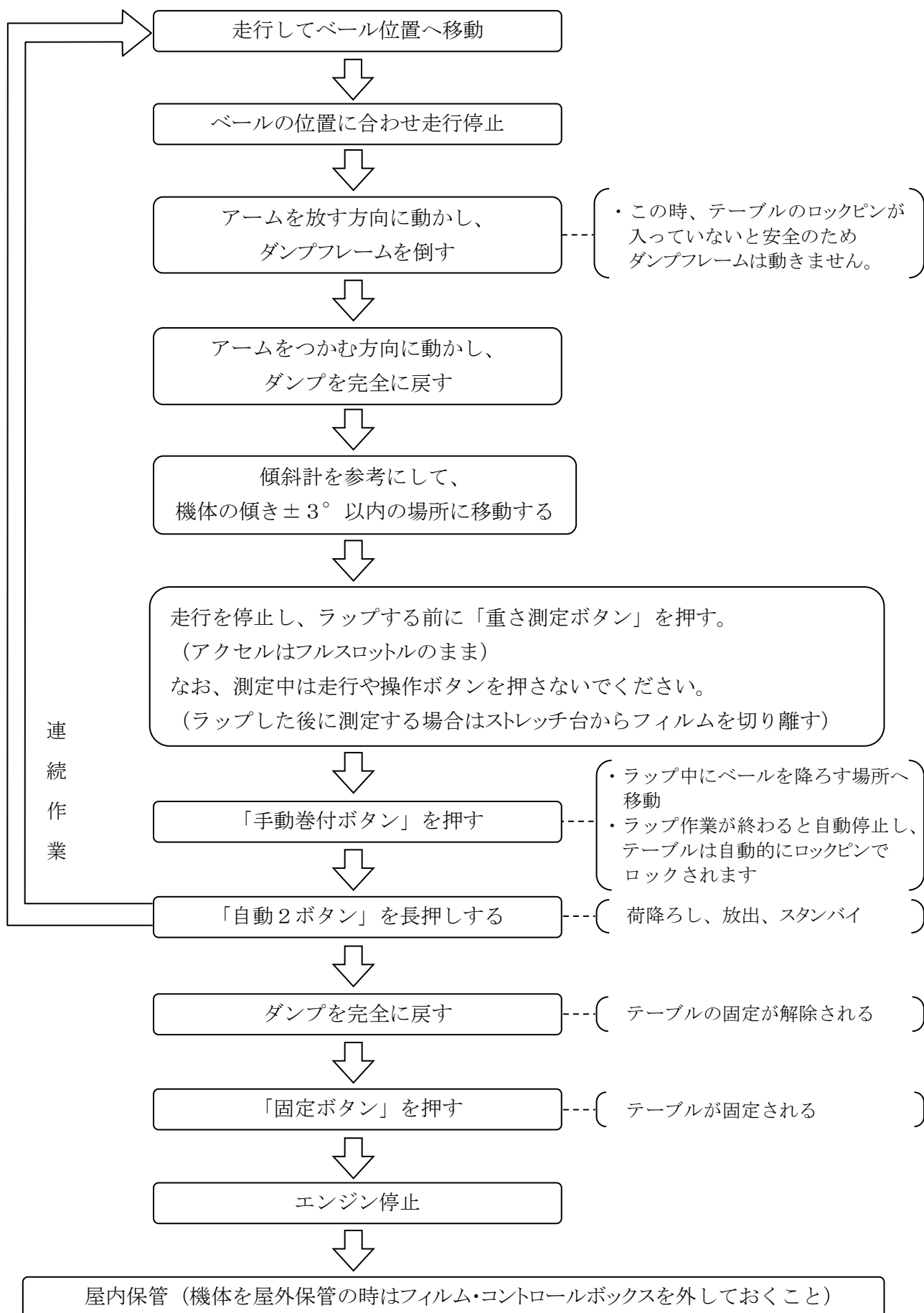
ベールを計量販売する場合は、計量法で定める特定計量器での測定が必要です。

### 注意

ベールは保管している間に目減りしますので、収穫時のベール重さとは異なります。



# 作業方法

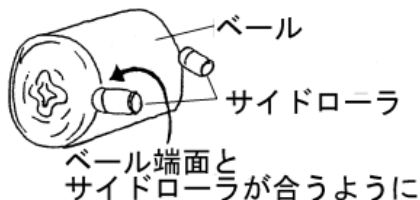


# 作業方法

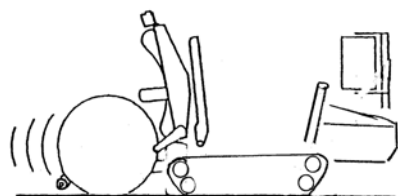
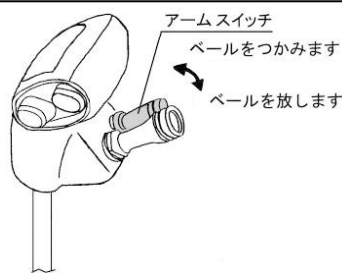
## 2. 自動でラッピング作業を行う

積み込み作業はターンテーブルを固定させてから行います。

- ①「アームスイッチ」を放す方向に動かします。
- ②ダンプフレームを倒します。
- ③ボールの端面が前方へサイドローラの位置と大体合うように進入します。



- ④アームスイッチをつかむ方向に動かします。  
(ボールが寄ってきます)



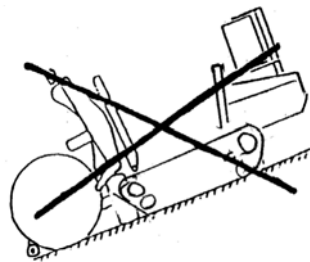
- ⑤リリースバルブの効く音がしたら、アームを止めてください。  
アームをつかむ方向に動かし過ぎるとボールが変形してしまうため、作業に慣れてきたらリリースバルブが効く前にアームを止めてください。

### ！ 警告

本機のボール積み込み能力は最大500kgです。それ以上重いボールは転倒の危険がありますので、絶対に持ち上げないでください。

### ！ 警告

傾斜地での作業は転倒の危険がありますので絶対にしないでください。



- ⑥スイッチレバーの「自動1ボタン」を長押しします。  
積み込みを開始し、巻き付け完了まで自動で行います。



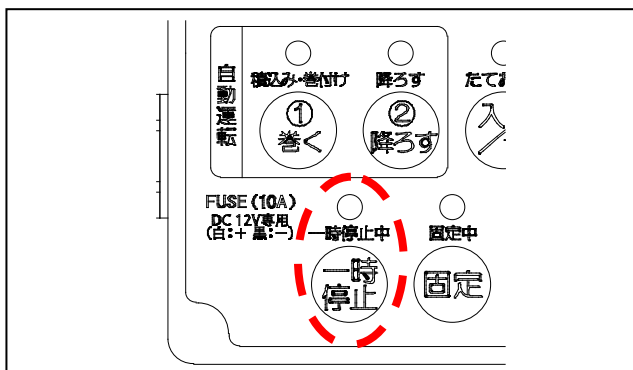
また、24ページの「設定モードの表示と変更方法」13項目を「ON」にして「自動1ボタン」を長押しすると、積み込みをした後、ボール重さ測定を行い、巻き付け完了まで自動で行います。

### ！ 危険

運転中は絶対に近寄らないでください。これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

※回転中に、フィルムが切れたり、無くなった場合は、コントロールボックスの「一時停止ボタン」を押すと「一時停止LED」が点灯し、停止します。

# 作業方法



再度「一時停止ボタン」を押すと、「一時停止LED」が消灯し、再びターンテーブルが回転し、作業を再開します。(カウンターは回転停止時のカウントに加算されます。)

※巻付回数が足りない場合は、32ページの「追い巻きしたいとき」を参照してください。

## 3. 自動でベールを降ろす

ベールを降ろす場所まで移動したら、スイッチレバーの「自動2ボタン」を長押しします。



ベールを放出後、テーブルが戻り、次の作業のスタンバイ状態まで自動で行います。

## 警告

傾斜地での荷降ろしは、転倒のおそれがありますので、絶対にしないでください。

## 4. ベールをトラック等の荷台に積み込む場合

荷台高さが1.5m程度までのトラックにベールを積み込むことができます。

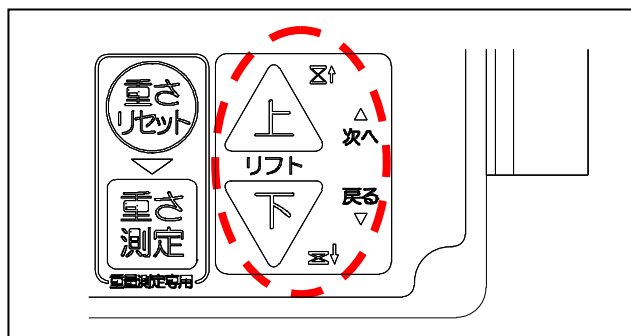
## 危険

トラックへの積み込みは、必ず平坦地で行ってください。

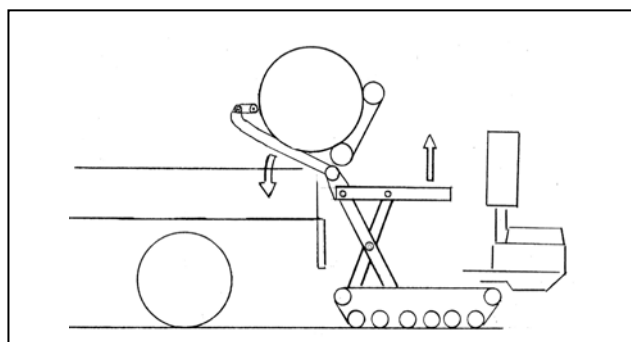
これを怠ると、機体が転倒し重大な傷害事故につながるおそれがあります。

本機のテーブルのリフト能力は最大450kgです。それ以上重いベールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にしないでください。

- ①トラックのアオリは切っておきます。
- ②機体を前進して、できるだけ荷台に近づきます。
- ③「リフト上ボタン」、「リフト下ボタン」でテーブルを荷台高さ程度まで上昇させます。



- ④スイッチレバーの「自動2ボタン」を長押しします。



- ⑤積み込み後は、安全のため必ずアオリを閉めて運搬してください。

# 作業方法

## 注意

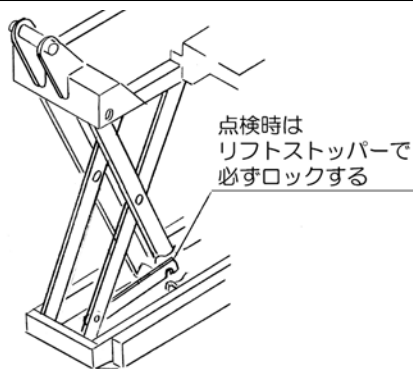
●荷台の上にたておろしすることも可能ですが、荷台の上での移動が困難なため積載効率が悪くなるおそれがあります。荷台への積載時は、たておろし装置は外しておくことをおすすめします。

## ！ 注意

二人以上の共同作業では、お互いに声をかけ合うなどして安全を確かめ合いながら作業してください。  
これを怠ると、傷害事故につながるおそれがあります。

## ！ 危険

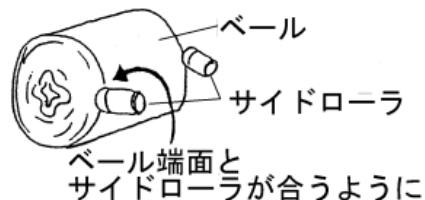
荷台をリフトアップしてテーブルの下などの点検を行う場合は、危険防止のため、本体に備え付けのリフトストッパーにて確実にロックしてください。



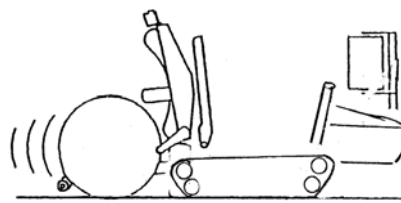
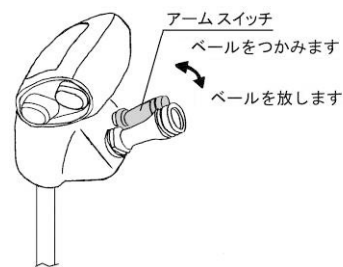
### 5. 手動でベールを積込む

積み込み作業はターンテーブルを固定させてから行います。

- ①「アームスイッチ」を放す方向に動かします。
- ②ダンプフレームを倒します。
- ③ベールの端面が前方へサイドローラの位置と大体合うように進入します。



- ④「アームスイッチ」をつかむ方向に動かします。  
(ベールが寄ってきます)



- ⑤リリースバルブの効く音がしたら、アームを止めてください。  
アームをつかむ方向に動かし過ぎるとベールが変形してしまうため、作業に慣れてきたらリリースバルブが効く前にアームを止めてください。

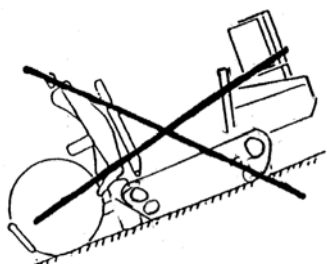
## ！ 警告

本機のベール積み込み能力は最大500kgです。それ以上重いベールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にしないでください。

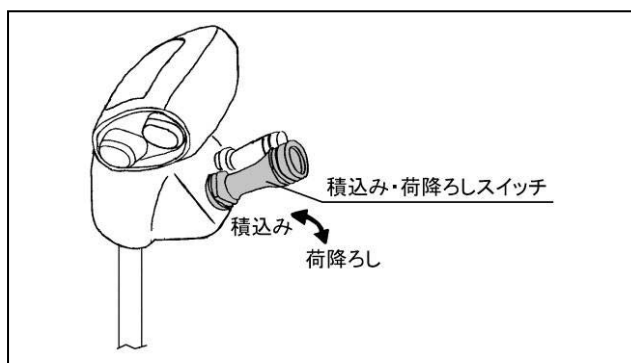
# 作業方法

## ！警告

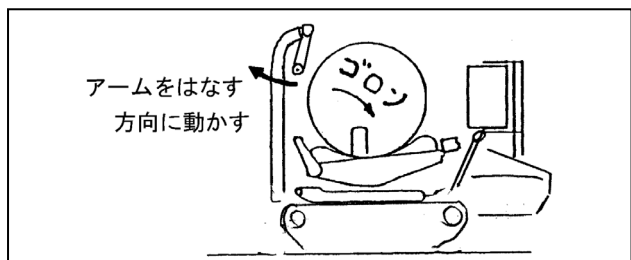
傾斜地作業は転倒の危険がありますので絶対にしないでください。



⑥テーブルを積み込みの方向に動かします。

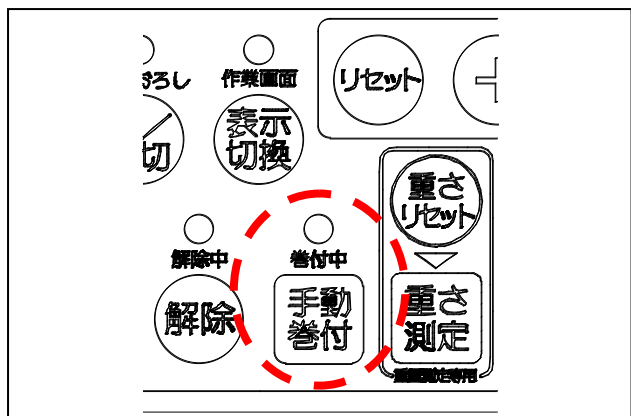


⑦アームをはなす方向に動かすと、ボールがターンテーブルに載ります。



## 6. 手でフィルムを巻きつける

①コントロールボックスの「手動巻付ボタン」を押します。

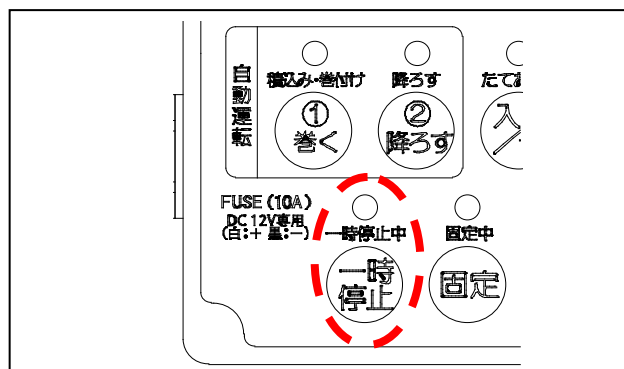


②「巻付中LED」が点灯し、ターンテーブルが低速で回転を始め、約1.5秒後高速回転に移ります。

## ！危険

運転中は絶対に近寄らないでください。これを怠ると、重大な傷害事故につながるおそれがあります。

※回転中に、フィルムが切れたり、無くなった場合、コントロールボックスの「一時停止ボタン」を押すと「一時停止LED」が点灯し停止します。



再度「一時停止ボタン」を押すと、「一時停止LED」が消灯し、再びターンテーブルが回転し、作業を再開します。(カウンターは回転停止時のカウントに加算されます。)

※巻付回数が足りない場合は、31ページの「追い巻きしたいとき」を参照してください。

## 7. 手でボールを降ろす

本機にはたておろし装置を装備しておりますので、ボールを降ろす時に、簡単にボールをたておろしすることができます。ラップされたボールの保管は、フィルムの破れの少ないたて置き保管を原則としてください。

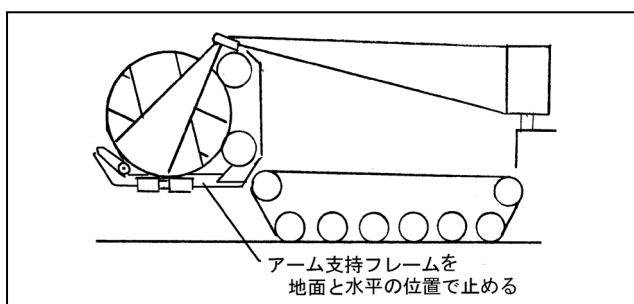
# 作業方法

## 警告

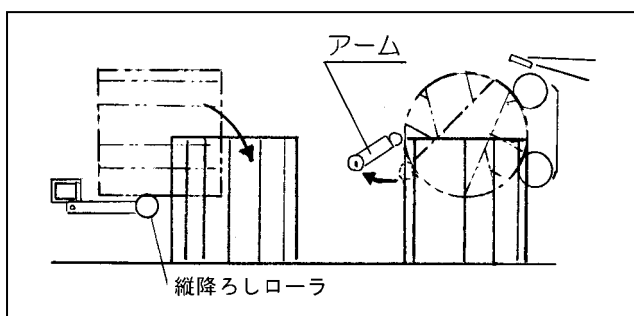
傾斜地での荷降ろしは、転倒のおそれがありますので、絶対にしないでください。

### たておろしの場合の作業方法

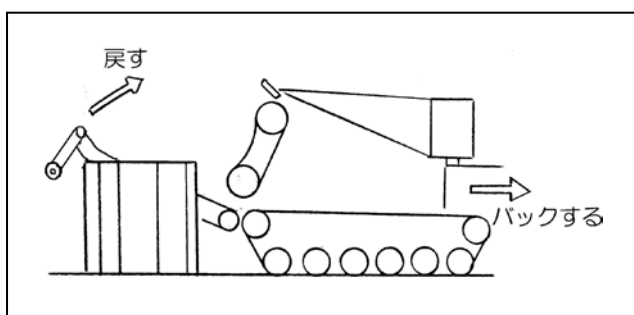
- ①ラップ作業が終わったらテーブルを荷降ろしの方向に動かします。  
アーム支持フレームが地面と水平になる位置で止めてください。この途中でタイアンドカット装置が働き、フィルムが切断保持されます。



- ②アームを放す方向に動かします。  
たておろしローラにベールの片側が載り、ベールが立ち上がります。立ち上がりが不十分な場合は、テーブルを積み込みの方向に動かします。



- ③アームがベールを引っかけない程度までテーブルを戻しバックします。



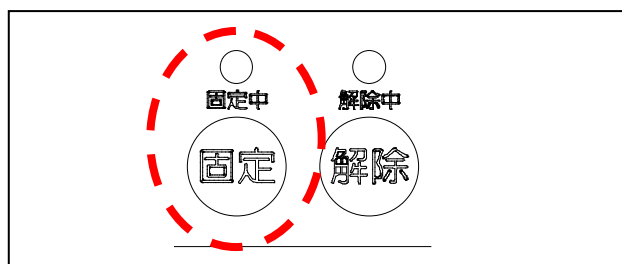
## 注意

このとき、テーブルを完全に戻してしまうと、テーブル固定が解除されるため、再ダンプできず、次のベールを積むことができません。連続作業の場合は、テーブルの戻し作業を途中で停止することでテーブルの固定が保持され次の作業が楽になります。

- ④テーブルを途中まで戻します。最後まで戻してしまうと、テーブルの固定が解除されるため再ダンプできなくなります。

## 対応方法

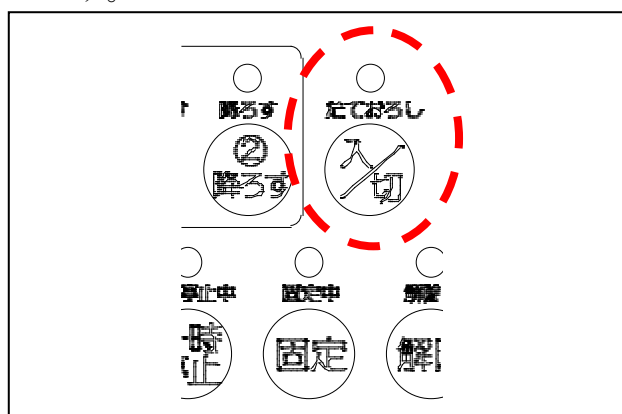
※コントロールボックスのテーブルの「固定ボタン」を押してください。



テーブルが固定され「固定LED」が点灯します。（「解除LED」は消灯します）

### ベール横おきの場合の作業方法

たておろしアームをたたんでください。  
「たておろしボタン」でたておろし機能を切ると「たておろしLED」が消灯します。



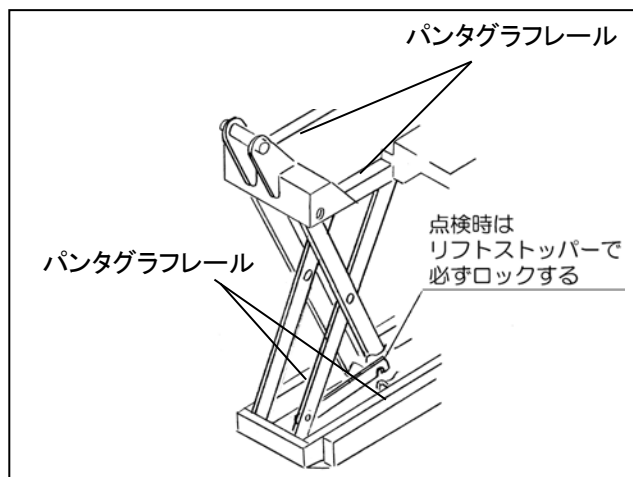
以降の操作はたておろしの場合と同様です。

## 作業方法

### 8. 0点調整する場合（M仕様のみ）

測定精度を低下させないようにするため、作業前に以下の手順に従って、0点調整を行ってください。

- ①作業する前にパンタグラフレールのゴミ詰まりを掃除し、グリスアップしてください。



### ！危険

- 荷台をリフトアップしてテーブルの下などの点検を行う場合は、危険防止のため、本体に備え付けのリフトストッパーで確実にロックしてください。

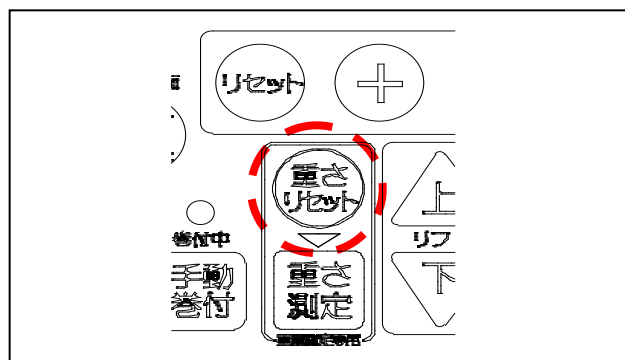
- ②エンジンをかけて、アイドリングで3分間の暖気運転を行ってください。
- ③傾斜計を参考にして、水平な場所に移動してください。
- ④テーブル上に物を置かないでください。
- ⑤テーブルを固定してから、ダンプ、アーム、リフトシリンダを戻しきってください。
- ⑥アクセルをフルスロットルにしてください。

- ⑦「重さリセットボタン」を押してください。

マクスウ：16    コスウ：3  
0    テン    チョウセイ    チュウ

### ！注意

測定精度が低下しますので、0点調整中は走行や操作ボタンを押さないでください。



設定後、「重さ測定ボタン」で正確に重さが分かっているバール(200～400kg)または錘を測定して、精度が重さ±5%以内に入っていることを確認してください。

また、誤って押してしまった場合、0点調整中のときにコントロールボックスの電源を切る。または「一時停止ボタン」を押して停止させた後、「一時停止ボタン」以外のボタンを押してリセットしてください。0点調整が完了しているとき、再度、0点調整を行ってください。

## 作業方法

### 9. ベール重さの変換値を設定(校正)する場合 (M仕様のみ)

バッテリーやオイルの劣化は測定精度が低下しますので、P63～65を参考に点検・交換を行ってください。

作業シーズン前には変換値を設定(校正)してください(測定精度に影響します)。ベール重さの変換値を設定する際は、以下の手順に従って作業してください。

#### ！ 注意

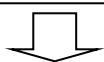
測定精度が低下しますので、必ず0点調整後にベール重さの変換値を設定してください。

- ①400kg程度で正確に重さが分かっているベールまたは錘をテーブル中心に載せてください。
- ②傾斜計を参考にして、水平な場所に移動してください。
- ③テーブルを固定してから、ダンプ、アーム、リフトシリンダを戻しきってください。
- ④アクセルをフルスロットルにしてください。

- ⑤「重さリセットボタン」を長押し(5秒間)してください。

なお、測定中は走行や操作ボタンを押さないでください。

マクスウ：16    コスウ：3  
ヘンカンチ    ソクテイ    チュウ



マクスウ：16    コスウ：3  
400.0kg    (2.957)

重さ

変換値

重さが、載せたベールまたは錘の重さになるように＋、－ボタンで変換値を調整してください。

- ⑥「重さリセットボタン」を押すと、変換値を保存してテーブルが下がります。

設定後、「重さ測定ボタン」で正確に重さが分かっているベール(200～400kg)または錘を測定して、精度が重さ±5%以内に入っていることを確認してください。

また、誤って押してしまった場合は、ベール重さの変換値を設定中のときは、コントロールボックスの電源を切る、または「一時停止ボタン」を押して停止させた後、「一時停止ボタン」以外のボタンを押してリセットしてください。

ベール重さの変換値の設定を保存し終わったときは、再度ベール重さの変換値の設定(校正)を行ってください。

### 10. 手動でベールをトラック等の荷台に積み込む場合

荷台高さが1.5m程度までのトラックにベールを積み込むことができます。

#### ！ 危険

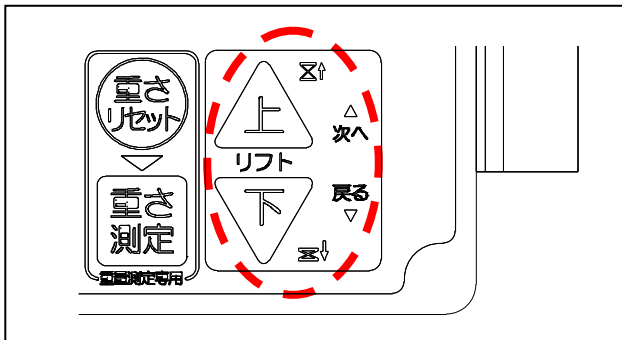
トラックへの積み込みは必ず平坦地で行ってください。

これを怠ると機体が転倒し重大な傷害事故につながるおそれがあります。本機のテーブルのリフト能力は最大450kgです。それ以上重いベールを持ち上げるのは転倒の危険がありますので、絶対にやめてください。

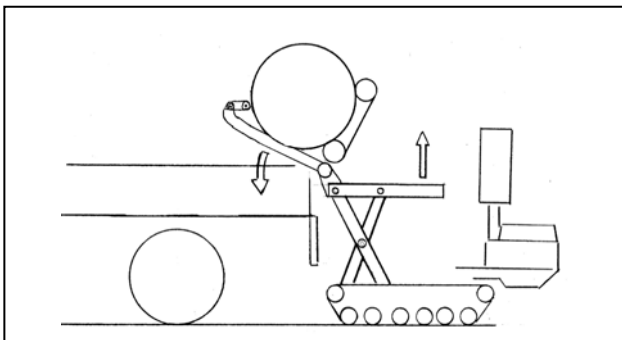
- ①トラックのアオリは切っておきます。
- ②機体を前進して、できるだけ荷台に近づけます。

## 作業方法

- ③「リフト上ボタン」、「リフト下ボタン」でテーブルを荷台高さ程度まで上昇させます。



- ④テーブルを倒します。



- ⑤アームをはなす方向に動かし、荷台にボールを載せます。  
⑥積み込み後は、安全のため必ずアオリを閉めて運搬してください。

### 注意

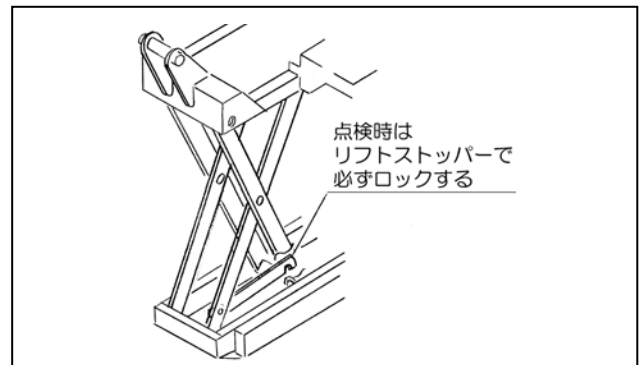
荷台の上にたておろしすることも可能ですが、荷台の上での移動が困難なため積載効率が悪くなるおそれがあります。荷台への積載時は、たておろし装置は外しておくことをおすすめします。

### ！ 注意

二人以上の共同作業では、お互いに声をかけ合うなどして安全を確かめ合いながら作業してください。  
これを怠ると、傷害事故につながるおそれがあります。

### ！ 危険

- 荷台をリフトアップしてテーブルの下などの点検を行う場合は、危険防止のため、本体に備え付けのリフトストッパーで確実にロックしてください。



#### 1 1. 移動時の注意

移動する時は、以下のことを守ってください。

- ①アームをつかむ方向いっぱい動かす。
- ②テーブルを固定する。
- ③テーブルをリフトアップしたままでは絶対に走行しない。

#### 1 2. 作業終了時の注意

ラップフィルムおよびコントロールボックスは水ぬれ禁止です。

1日の作業を終了し、本機を屋外に放置する場合は、必ずラップフィルムおよびコントロールボックスを取り外して、屋内に保管してください。

また、次の作業にそなえるために、各部に巻きついた草などを取り除いておいてください。

平坦な場所に駐車してください。

# 作業方法

## ⚠ 危険

テーブルやアームなどの作業部に近づく場合は必ずエンジンを停止してください。守らないと重大な傷害事故につながるおそれがあります。

### 13. 移動するときは

本機で公道を走行すると道路運送車両法に違反します。公道を移動するときは、トラック等で運搬してください。

### 14. トラックへの積み込み・積降ろし

トラックへの積み込み・降ろしは、次の要領で行ってください。  
おもわぬ事故につながるおそれがありますので積み込み、降ろしとも充分注意してください。

## ⚠ 警告

- 積み込み、降ろしの場所は、周囲に危険物のない、平坦で安定した場所を選んでください。
- アユミ板のフックを荷台に段差のないように確実にかけてください。
- サイドクラッチを操作してアユミ板の上で進路変更を絶対に行わないでください。クローラがアユミ板から外れて転倒するおそれがあります。
- アユミ板とトラックの継ぎ目を越える時は、急に重心が変わりますので充分に注意してください。  
特に、速度の速い時には転倒のおそれがありますので、必ず遅い速度で行ってください。

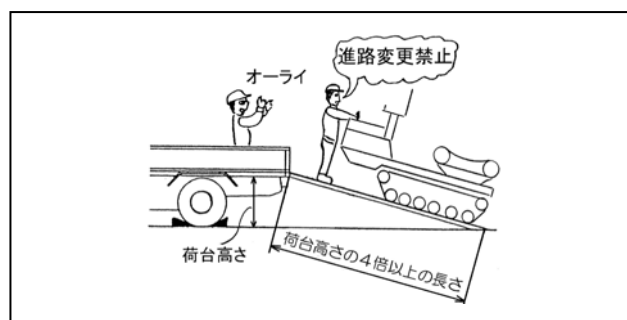
① トラックおよびトレーラへの積み込み・降ろしは平坦地を選び、補助者1名の立合いのもとで行ってください。

② 積み込み・降ろしに使用するアユミ板は滑り止めの加工があり、1本で750kg以上の荷重に耐えられるもので、トラックの荷台高さの4倍以上の長さのものをご使用ください。

③ アユミ板のフック部をトラックの荷台部に確実に掛けて外れないことを確認してから、本機の積み降ろしを行ってください。

④ 積み込み時の車速は最低速度で安全運転をしながら行ってください。

⑤ トラックおよびトレーラの積み込みは、本機から降りて後進で乗せてください。また、積み降ろしのときも本機には乗らず前進で降りてください。



### 15. トラック及びトレーラの運搬

## ⚠ 警告

丈夫なロープを本機にかけ、確実に固定し、本機の駐車ブレーキをかけてください。守らないと、急ブレーキをかけた時などに荷台から本機が転落するおそれがあります。

## 作業方法

本機を運搬する時は積載量1.5t以上で十分な広さを有するトラックまたはトレーラを使用し、運転には坂道やカーブに注意して安全な速度を厳守してください。

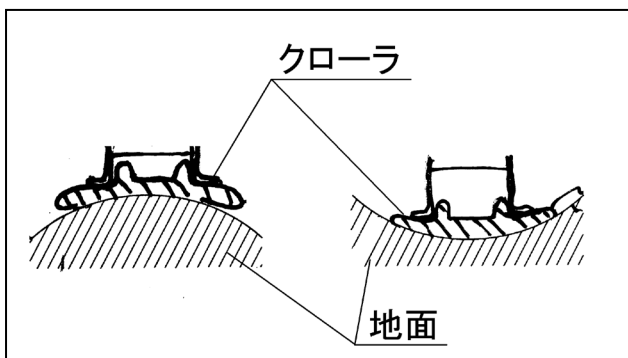
キャノピは風圧、または衝撃で破損し事故の原因となりますので、取り外して運搬してください。

### 16. 走行時の注意

①次のような路面で走行すると、ゴムクローラの接地面側に傷が発生しやすいので、なるべく避けてください。やむをえず走行する場合は、急旋回をやめ、ゆっくり走行してください。

- ・ 砕石を敷いた路面
- ・ 石の多い路面
- ・ 切り株の多い路面

②次図のような断面形状の路面では、脱輪が発生しやすいので、ゴムクローラの状態に注意しながらゆっくりと走行してください。



### 17. 暖気運転について

外気温が26度以下の場合には、油温が低いため、HSTの効率が悪く、スピードができません。このため、暖気運転が必要になります。

以下の手順に従い、必ず暖気運転を行ってください。

エンジンをかけただけでは、HSTの暖気運転にはなりません。

#### ⚠ 危険

必ず平坦な場所で、本機が動かないように車輪止め等をしてから行ってください。

暖気運転中に本機が動き出し危険です。

①エンジンを始動してください。

②副変速レバーを「中立」にしてください。

③走行クラッチレバーを「入」側に倒してください。

④外気温が26度以下の場合は、10分程度暖気運転してください。

# 作業前の点検について

作業の安全確保と、故障を未然に防ぐには、機械の状態をよく知っておくことが大切です。作業前の点検は、欠かさず行ってください。

## 警告

- 取り外したカバー類は必ず取り付けてください。衣服が巻き込まれたりして危険です。
  - 調節・整備を行うときは、必ずエンジンを停止してから行ってください。
  - エンジンが熱い間は、注油・給油は絶対にしないでください。やけどをするおそれがあります。
  - 燃料補給時は、くわえタバコ・裸火照明は絶対に使用しないでください。また、燃料補給後は、燃料キャップを確実に締め、こぼれた燃料はきれいに拭き取ってください。
- 守らないと火災の原因となります。

## 定期点検一覧表

点検や整備を怠ると事故の原因となることがあります。製品の正常な機能を維持し、いつも安全な状態で運転または作業をするために、下表を参考に点検を行ってください。年次点検は1年に1回、月例点検は1ヶ月に1回、始業点検は作業を開始する前に毎日、点検を行うようにしてください。

### 注 意

下表の点検内容の中には、専門的な知識を必要とするものや所定の工具や計器が必要なものが含まれています。お客様自身で実施できない点検内容については、販売店(もしくは弊社営業所)へ依頼してください。

| 項 目    |       | 点 検 内 容                                                |                            | 点検時期 |    |    | 備 考              |
|--------|-------|--------------------------------------------------------|----------------------------|------|----|----|------------------|
|        |       |                                                        |                            | 始業   | 月例 | 年次 |                  |
| エンジン本体 | 始動性   | ・ エンジンのかかり具合および異音の有無を調べる。                              | 始動容易で、異音がないこと。             | ○    | ○  | ○  |                  |
|        | 回転の状態 | ・ アイドリング時および無負荷最高回転時の回転速度を調べる。                         | 正規の回転速度であること。回転が円滑に続くこと。   |      | ○  | ○  | 販売店へ点検を依頼してください。 |
|        |       | ・ エンジンを加速した時、スロットルレバーの引っ掛かり、エンジン停止およびノッキングの有無を調べる。     | 引っ掛かり、エンジン停止またはノッキングがないこと。 | ○    | ○  | ○  |                  |
|        | 排気の状態 | ・ エンジンを十分に暖気した状態で、アイドリング時から高速回転時まで排気色および排気音の異常の有無を調べる。 | 排気色および排気管が正常であること。         | ○    | ○  | ○  |                  |
|        |       | ・ 排気間、マフラ等からのガス漏れの有無を調べる。                              | ガス漏れのないこと。                 |      | ○  | ○  |                  |

# 作業前の点検について

| 項 目  |          | 点 検 内 容                           |                                                                                          | 点検時期   |        |        | 備 考              |
|------|----------|-----------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------|--------|--------|--------|------------------|
|      |          |                                   |                                                                                          | 始<br>業 | 月<br>例 | 年<br>次 |                  |
| エンジン | 本体       | エアクリーナ                            | ・ ケースの亀裂、変形およびふた部、接続管の緩みの有無を調べる。                                                         |        | ○      | ○      | —                |
|      |          |                                   | ・ エLEMENTの汚れおよび損傷の有無を調べる。                                                                | ○      | ○      | ○      | 清掃／交換：<br>63ページ  |
|      |          | 締付け                               | ・ シリンダヘッドおよびマニホールドの締付部のボルトおよびナットの緩みの有無を調べる。<br>※これらの部分からガス漏れや水漏れが認められない場合は、この検査を省略してもよい。 |        |        | ○      |                  |
|      |          | 弁隙間                               | ・ 弁隙間を調べる。<br>※弁隙間の異常による異音がなく、エンジンが円滑に回転している場合は、この検査を省略してもよい。                            |        |        | ○      | 販売店へ点検を依頼してください。 |
|      |          | 圧縮圧力                              | ・ 圧縮圧力を調べる。<br>※アイドリング時および加速時の回転状態ならびに排気の状態に異常がなければこの検査を省略してもよい。                         |        |        | ○      | 販売店へ点検を依頼してください。 |
|      | エンジンマウント | エンジンベースの亀裂および変形の有無を調べる。           | 亀裂または変形がないこと。                                                                            | ○      | ○      | ○      |                  |
|      |          |                                   | 緩みまたは脱落がないこと。                                                                            | ○      | ○      | ○      |                  |
|      |          | 取り付けボルトおよびナットの緩みおよび脱落の有無を調べる。     |                                                                                          |        |        |        |                  |
|      | エンジンオイル  | ・ 油量および油の汚れを調べる。                  | 油量が適正で著しい汚れがないこと。                                                                        | ○      | ○      | ○      | 点検／交換：<br>63ページ  |
|      |          | ・ ヘッドカバー、オイルパン、パイプ等からの油漏れの有無を調べる。 | 著しい油漏れがないこと。                                                                             | ○      | ○      | ○      |                  |
|      | 燃料装置     | ・ 燃料タンク、ホース、パイプ等からの燃料漏れの有無を調べる。   | 燃 料 漏 れ の な い こと。                                                                        | ○      | ○      | ○      |                  |
|      |          | ・ 燃料ホースの損傷および劣化の有無を調べる。           | 損傷または劣化がないこと。                                                                            | ○      | ○      | ○      |                  |
|      |          | ・ フューエルフィルタの汚れおよび詰まりの有無を調べる。      | 著しい汚れまたは詰まりがないこと。                                                                        |        | ○      | ○      | 清掃：<br>エンジン取説    |
|      | 電気装置     | バッテリー                             | ・ 電解液の量が規定の範囲にあるか調べる。                                                                    |        | ○      | ○      | 点検／清掃：<br>64ページ  |
|      |          | 配 線                               | ・ 端子部の緩みおよび腐食の有無を調べる。                                                                    |        | ○      | ○      |                  |
|      |          |                                   | ・ 接続部の緩みの有無を調べる。                                                                         |        | ○      | ○      |                  |
|      |          |                                   | ・ 配線の損傷の有無を調べる。                                                                          |        | ○      | ○      |                  |

## 作業前の点検について

| 項 目    |                | 点 検 内 容                                                 |                             | 点検時期 |    |    | 備 考         |
|--------|----------------|---------------------------------------------------------|-----------------------------|------|----|----|-------------|
|        |                |                                                         |                             | 始業   | 月例 | 年次 |             |
| 動力伝達装置 | 走行クラッチ         | ・ アイドリング状態でクラッチを切り異音の有無を調べると共にクラッチの切れ具合を調べる。            | 異音がなくクラッチが完全に切れること。         | ○    | ○  | ○  | 調整：68ページ    |
|        |                | ・ クラッチを徐々に接続して発進の具合を調べる。                                | 滑りがなく接続が円滑であること。            | ○    | ○  | ○  | 調整：68ページ    |
|        | HSTレバー         | ・ レバーを前後に動かし前後進させる。                                     | 中立位置で走行停止すること。              | ○    | ○  | ○  | 調整：69ページ    |
|        | Vベルト           | ・ 亀裂、損傷および汚れの有無を調べる。                                    | 亀裂、損傷がなく油脂類の付着がないこと。        |      | ○  | ○  | 点検：68ページ    |
|        |                | ・ ベルトの張り具合を調べる。                                         | 適正な張りであること。                 |      | ○  | ○  | 点検：68ページ    |
|        | 走行ミッション        | ・ 副変速レバーを低速および高速状態にして駆動し、作動状態ならびにギヤ抜け、異音および異常発熱の有無を調べる。 | 正常に作動し、ギヤ抜け、異音または異常発熱がないこと。 | ○    | ○  | ○  |             |
|        |                | ・ ケース内油量を調べる。                                           | 油量が適正であること。                 |      | ○  | ○  | 点検／交換：65ページ |
|        |                | ・ 油の汚れを調べる。                                             | 著しい汚れがないこと。                 |      | ○  | ○  | 点検／交換：65ページ |
|        |                | ・ ケース周辺からの油漏れの有無を調べる。                                   | 油漏れがないこと。                   |      | ○  | ○  |             |
|        | サイドクラッチ        | ・ 走行してサイドクラッチレバーを操作した時、異音がなく確実に作動するか調べる。                | 異音がなく確実に作動すること。             | ○    | ○  | ○  |             |
|        |                | ・ レバーを操作し、遊びおよび引きしろの適否を調べる。                             | 遊び及び引きしろが適正であること。           | ○    | ○  | ○  | 調整：70ページ    |
|        |                | ・ レバーを操作し、ロッド、リンク、軸受部および接続部のガタならびに各ピンの錆付きの有無を調べる。       | ガタまたは錆付きがないこと。              |      | ○  | ○  |             |
| 走行装置   | 転遊動輪<br>ガイドローラ | ・ 亀裂、変形および摩耗の有無を調べる。                                    | 亀裂、変形または著しい摩耗がないこと。         | ○    | ○  | ○  |             |
|        |                | ・ 走行して軸部の異音および異常発熱の有無を調べる。                              | 異音または異常発熱がないこと。             | ○    | ○  | ○  |             |
|        |                | ・ 取り付けボルトおよびナットの緩みおよび脱落の有無を調べる。                         | 緩みまたは脱落がないこと。               | ○    | ○  | ○  |             |
|        |                | ・ 軸部周辺からの油漏れの有無を調べる。                                    | 油漏れがないこと。                   | ○    | ○  | ○  |             |

## 作業前の点検について

| 項 目  |                        | 点 検 内 容                                 |                          | 点検時期 |    |    | 備 考          |
|------|------------------------|-----------------------------------------|--------------------------|------|----|----|--------------|
|      |                        |                                         |                          | 始業   | 月例 | 年次 |              |
| 走行装置 | クローラ                   | ・ スチールコードの切断および損傷の有無を調べる。               | 切断または著しい損傷がないこと。         | ○    | ○  | ○  |              |
|      |                        | ・ ゴムの欠け、劣化および摩耗の有無を調べる。                 | 著しい欠け、劣化または摩耗がないこと。      | ○    | ○  | ○  |              |
|      |                        | ・ 芯金の脱落および折れの有無を調べる。                    | 芯金の脱落がないこと。              | ○    | ○  | ○  |              |
|      |                        | ・ クローラの張り具合を調べる。                        | 緩みまたは張り過ぎないこと。           | ○    | ○  | ○  | 調整：<br>70ページ |
|      |                        | ・ 張りボルトの変形、腐食の有無を調べる。                   | 変形、腐食がないこと。              |      | ○  | ○  |              |
| 制動装置 | 駐車ブレーキ                 | ・ 機械を無負荷状態で1／5勾配の床面で停止の状態に保持できるかを調べる。   | 効き具合が適正であること。            | ○    | ○  | ○  | 調整：<br>69ページ |
|      |                        | ・ 走行クラッチレバーを反復させて引き力および戻り具合を調べる。        | 引き力または戻り具合が正常であること。      | ○    | ○  | ○  |              |
|      | ロッド、リンク<br>および<br>ワイヤ類 | ・ ロッド、リンクおよびワイヤ類の損傷ならびに取り付け部の緩みの有無を調べる。 | 損傷または緩みがないこと。            | ○    | ○  | ○  |              |
|      |                        | ・ 連結部の緩みおよびガタならびに割ピンの欠損の有無を調べる。         | 連結部の緩みまたはガタ、割ピンの欠損がないこと。 | ○    | ○  | ○  |              |
| 車体   | リフトストッパ                | ・ 曲がりおよび変形がないかを調べる。                     | 曲がりおよび変形がないこと。           |      | ○  | ○  | 点検：<br>50ページ |

# 作業前の点検について

| 項 目                   |                | 点 検 内 容                                                           |                                 | 点 検 時 期 |        |        | 備 考              |
|-----------------------|----------------|-------------------------------------------------------------------|---------------------------------|---------|--------|--------|------------------|
|                       |                |                                                                   |                                 | 始<br>業  | 月<br>例 | 年<br>次 |                  |
| 油<br>圧<br>装<br>置      | 油圧ポンプ          | ・ 油圧ポンプ本体からの油漏れの有無を調べる。                                           | 油漏れがないこと。                       | ○       | ○      | ○      |                  |
|                       |                | ・ 機械を水平な場所に置き、油量を調べる。                                             | 油量が適正であること。                     | ○       | ○      | ○      | 点検／補給：<br>65ページ  |
|                       |                | ・ 油の汚れの有無を調べる。                                                    | 油に著しい汚れがないこと。                   |         | ○      | ○      | 点検／補給：<br>65ページ  |
|                       |                | ・ ブリーザの目詰まりの有無を調べる。                                               | 目詰まりがないこと。                      |         |        | ○      |                  |
|                       |                | ・ ブラケットの取り付け状態の適否ならびにボルトおよびナットの緩み、脱落の有無を調べる。                      | 取り付け状態が適正でボルトおよびナットの緩み、脱落がないこと。 |         | ○      | ○      |                  |
|                       |                | ・ ホースとの継手部ならびにシール部からの油漏れの有無を調べる。                                  | 油漏れがないこと。                       |         | ○      | ○      |                  |
|                       |                | ・ エンジンを始動させ、無負荷および負荷状態における異常振動、異音、異常発熱の有無を調べる。                    | 異常振動、異音、異常発熱がないこと。              |         | ○      | ○      |                  |
|                       |                | ・ パッケージに負荷をかけて、負荷時の吐出量および吐出圧力を調べる。<br>※前項の検査で異常がなければこの検査は省略してもよい。 | 基準値内であること。                      |         |        | ○      | 販売店へ点検を依頼してください。 |
|                       | HST<br>ミッション   | ・ HSTオイルタンク、配管からの油漏れの有無を調べる。                                      | 油漏れがないこと。                       | ○       | ○      | ○      |                  |
|                       |                | ・ 機械を水平な場所に置きHSTオイルタンクの油量を調べる。                                    | 油量が適正であること。                     | ○       | ○      | ○      | 点検／補給：<br>66ページ  |
|                       | オイルクーラ         | ・ オイルクーラにゴミが詰まっていないか調べる。                                          | 網が目詰りしていないこと。                   | ○       | ○      | ○      |                  |
| M<br>仕<br>様<br>の<br>み | パンタグラフ         | ・ パンタグラフレールにゴミが詰まっていないか調べる。<br>・ パンタグラフレールや各部をグリスアップする。           | パンタグラフがスムーズに動くこと。               | ○       | ○      | ○      | 点検／補給：<br>53ページ  |
|                       | コントロール<br>ボックス | ・ 0点調整をする。                                                        | 精度が重さ±5%以内に入っている。               | ○       | ○      | ○      | 53ページ            |
|                       |                | ・ ベール重さの変換値を設定(校正)する。                                             |                                 |         |        | ○      | 54ページ            |

# 簡単な手入れと処置

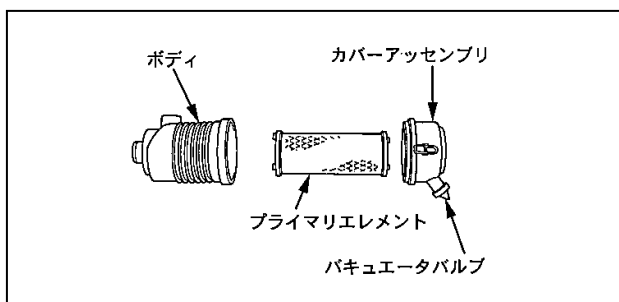
## 1. エンジンの点検・調整

※エンジンについては別冊の「エンジン取扱説明書」を必ずお読みいただき、日常の点検・整備を実施してください。

## 2. エンジンのエアクリーナ（重要）

エアクリーナの点検・清掃は大変重要です。下記に従い、作業前には毎日点検・清掃を行ってください。

守らないと、エンジンが不調となるばかりでなく、エンジンの摩耗が早まり寿命が大きく低下する原因となります。

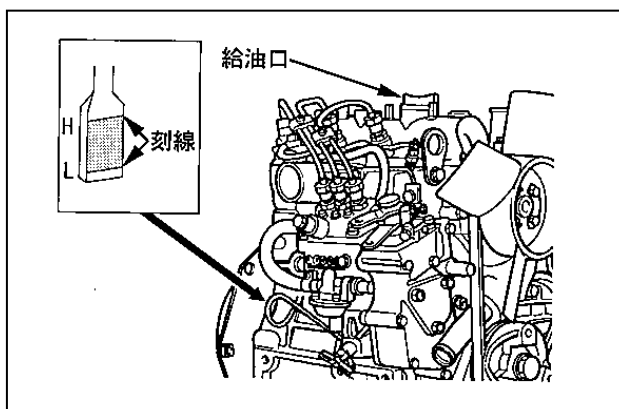


プライマリエlement部品番号  
41112-1511-000

## 3. エンジンオイルの点検と交換

### ◆オイル量の点検

運転前に必ずオイル量を点検し、不足している場合は、正規油面まで補充してください。



①点検は、エンジン始動前か、エンジン停止後約5分以降に行ってください。

②オイルゲージを抜いて、先端をきれいに拭いて差し込み、再び抜いてオイルの線が2本の刻印の間にあるのが規定油面です。

③不足の場合は、給油口から新しいオイルを入れてください。

④補給したオイルは、オイルパンに下がるまである程度時間を要しますので、補給後約5分以上経ってから再度オイル量を点検してください。

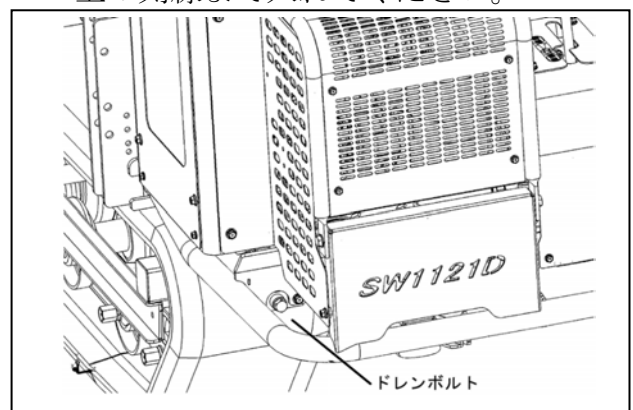
### ◆オイルの交換

#### エンジンオイル交換

初 回    : 50時間  
以 降    : 100時間毎  
指定オイル: D10W-30  
オイル量    : 約2.5ℓ(検油栓まで)

①次図のドレンボルトを外して、汚れたエンジンオイルを出しきります。エンジンが暖かいうちに行うと、早く完全に排出できます。

②新しいエンジンオイルを、オイルゲージの上の刻線まで入れてください。



### ⚠ 注意

熱いオイルが体にかかると火傷するおそれがありますので、十分に注意してください。

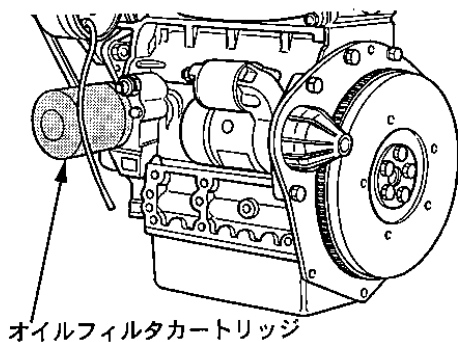
## 簡単な手入れと処置

◆オイルフィルタカートリッジの交換  
定期点検一覧表にしたがって交換してください。

- ①カートリッジのパッキンにオイルを薄く塗布します。
- ②カートリッジを手でねじ込み、シール面にパッキンが接触してから、フィルタレンチを使用せず手で十分に締め付けてください。
- ③カートリッジを交換したときは、エンジンオイルが少なくなるので、しばらく運転した後、シール面から油漏れがないことを確認し、さらにオイルゲージでオイル量を必ず確認して、規定油面まで補給してください。

### ⚠ 注意

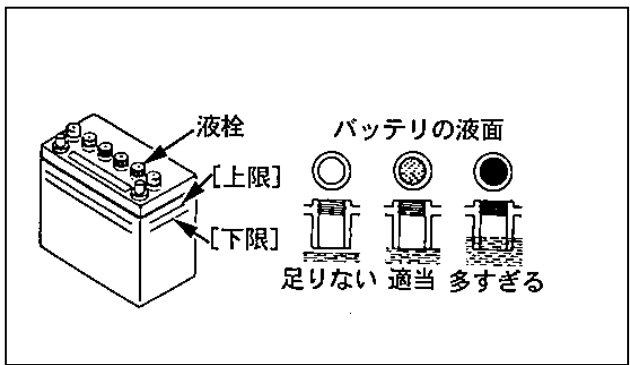
エンジンオイルを点検、交換するときは機体を水平な場所に停止して行ってください。傾いていると、正確な量を示さないことがあります。



オイルフィルタカートリッジ

オイルフィルタカートリッジ部品番号  
**41112-1311-000**

## 4. バッテリについて



バッテリーの電解液中の水は、蒸発して減少します。液面が、LOWER LEVELとUPPER LEVELの間にあれば適正です。少ない時は、蒸留水またはバッテリー補充液を補給してください。

バッテリーサイズ: 30A19R

### ⚠ 注意

- バッテリーからバッテリーケーブルを外す時は(－)側から外し、取り付け時は(＋)側から行ってください。逆にすると、工具が本機に当たった場合に、**ショートし火花が生じて危険です。**
- バッテリーにケーブルを接続する時は(＋)と(－)を間違えないようにしてください。間違えると、バッテリーや電装品を破損させます。
- バッテリー液は過不足がないようにしてください。  
多いと液があふれて本機を腐食させ、少ないとバッテリーの極板が破損し、寿命が短くなります。
- 冬期間は充電不足にならないように注意してください。  
放電ぎみですと電解液が凍り、バッテリー本体を破損させる場合があります。
- 長期間本機を使用しない場合は1～2ヶ月に一度は補充電してください。  
定期的に比重を測定し、バッテリーの状態を確認してください。  
比重が 1.22～1.28 であれば正常です。

## 簡単な手入れと処置

### ⚠ 危険

バッテリーは引火性ガスを発生しますので取扱いを誤ると爆発や大けがをすることがあります。(特に保守、点検、充電、ブースターケーブル使用時には危険のないように取扱ってください。)

#### ●火気厳禁

・・・ショートやスパーク、たばこなどの火気を近づけないでください。  
⇒ 爆発

#### ●通風のよい所で

・・・締めきった場所での使用や充電は危険です。 ⇒ 爆発

#### ●バッテリー液は希硫酸

・・・皮膚、目、衣服につくと危険です。  
⇒ やけど、失明

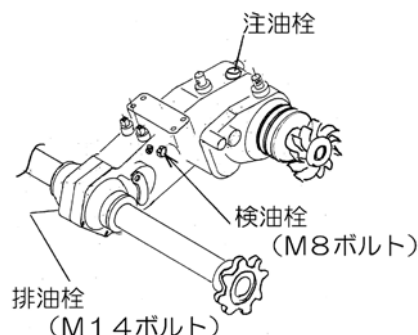
#### 《応急手当》

●皮膚、衣服についた時は、多量の水で洗ってください。

●目についた時は、すぐに多量の水で洗い、医療機関を受診してください。

### 5. 走行ミッションのオイル点検

ミッションケースの検油栓までギヤオイルが入っていることを確認してください。不足している場合は、注油口から検油栓の位置まで給油してください。



#### ●走行ミッションオイル交換

初 回 : 50時間  
以 降 : 500時間毎  
指定オイル: ギヤオイル # 90  
オイル量 : 約3ℓ(検油栓まで)

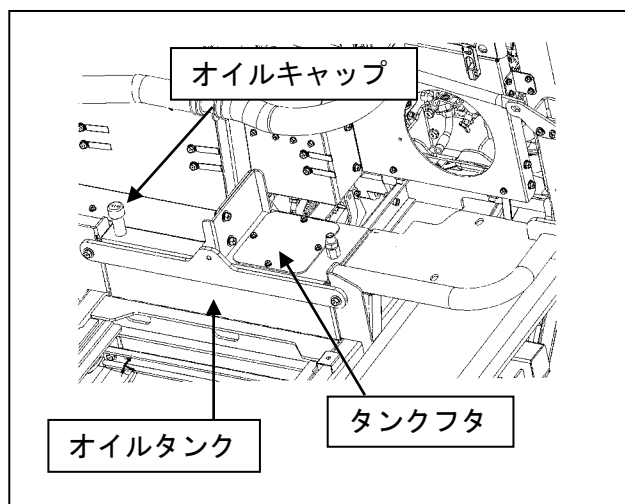
### 6. HST、油圧用オイル

走行ミッション用HSTと油圧用オイルタンクは次図の位置に装備しています。

オイル量はオイルキャップを外すとゲージが付いていますので、ゲージの半分付近にあることを確認してください。

不足している時は補給してください。

オイルが急激に減少したときは、オイル漏れを点検してください。また、給油時は絶対にゴミを入れないよう注意してください。



#### ●HSTオイル交換

交 換 : 初回50時間  
300時間毎  
指定作動油: 耐摩耗性作動油  
昭和シェル  
テラスオイル # 46  
オイル容量 : 約20ℓ(ゲージ管理)  
(ゲージの半分程度)

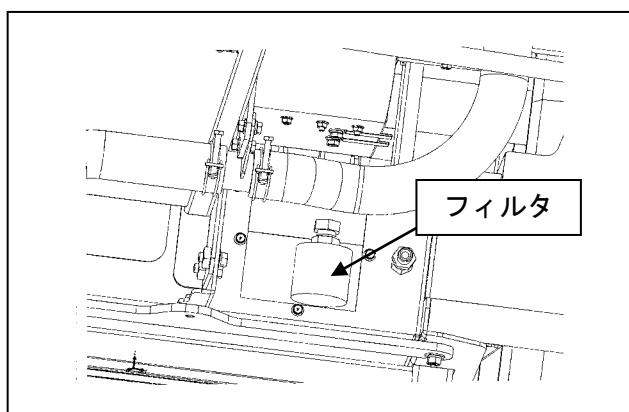
## 簡単な手入れと処置

- 全量交換する場合は、ISO VG46耐摩耗性作動油相当品、もしくは SAE 10W-30 CD級エンジンオイルでもかまいません。
- HSTオイルに水、泥、グリス等が混入した場合も必ず交換してください。  
(水分混入許容値は0.1%以下)

### 7. HST、油圧オイル用フィルタ

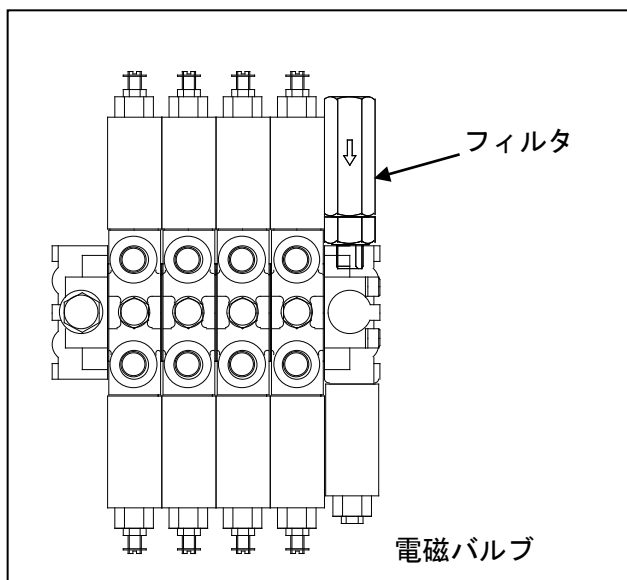
油圧オイルタンクの吸い込み側についているフィルタを指定時間毎に交換してください。

(交換はオイルを抜いてから行ってください。)



### ●オイルフィルタ清掃または交換

交換 : 300時間毎または年1回  
オイルフィルタ  
41112-1611-000



また、電磁バルブにもカートリッジ式のフィルタが装備されていますので、年に1回程度清掃を実施してください。

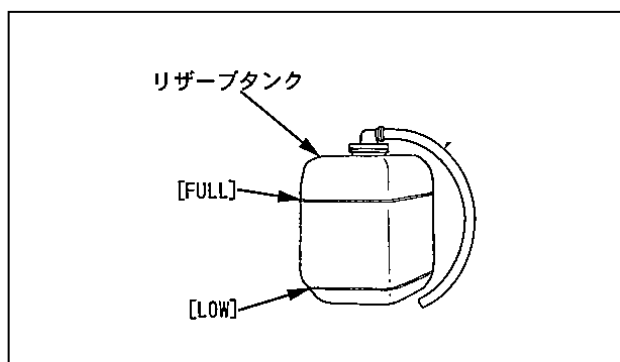
### 8. ラジエータ

運転前には、冷却水量の点検を習慣付けてください。

(詳細は別冊エンジンの取扱説明書を参照)

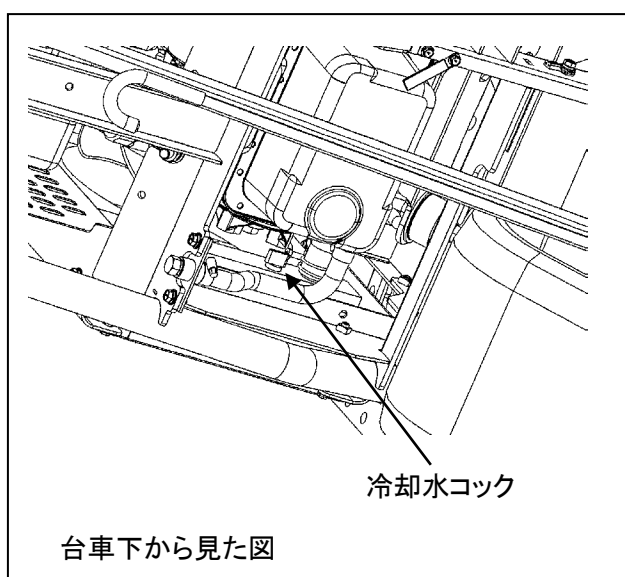
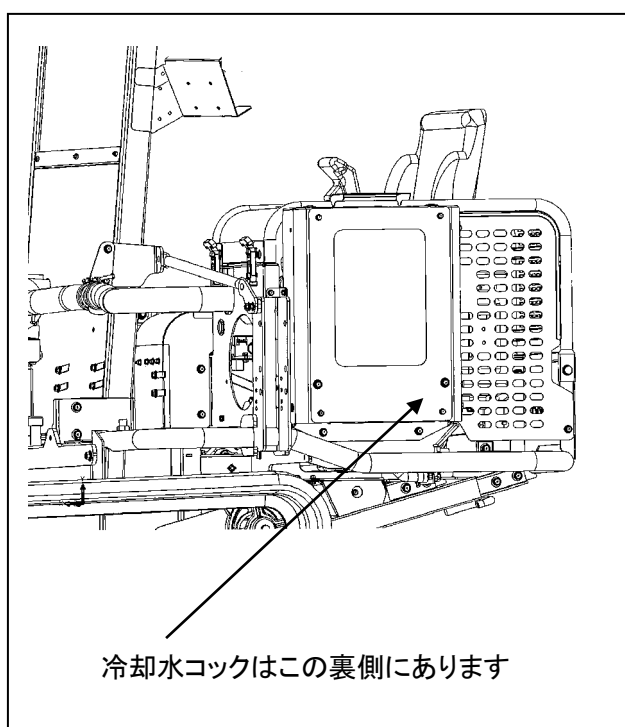
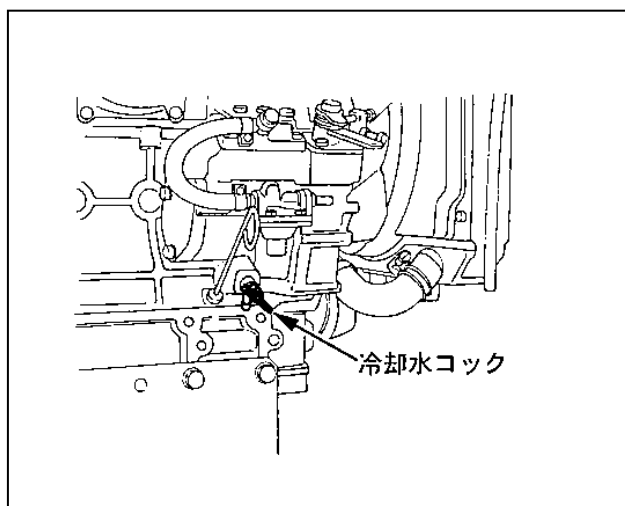
#### ◆冷却水の点検・補給・交換

1. 冷却水がリザーブタンクのFULL-LOWの間にあるか点検してください。



2. 冷却水が蒸発により不足している場合は、水道水などのきれいな水だけを補給してください。
3. ラジエータ裏側の下部とクランクケース側面の2箇所にある冷却水コックが閉じていることを確認してください。
4. 冷却水の容量は2.8ℓです。
5. ラジエータキャップの締め方が不完全な場合、または座面にすき間のある場合は、冷却水が漏れて早く減ります。
6. 冷却水を抜くときは、ラジエータ裏側の下部とクランクケース側面の両方の冷却水コックを開けた後に、ラジエータキャップも開けてください。キャップを締めたままでは少し出るだけで完全には排出されません。

## 簡単な手入れと処置



### ⚠ 注意

#### やけどの防止

エンジン運転中および停止直後は、ラジエータ冷却水、エンジン本体が熱くなっています。

手や肌が触れるとやけどの危険があります。

- 運転後はエンジンおよびラジエータが十分冷えてから(停止後30分以上)作業してください。
- エンジン停止後、ラジエータ注入口キャップが素手で触れるほどまで冷えてからキャップを取り外します。
- キャップは、まずゆっくり第一ストップのところまで緩めて、圧力を全部抜いた後、再び回して取り外してください。

万が一オーバーヒートした場合は、ラジエータやリザーブタンクから蒸気が吹き出すことがあり、手や肌が触れるとやけどの危険があります。

- エンジンを急停止しないで、負荷を切り最低5分間以上アイドリング運転などの冷機運転を行い、冷却した後停止してください。

### 9. チェンの調整

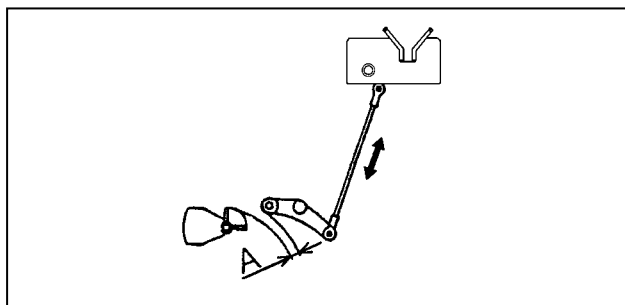
テーブルローラ駆動1箇所にはチェンを使用しています。

チェンは特に初期に伸びますので、最初の2時間使用後に張り調整を行ってください。

# 簡単な手入れと処置

## 10. タイアンドカットの調整

- ベールの荷降ろし時、同装置が働いて、フィルムを切断・保持しますが、位置が合っていないとうまく機能しません。
- ベールの寸法によっては移動する必要があります。
- ①フィルムが左方にずれる場合  
⇒ 装置を左に移動させます。
- ②フィルムが右方にずれる場合  
⇒ 装置を右に移動させます。
- ③装置を移動した後、A寸法が1～2mmとなるように、ネジを調整します。



## 11. ゴムロール

作業後、ゴムロールに付着した糊を軽油等で拭き取ってください。  
糊が付着したまま作業を続けると、フィルムの張力が一定せず、巻きむらが起こることがあります。

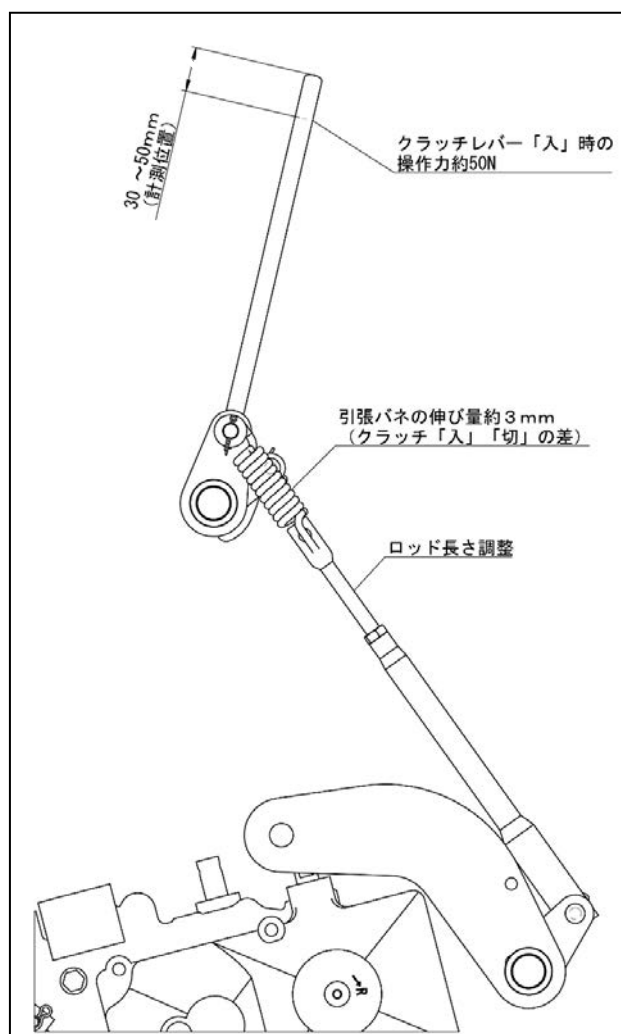


## 12. 走行クラッチの調整

使用している間に、Vベルトの伸びなどで遊びが発生し、調整が必要となります。

- ①副変速レバーを「中立」位置にし、エンジンを始動してください。
- ②走行クラッチレバーを数回「入」「切」させてください。
- ③「入」の時にVベルトが駆動し「切」の時にVベルトが停止すれば正常です。
- ④「切」の時にエンジンプーリの外径とVベルトの緩みが2～3mm程度でクラッチが切れる位置にロットを調整してください。
- ⑤調整後はロックナットを確実に締め込んでください。

(クラッチレバー「入」時の操作力約50N)  
または、クラッチレバーを入り切りした際に引張りバネの寸法差が約3mmになるようにロットの長さを調整してください。

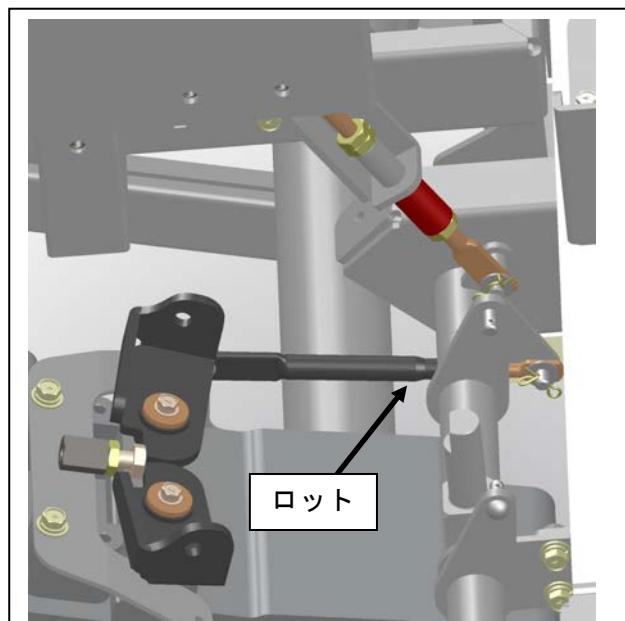


## 簡単な手入れと処置

### 13. 駐車ブレーキの調整

本機は走行クラッチを切ると、駐車ブレーキが作動します。ブレーキの効きが甘くなった場合は、次のように調整してください。

- ① 走行クラッチレバーを「切」位置にしてください。



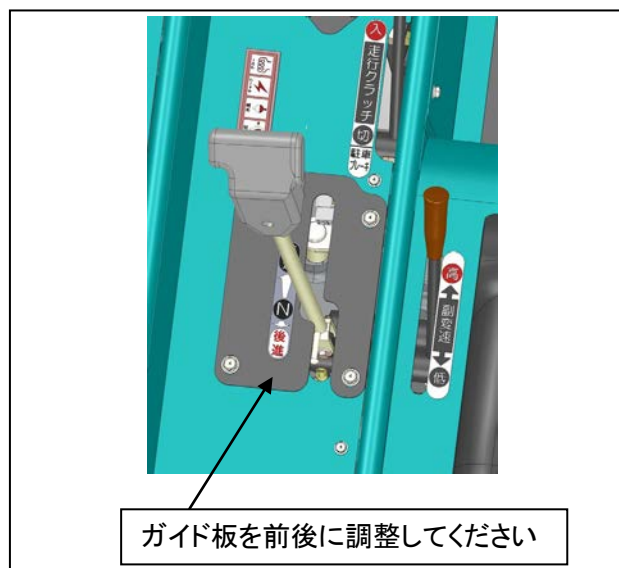
- ② 上図のロットの長さを微調整してください。
- ③ ロックナットを確実に締め付けてください。

### 警告

- 作業前には必ず、走行クラッチが切れ駐車ブレーキが作動することを確認してください。  
緊急時にクラッチが切れないと重大な傷害が生じる危険があります。

### 14. HSTレバーの調整

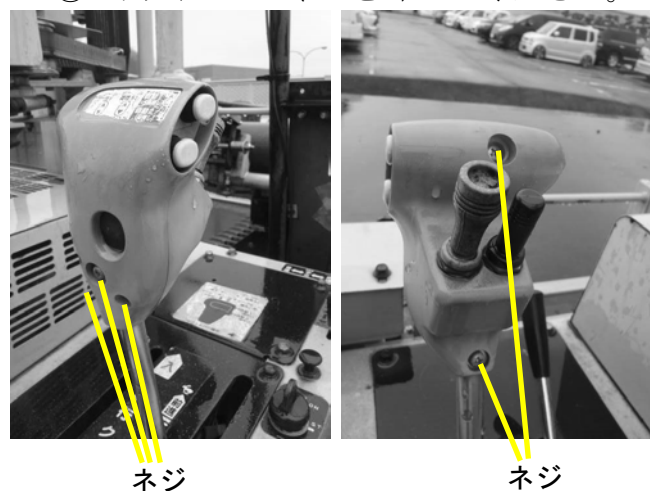
HSTレバーを中立にしても完全に停止しない場合は、ガイド板を調整してください。



### 15. スイッチレバー分解方法

メンテナンスのためにスイッチレバーを分解する場合は、次の手順で分解してください。

- ① ネジの目隠しカバーを外します。
- ② +ドライバーでネジを外してください。



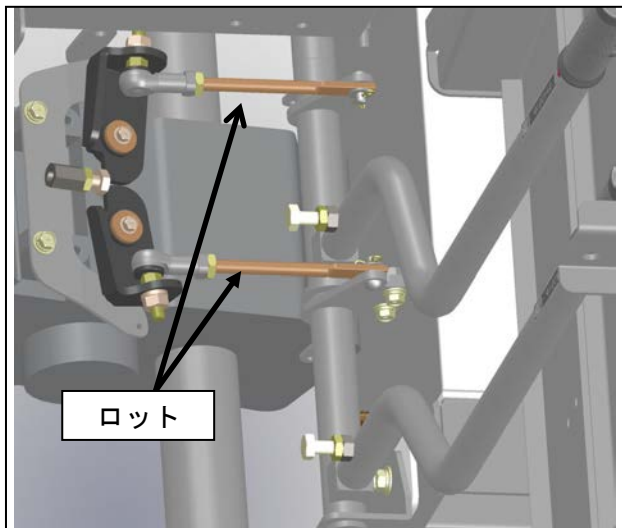
- ③ 割れ目から前後に分解できます。



## 簡単な手入れと処置

### 16. サイドクラッチレバーの調整

サイドクラッチレバーの遊びが多くなった場合は、ロットの長さを調整してください。ただし、ロットは伸ばしすぎないようにして、中立位置では必ずロットに最小限の遊びがあるようにしてください。守らないと、走行ミッションの破損につながります。



### 17. クローラの張り

クローラは新品時には初期伸びが、走行距離が多くなるとスプロケットとのなじみによる緩みが生じるため調整が必要です。クローラの張りが正常でないと、脱輪したり、クローラの寿命を著しく縮める原因になります。

①車体を水平な場所で停車します。

②ジャッキアップ等して片側のクローラを地面から平行に浮かせます。

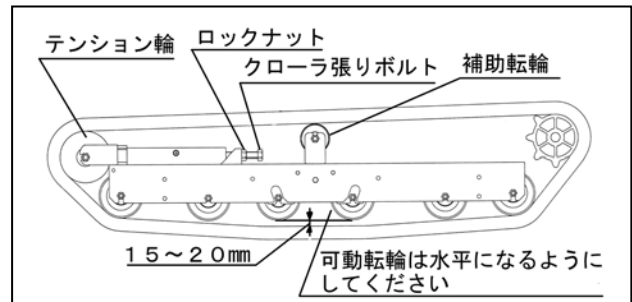
#### ！ 注意

ジャッキ等が外れないように充分注意してください。

③クローラ張りボルトのロックナットを緩めます。

④クローラ張りボルトを回して、クローラと転輪の隙間が15～20mm程度になるように調整します。

⑤調整後、ロックナットを締め付けます。



#### 注意

- 調整は平坦地を選び、エンジンを停止してから行ってください。
- 調整後、ロックナットは確実に締め込んでください。
- ボルトのネジ部に調整後、グリスを塗布しておくことで錆の発生を防ぎ、以降の調整が容易となります。
- クローラの張りすぎにご注意ください。  
作業中、クローラ内接面に土が多量に付着した場合は、都度エンジンを停止し取り除いてください。  
また、使用後は付着した土を水洗い除去してください。  
土噛みは放置しておくことで、クローラの異常張力の原因となり、走行ミッションおよび走行部の損傷をまねきます。
- 補助転輪はスムーズに回転するように、泥等の異物は取り除いてください。  
補助転輪の偏磨耗の原因になります。

## 簡単な手入れと処置

### 18. 長期格納時の手入れ

長期にわたってご使用にならない時は、次のことを行い、本機を保管してください。

- 水洗いをして、付着したワラやホコリ、土などを落とし、異物を取り除いてください。ただし、エンジンや走行ミッション、油圧パッケージ等の給油栓付近の水洗いは、水の浸入や錆の原因になりますので避けてください。
- 乾燥後は、各回転・駆動部には充分注油し、錆びないようにしてください。
- 揮発性、油性の溶剤では拭かないでください。
- 塗装の剥がれた部分には、補修塗料等を塗って錆びが出ないようにしてください。
- 各部のボルト、ナットが緩んでいないかを確認し、緩んでいるときには締めてください。
- バッテリーはできるだけ機体から取り外して充電したうえで、日光の当たらない乾燥したところに保管してください。やむを得ず本機に取り付けたまま保管するときは、必ずアース側（マイナス側）をはずしてください。
- 給油箇所には注油あるいはグリスアップをしてください。
- 格納する場所は、雨や埃のかからない屋内に保管してください。
- 格納は、平坦なところで保管してください。

### 19. 使用済廃棄物の処分について

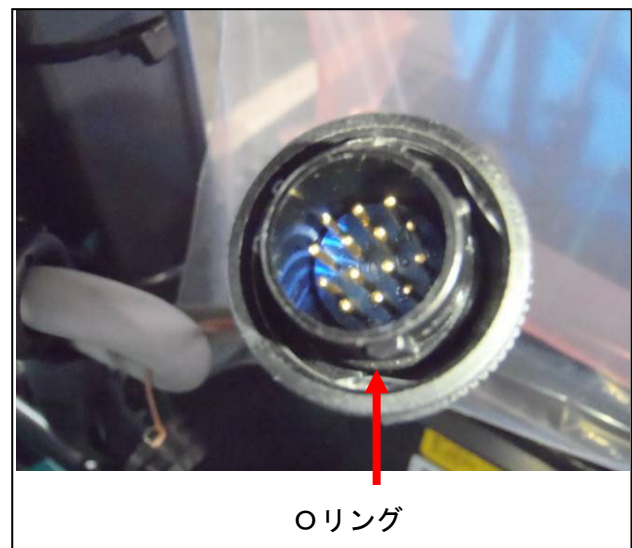
機械の廃油や、使用後のフィルムなどの廃棄物をむやみに捨てると環境汚染になります。機械から廃油を抜く場合は、容器に受けてください。地面へのたれ流しや川、沼への廃棄は絶対しないでください。廃油・燃料・冷却水・冷媒・ブレーキ液・溶剤・フィルタ・バッテリー・その他有害物を捨てる時は、販売店、または産業廃棄物処理業者に依頼してください。

### 20. コネクタの保管と清掃について

コントロールボックスを外して保管する場合は、機材側コネクタにゴミが混入しないように、コネクタ先端に付属のダストカバーを取り付けてください。



ゴミが入るとコネクタ内Oリングの潤滑が低下し、コネクタの接続が固くなります。ゴミが混入した場合、エアースプレーで掃除し、綿棒などでOリングにシリコングリスを塗布してください。



# 不 調 診 断

| 不 調 内 容             | 診 断                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                                       | 参 照<br>ページ |
|---------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ●スタータが回転しない         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●走行クラッチレバーが「切」位置になっていない</li> <li>●バッテリーが過放電</li> <li>●スタータ不良</li> <li>●誤配線または配線不良</li> <li>●スタータスイッチ不良</li> <li>●主電源ヒューズあるいは始動安全リレーヒューズ切れ</li> <li>●エンジンストップソレノイドの誤作動、不良</li> <li>●始動安全リレー破損</li> </ul>                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●走行クラッチレバーを「切」位置にしてから始動する</li> <li>●充電または交換</li> <li>●修理または交換</li> <li>●点検、修正</li> <li>●修理または交換</li> <li>●原因処置後交換</li> <li>●点検、修正、交換</li> <li>●交換</li> </ul>                                                                       | エンジン取扱説明書  |
| ●スタータは回るがエンジンが始動しない | <ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料がない</li> <li>●燃料コックが「閉」になっている</li> <li>●燃料に水などの不純物が混入している</li> <li>●粘土の高い燃料を使用している</li> <li>●セタン価の低い燃料を使用している</li> <li>●燃料にガソリンが混入している</li> <li>●フューエルフィルタの詰まり</li> <li>●インジェクションパイプナットからの燃料漏れ</li> <li>●フューエルパイプの詰まり</li> <li>●燃料噴射時期不良</li> <li>●インジェクションノズル不良</li> <li>●フューエルフィードポンプ不良</li> <li>●インジェクションポンプ不良</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●燃料補給</li> <li>●燃料コックを「開」にする</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●フィルタエレメントの交換</li> <li>●ナットの締め付け</li> <li>●洗浄、修正</li> <li>●調整</li> <li>●修理または交換</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> </ul> |            |

# 不 調 診 断

| 不 調 内 容         | 診 断                                                                                                                                                                                                                                                                        | 処 置                                                                                                                                                                                                    | 参 照<br>ページ |
|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|
| ●エンジンが停止しない     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●コントロールラックとフォークレバーが外れている</li> <li>●インジェクションポンプのコントロールラックが固着している</li> <li>●誤配線または配線不良</li> <li>●停止ソレノイド不良</li> <li>●エンジンストップタイマーリレーヒューズ、あるいはエンジンストップソレノイドヒューズ切れ</li> <li>●エンジンストップタイマーリレーの破損</li> </ul>                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>●エレメントを清掃する</li> <li>●チョークを戻す</li> <li>●インジェクションポンプの交換</li> <li>●点検、修正</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> </ul>                                        | エンジン取扱説明書  |
| ●エンジン回転が不規則である  | <ul style="list-style-type: none"> <li>●エアクリーナの詰まり</li> <li>●フューエルフィルタの詰まり</li> <li>●インジェクションパイプナットからの燃料漏れ</li> <li>●インジェクションノズル不良</li> <li>●フューエルオーバーフローパイプのつまり</li> <li>●ガバナスプリング1. 2、スタートスプリング、アイドルリミットスプリングの不良</li> <li>●ガバナウエイトの不良</li> <li>●インジェクションポンプ不良</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●エアクリーナエレメントの洗浄または交換</li> <li>●フィルタエレメントの交換</li> <li>●ナットの締め付け</li> <li>●修理または交換</li> <li>●折れ曲りの修正または洗浄</li> <li>●スプリングの交換</li> <li>●修理</li> <li>●交換</li> </ul> |            |
| ●白または青色の排気ガスがでる | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ピストンリング、ピストン、シリンダの磨耗</li> <li>●燃焼室容積の増加(圧縮圧力不足)</li> <li>●オイル量過多</li> <li>●燃料噴射時期不良</li> </ul>                                                                                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ピストンリング、ピストンの交換、シリンダの修正</li> <li>●バルブ沈み量の修正</li> <li>●規定量にする</li> <li>●調整</li> </ul>                                                                           |            |

# 不 調 診 断

| 不 調 内 容                      | 診 断                                                                                                                                                                                                                                       | 処 置                                                                                                                                                                                                                                                                              | 参 照<br>ペ ー ジ  |
|------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------|
| ●黒または濃灰色の排気<br>ガスがでる<br>出力不足 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●過負荷</li> <li>●シリンダ外部への空気漏れ</li> <li>●エンジン運動部が焼き付き<br/>気味</li> <li>●低級な燃料を使用している</li> <li>●フューエルフィルタの詰まり</li> <li>●燃料噴射時期不良</li> <li>●燃料噴霧状態不良</li> <li>●燃料噴射量の不均一</li> <li>●エアクリーナの詰まり</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●負荷を軽減する</li> <li>●ヘッドボルト、インジェクショ<br/>ン、グロープラグ締め付け</li> <li>●修理または交換</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●フィルタエレメントの交換</li> <li>●調整</li> <li>●インジェクションノズルの<br/>修理または交換</li> <li>●インジェクションポンプの<br/>交換</li> <li>●エアクリーナエレメントの<br/>洗浄または交換</li> </ul> | エンジン<br>取扱説明書 |
| ●エンジンオイルの<br>消費量が多い          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●締め付け部、プラグ類よりの漏れ</li> <li>●クランク軸オイルシール、<br/>Ｏリング、ガスケット等の不良</li> <li>●バルブステムシール不良</li> <li>●ピストンリングの合口が同じ<br/>方向になっている</li> <li>●オイルリングの磨耗または<br/>固着</li> <li>●ピストンリング溝の磨耗</li> </ul>               | <ul style="list-style-type: none"> <li>●規定トルクで締め付ける</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●合口方向を変える</li> <li>●交換</li> <li>●ピストン、ピストンリングの<br/>交換</li> </ul>                                                                                                                          |               |
| ●エンジンオイルに燃料<br>が混入する         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●インジェクションポンプ不良</li> <li>●フューエルフィードポンプ不良</li> </ul>                                                                                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>●インジェクションポンプの<br/>交換</li> <li>●交換</li> </ul>                                                                                                                                                                                              |               |
| ●エンジンオイルに水が<br>混入する          | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ヘッドガスケットの破損</li> <li>●クランクケースまたは<br/>シリンダヘッドの亀裂</li> <li>●クランクケース×ギアケース<br/>間水路のＯリング、パッキンの<br/>損傷</li> </ul>                                                                                      | <ul style="list-style-type: none"> <li>●交換</li> <li>●交換</li> <li>●交換</li> </ul>                                                                                                                                                                                                  |               |

# 不 調 診 断

| 不 調 内 容       | 診 断                                                                                                                                                                                                                                                                                        | 処 置                                                                                                                                                                                                                      | 参 照<br>ペ ー ジ |
|---------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------|
| ●エンジンオイル圧力が低い | <ul style="list-style-type: none"> <li>●オイル量が少ない</li> <li>●オイルの質が不良</li> <li>●オイルフィルタの詰まり</li> <li>●リリーフバルブ不良</li> <li>●各メタルのオイルクリアランスが過大</li> <li>●オイル通路の詰まり</li> <li>●オイルポンプの不良</li> <li>●油穴、プラグ不良または組み付け忘れ</li> </ul>                                                                   | <ul style="list-style-type: none"> <li>●規定量に補給</li> <li>●指定オイルに交換</li> <li>●オイルフィルタの交換</li> <li>●修理または交換</li> <li>●メタル、ブッシュ、軸等の交換</li> <li>●洗浄</li> <li>●交換</li> <li>●点検、修正</li> </ul>                                   | エンジン取扱説明書    |
| ●エンジンオイル圧力が高い | <ul style="list-style-type: none"> <li>●油温が低い</li> <li>●オイルの質が不良</li> <li>●リリーフバルブ不良</li> </ul>                                                                                                                                                                                            | <ul style="list-style-type: none"> <li>●油温が上がるまで運転する</li> <li>●指定オイルに交換</li> <li>●修理または交換</li> </ul>                                                                                                                     |              |
| ●オーバーヒートする    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ファンベルトの緩みまたは切損</li> <li>●冷却水不足</li> <li>●ラジエータネット、ラジエータフィンの詰まり</li> <li>●冷却水の汚れ</li> </ul>                                                                                                                                                         | <ul style="list-style-type: none"> <li>●調整または交換</li> <li>●規定量まで補給</li> <li>●清掃</li> <li>●冷却水交換</li> </ul>                                                                                                                |              |
| ●オーバーヒートする    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●ラジエータ、ラジエータキャップ不良</li> <li>●冷却水路の詰まり</li> <li>●冷却風の通路不良</li> <li>●サーモスタット不良</li> <li>●ウオータポンプのシール不良</li> <li>●連続過負荷運転</li> <li>●ヘッドガasketの破損(冷却水減少)</li> <li>●ヘッドボルトの締付け不良</li> <li>●オイル量が少ない</li> <li>●低級な燃料を使用している</li> <li>●燃料噴射時期不良</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>●点検、交換</li> <li>●洗浄</li> <li>●冷却風通路確保</li> <li>●点検、交換</li> <li>●交換</li> <li>●負荷を軽減する</li> <li>●交換</li> <li>●規定トルクで締付ける</li> <li>●規定量に補給</li> <li>●指定燃料に交換</li> <li>●調整</li> </ul> |              |

# 不 調 診 断

| 不 調 内 容                                         | 診 断                                                                                                           | 処 置                                                                                                  | 参 照<br>ペー ジ          |
|-------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------|
| ● バッテリーの放電が<br>激しい(バッテリーあがり)                    | ● ファンベルトの緩み<br>● バッテリーの劣化<br>● 電解液の不足<br>● 誤配線または配線不良<br>● オルタネータ、レギュレータの<br>不良                               | ● 調整または交換<br>● 交換<br>● 蒸留水の補給および充電<br>● 点検、修正<br>● 修理または交換                                           | エンジン取扱説明書            |
| ● グローランプが点灯<br>しない                              | ● グローランプ切れ<br>● 誤配線または配線不良<br>● スイッチの不良<br>● グローランプタイマ不良<br>● グローランプタイマリレーの<br>破損<br>● グローランプタイマリレーヒュ<br>ーズ切れ | ● 交換<br>● 点検、修正<br>● 交換<br>● 交換<br>● 交換<br>● 交換                                                      |                      |
| ● チャージランプが点灯<br>しない                             | ● 誤配線または配線不良<br>● オルタネータ、レギュレータの<br>不良<br>● ヒューズ切れ<br>● ランプ切れ                                                 | ● 点検、修正<br>● 修理または交換<br>● エンジンルームの10Aの<br>ヒューズを交換<br>● 交換                                            |                      |
| ● チャージランプが消灯<br>しない                             | ● 誤配線または配線不良<br>● オルタネータ、レギュレータの<br>不良<br>● ファンベルトの緩みまたは<br>切損                                                | ● 点検、修正<br>● 修理または交換<br>● 調整または交換                                                                    |                      |
| ● HSTレバーを動かして<br>も走行しない                         | ● 走行クラッチレバーが「切」<br>位置になっている<br>● 副変速レバーが「中立」位置に<br>なっている<br>● 走行用Vベルトが切れている<br>● 走行用Vベルトがスリップして<br>いる         | ● 走行クラッチレバーを「入」<br>位置にする<br>● 副変速レバーを「低速」<br>または「高速」位置にする<br>● 走行用Vベルトを交換する<br>● 走行用Vベルトの張りを<br>調整する | 41<br>41<br>68<br>68 |
| ● HSTレバーを「中立」<br>にしても少しずつ機体<br>が前進(または後進)<br>する | ● HSTレバーの調整不足                                                                                                 | ● HSTレバーガイドの調整                                                                                       | 69                   |
| ● 走行スピードがでない                                    | ● HSTオイルが暖まっていない                                                                                              | ● 外気温が26度以下の場合<br>には暖気運転をする                                                                          | 57                   |

# 不 調 診 断

| 不 調 内 容                             | 診 断                                                                              | 処 置                                                                                                       | 参 照<br>ペ ー ジ               |
|-------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------|
| ●ベールを引き寄せられない                       | ●オイルが減っている<br>●アームのグリス切れ<br>●ベール重量が重い<br>(500kg以上ある)                             | ●油圧オイルを補給する<br>●グリスを差す<br>●ベール重量を軽くする                                                                     | 65<br>-                    |
| ●ベールが持ち上がらない                        | ●オイルが減っている<br>●ベールの引寄せ量不足<br>●ベール重量が重い<br>(500kg以上ある)                            | ●油圧オイルを補給する<br>●再度アームを動かす<br>●ベール重量を軽くする                                                                  | 65<br>-                    |
| ●動作速度が遅い                            | ●オイルが減っている<br>●エンジン回転速度が上がっていない                                                  | ●油圧オイルを補給する<br>●エンジン回転速度を上げる                                                                              | 65<br>40                   |
| ●フィルムがよく切れる                         | ●ゴムロールが汚れている<br>●フィルムの性質<br>●テーブル回転が速い                                           | ●ゴムロールをきれいにする<br>●ストレッチギヤを交換する<br>●エンジンの回転を遅くする                                                           | 68<br>19<br>40             |
| ●「カイテン SW<br>ハンノウナシ」と<br>エラー表示が出る   | ●コネクタが抜けている<br><br>●カウントセンサが反応して<br>いない                                          | ●コネクタをカチッと音になる<br>ところまで差し込んでいるか<br>を確認する<br>●カウントセンサが磁石に<br>反応するか確認し、壊れて<br>いる場合は交換する                     | 71<br><br>33               |
| ●「ダンプ pt<br>ハンノウナシ」と<br>エラー表示が出る    | ●コネクタが抜けている<br><br>●ポテンショメーターが反応して<br>いない                                        | ●コネクタをカチッと音になる<br>ところまで差し込んでいるか<br>を確認する<br>●ポテンショメーターが反応<br>するか確認し、壊れている<br>場合は交換する                      | 71<br><br>34               |
| ●「ロックピン SW ハン<br>ノウナシ」とエラー表示<br>が出る | ●ロックピンの動きが硬く出て<br>こない<br>●ロックピンモータ不良<br>●コネクタが抜けている<br><br>●ロックピンセンサが反応して<br>いない | ●グリスアップ<br><br>●交換<br>●コネクタをカチッと音になる<br>ところまで差し込んでいるか<br>を確認する<br>●ロックピンセンサが反応する<br>か確認し、壊れている場合<br>は交換する | <br><br>11<br>71<br><br>35 |
| ●テーブルからベールが<br>落ちる                  | ●テーブル回転が速い<br><br>●ベールの形状が悪い                                                     | ●エンジン回転を遅くする<br><br>●円筒形のベールを作る                                                                           | 40<br><br>-                |
| ●テーブルがダンプ<br>しない                    | ●テーブルが固定されて<br>いない<br>●電磁バルブ不良                                                   | ●テーブルを固定する<br><br>●点検、修正                                                                                  | 32                         |

## 不 調 診 断

| 不 調 内 容                                         | 診 断                                                                | 処 置                                                                                 | 参 照<br>ページ               |
|-------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------|
| ●キースイッチを入れてもコントロールボックスの電源が入らない                  | ●ヒューズ切れ<br><br>●コントロールボックス電源リレー破損<br>●コントロールボックスの電源スイッチがONになっていない  | ●サブヒューズの15A、10Aおよびコントロールボックス10Aのヒューズが切れていないか確認する<br>●コントロールボックス電源リレーを交換する<br>●ONにする | 21<br>44<br><br>44<br>21 |
| ●キースイッチを入れてライトスイッチをONしても作業灯が点灯しない               | ●ヒューズ切れ<br><br>●コントロールボックスリレー破損                                    | ●エンジンルームの15A、10Aのヒューズが切れていないか確認する<br>●コントロールボックスリレーを交換する                            | 44<br><br>44             |
| ●オイルクーラーファン、表示灯、オルタネータ、燃料ポンプが作動しない              | ●ヒューズ切れ                                                            | ●10Aのヒューズが切れていないか確認する                                                               | 44                       |
| ●レバースイッチの操作が利かない                                | ●コネクタが抜けている                                                        | ●コネクタをカチッと音ができるところまで差し込んでいるかを確認する                                                   | 71                       |
| ●コントロールボックスの入出力コネクタの接続が固い                       | ●コネクタ内Oリングの潤滑低下                                                    | ●エアースプレーで掃除し、シリコングリスを塗布する                                                           | 71                       |
| ●「リフト SW ノ ハン<br>ノウ ナシ」と<br>エラー表示が出る<br>(M仕様のみ) | ●リフトセンサが反応していない                                                    | ●コネクタをカチッと音ができるところまで差し込んでいるかを確認する<br>●リフトセンサが反応するか確認し、壊れている場合は交換する                  | 71<br><br>36             |
| ●重さ測定の結果より、<br>ベール重さが±5%<br>以内の精度にならない          | ●「0点調整」がずれている<br>●パンタグラフレールにゴミが詰まっている<br>●「ベール重さの変更値を設定(校正)」がずれている | ●「0点調整」をする<br>●パンタグラフレールのゴミ詰まりを取り除く<br>●「ベール重さの変更値を設定(校正)」する                        | 53<br>53<br>54           |
| ●重さ測定の結果が<br>マイナス値で表示<br>される                    | ●リフトセンサ、定電圧源、リレーのいずれかのコネクタが抜けている                                   | ●コネクタをカチッと音ができるところまで差し込んでいるかを確認し壊れている場合は交換する                                        | 71                       |

この項にしたがって、再度点検しても改善されないときには販売店へお問い合わせください。

# 付 表

## 1. 主要諸元

| 品 名                               |          | 自走ラップマシン                          |                           |
|-----------------------------------|----------|-----------------------------------|---------------------------|
| 型 式                               |          | SW1121D                           | SW1121DM                  |
| 機<br>体<br>寸<br>法                  | 全 長 (mm) | 2950                              |                           |
|                                   | 全 幅 (mm) | 1650                              |                           |
|                                   | 全 高 (mm) | 2060                              |                           |
| 質 量 (kg)                          |          | 1191                              | 1199                      |
| エ ン ジ ン (kW {ps})                 |          | 9.9{13.5}                         |                           |
| 変 速 方 式                           |          | HST                               |                           |
| 走 行 速 度<br>(m/sec)                | 低        | 0~0.83                            |                           |
|                                   | 高        | 0~1.61                            |                           |
| クローラ幅×接地長 (mm)                    |          | 280×1340                          |                           |
| 平均接地圧 (kPa {kg/cm <sup>2</sup> }) |          | 14.7{0.15}                        |                           |
| 適 応 ロール寸法 (cm)                    |          | φ85~110×85~100 500kgまで            |                           |
| フィルム幅 (cm) × 条数                   |          | 75×1 条(シングルストレッチ)50×2 条(ダブルストレッチ) |                           |
| 積 込 み 方 式                         |          | 油圧グリップアーム方式                       |                           |
| 荷 降 ろ し 方 式                       |          | テーブルリフト・ダンプ方式                     |                           |
| テーブルリフト量 (mm)                     |          | 最大 970                            |                           |
| 荷 降 ろ し 姿 勢                       |          | 横またはたておろし                         |                           |
| 作業能率 (min/10a)                    |          | 20~30                             |                           |
| ベール重さ測定精度                         |          | -                                 | ベール質量±5%<br>(機体の傾き±3° 以内) |
| ベール重さ測定範囲                         |          | -                                 | 200~400kg                 |
| ベール重さ測定時間                         |          | -                                 | 10~15秒<br>(油温、ベール重さで変化)   |

※この主要諸元は改良などにより、予告なく変更することがあります。

## 2. 主な消耗部品

| 部 品 名 称       | 部品コード          | 員数/台 | 備考 (サイズ)  |
|---------------|----------------|------|-----------|
| HST用ベルト       | 29103 2242 000 | 2    | AG-X LB33 |
| プライマリエlement  | 41112 1511 000 | 1    | エアークリーナ   |
| オイルフィルタカートリッジ | 41112 1311 000 | 1    |           |
| バッテリー         | 41112 6310 000 | 1    | 30A19R    |
| ラップフィルム       | 11382 9911 000 | 2    | 幅500mm    |
| ヒューズ 40A      | 00900 0600 400 | 1    | MIDIヒューズ  |
| ヒューズ 15A      | 00900 0200 150 | 2    | 自動車用ヒューズ  |
| ヒューズ 10A      | 00900 0200 100 | 4    | 自動車用ヒューズ  |
| ヒューズ 1A       | 00900 0200 010 | 1    | 自動車用ヒューズ  |
| ナイフ           | 11665 6543 000 | 1    |           |

# 付 表

## 3. 給油、給脂、注油（水）一覧表

| 項 目                                                     | 補給(交換)時期                                                                | 推 奨 品                                   | 容 量                         | 参照<br>ページ |
|---------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------|-----------------------------|-----------|
| 燃料                                                      | 随時                                                                      | ディーゼル軽油(JIS規格品)                         | 約21ℓ                        | 42        |
| エンジンオイル                                                 | 補給:毎日点検し、不足時に補給<br>交換:初回:50時間<br>2回目以降:<br>100時間毎または<br>1年毎の早いほうで<br>交換 | 〔API分類 CF級以上〕<br>〔SAE分類 D10W-30〕        | 約2.5ℓ<br>(オイルゲージで確認)        | 63        |
| 走行ミッション<br>オイル                                          | 初 回:50時間目<br>2回目以降:300時間毎                                               | ギヤオイル #90                               | 約3ℓ<br>(検油栓管理)              | 65        |
| HST用オイル<br>油圧オイル                                        | 補給:50時間毎に点検し、<br>不足時に補給<br>交換:300時間毎                                    | シェルテラスオイル46<br>〔ISO:VG46<br>耐摩耗性作動油相当品〕 | 約20ℓ<br>(オイルゲージで確認)         | 65        |
| チェーン注油                                                  | 適宜                                                                      | ギヤオイル                                   | 適量                          | —         |
| 転輪<br>可動輪<br>テンション輪<br>ガイドローラ<br>グリスアップ                 | 補給:20時間毎                                                                | シャーシグリース                                | 適量                          | —         |
| カウンタ周辺リンク部<br>油圧シリンダ支点<br>ロックピン<br>ガイドローラ etc<br>グリスアップ | 補給:20時間毎                                                                | シャーシグリース                                | 適量                          | —         |
| 積込みアーム<br>伸縮部<br>グリス塗布                                  | 適宜                                                                      | シャーシグリース                                | 適量                          | —         |
| 冷却水<br>(リザーブタンク)                                        | 補給:作業前または作業後<br>交換:2年毎<br>(冬季停止時は排出<br>または、<br>不凍液を入れる)                 | 清水                                      | タンク側面の<br>L(下限)と<br>F(上限)の間 |           |

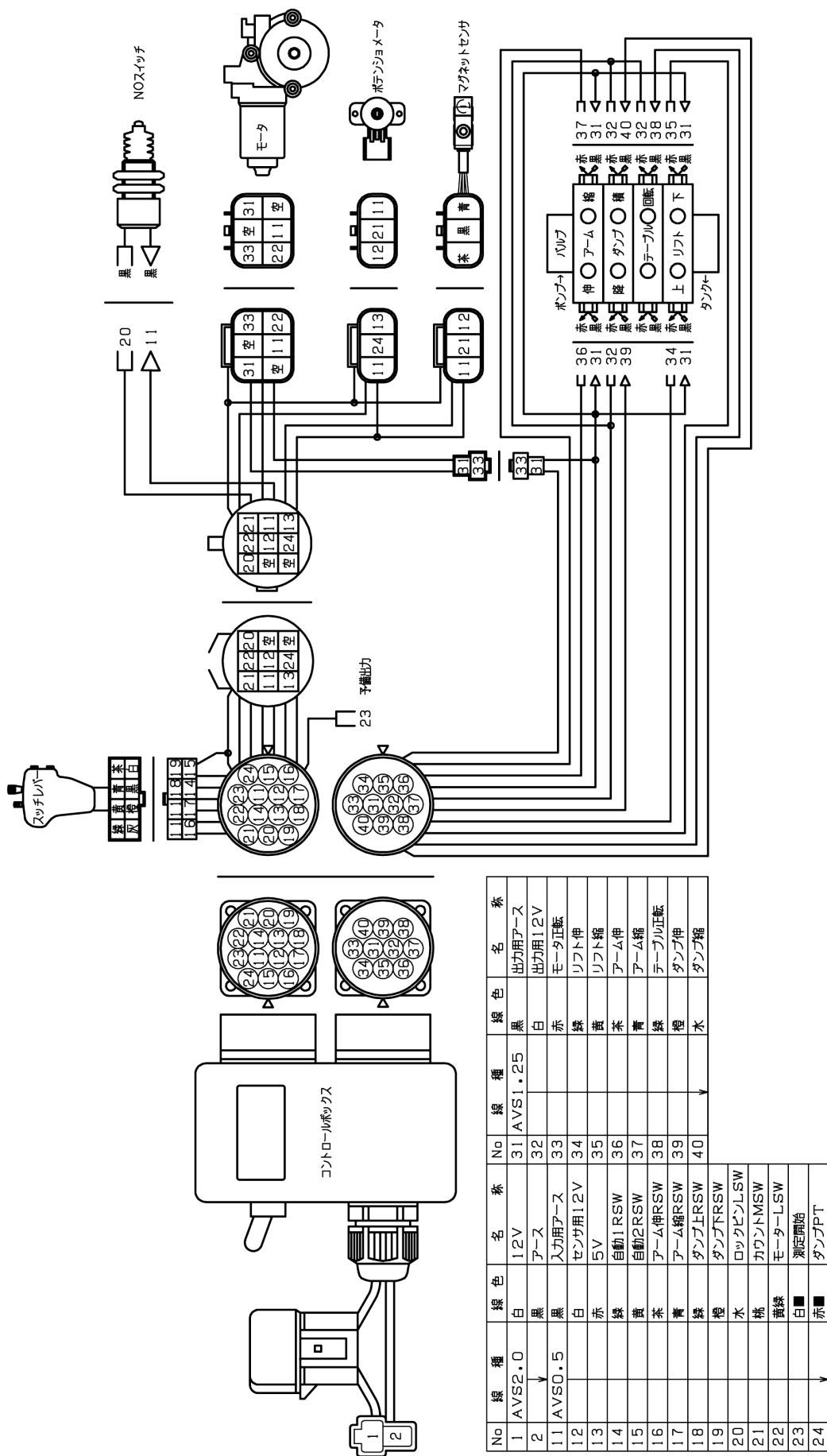
### 注 意

- 特に作業条件が悪い場合や、連続作業で稼働率が高い場合は、上記時間より早めに点検、交換してください。
- エンジンに関する取り扱いは付属のクボタディーゼルエンジン(Z602-E3)取扱説明書を参照してください。

付 表

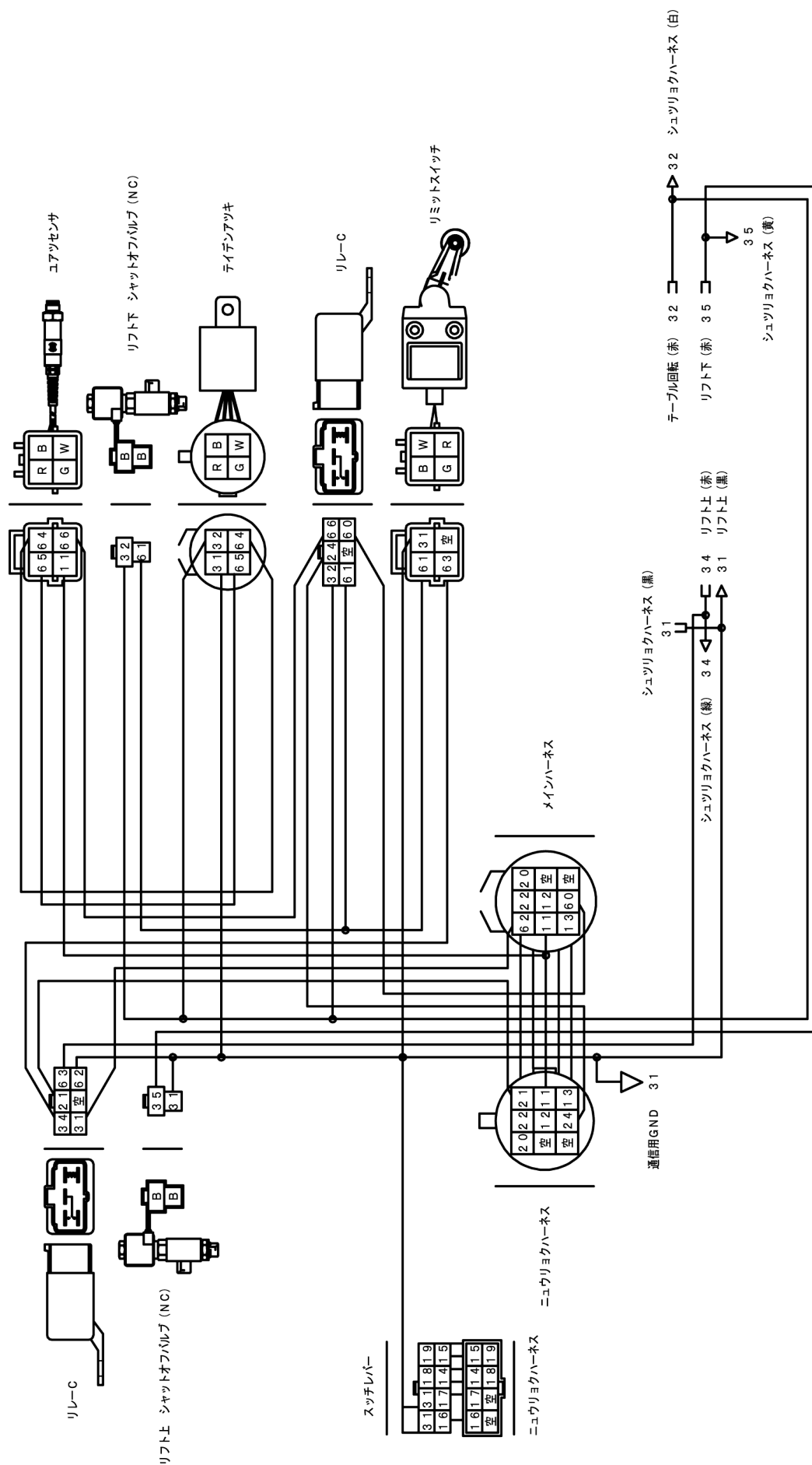
4. 配線図

◆ラップマシーン関係



付 表

◆ラップマシーン関係(M仕様のみ)



付 表

### ◆台車関係

